

育もう 子どもたちの夢と確かな未来を!

Kiwanis Club of Nagoya

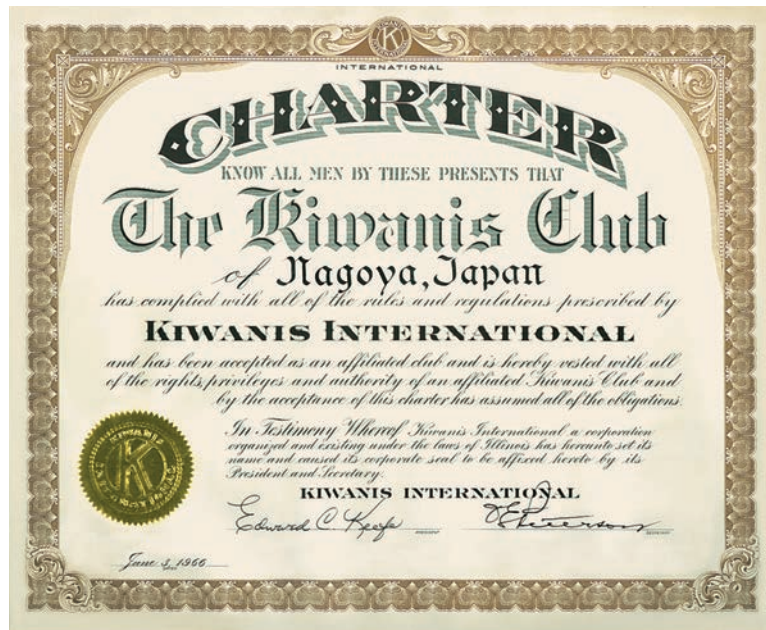
50th Anniversary



名古屋キワニスクラブ創立50周年記念誌



名古屋キワニスクラブ 創立50周年記念誌



50th
Anniversary
Kiwanis Club of Nagoya



名古屋キワニスクラブ ハナー

目次

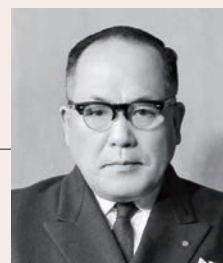
名古屋キワニスクラブ設立の精神	4
ごあいさつと祝辞	8
写真で見るこの50年	14
創立50周年記念式典・事業	22
記念事業経過報告	22
記念式典	24
祝賀会	27
記念講演	30
創立50周年キワニスワンデー 特別講演会	31
記念事業	32
キワニスの「これまで」と「これから」	34
会員寄稿	34
歴代会長座談会	38
過去10年の活動を振り返る	46
エリミネイト・プロジェクトについて	46
「里親フォーラムあいち」が誕生するまで	50
「名古屋キワニスクラブ賞」の果たした役割	52
キワニスワンデー2016	54
キワニスドール座談会	56
新クラブ誕生へのサポート	64
委員会の活動	68
歴代役員表	76
社会奉仕活動の記録	80
名古屋キワニスクラブ50年の歩み	90
例会の記録(2007年-2016年)	102
思い出のアルバム(2007年-2016年)	112
キワニスクラブの基礎知識	123

名古屋キワニスクラブ設立の精神

1966年9月1日、名古屋国際ホテルにて、キワニスインターナショナル・グレン・リード会長夫妻を迎えて、記念すべき「名古屋キワニスクラブチャーター授与式」が行われた。これはその時の野淵三治初代会長のあいさつとグレン・リード会長の祝辞を記録したものであり、50年を経たいまもなお、野淵初代会長のクラブ設立への思いが今でもみずみずしく伝わってくる。創立50周年を迎え、新たな一步を踏み出すにあたり、「名古屋キワニスクラブ設立の精神」をもう一度胸に深く刻みたい。

ごあいさつ

野淵 三治



本日は遠くアメリカから、我々の尊敬するキワニスインターナショナル会長のリード博士ご夫妻をお迎えいたしまして、またスポンサークラブである東京キワニスクラブの会長であられる原文兵衛さん、前会長であられる鹿内さんを初めとする役員の方々と、また当地ご在住のご来賓といたしましては、桑原愛知県知事様、杉戸名古屋市長様、井上中部経済連合会長様、篠原名古屋大学総長様、またアメリカと当地をつないだ全国総領事殿などをお迎えいたしまして、来賓各位にはご多忙な時間をご割愛されましてご来席を賜った次第でございます。こうしてここに、当名古屋キワニスクラブのために、祝賀会を挙行いたしますことは、我々名古屋クラブ会員の最上の喜びであり、また光栄に存ずるところでございます。特にわざわざ米国からご来日のリード会長ご夫妻に対しましては、心から歓迎の意を表する次第でございます。また、先刻申し上げました来賓の方々のご光来につきましては、誠にありがとうございました。会

員一同が忘れ得ざる思い出になることと存ずる次第でございます。この加盟祝賀会はキワニス全国本部を初め、東京キワニスのご指導、ご援助があつてはじめて実現をみたしと申すべきものでございました。私どもはここに、五千数百のクラブ、二十数万の会員の中に本日をもって加わるわけでございます。この場をお借りいたしまして、厚く御礼を申し上げる次第でございます。リード会長ご夫妻から、どうか米国の会員の皆様へよろしく、また、原会長様からは東京の会員各位へどうかよろしくご鳳声を賜りたいと思う次第でございます。

さて、宇宙時代とも第2次産業革命時代とも呼ばれる、新しい時代を迎えました今日、技術進歩によりまして世界が日増しに狭くなっております。お互いに国境を越え、民族を越え、知り合う機会が以前に比べてずっと多くなっておる時代かと考えます。しかしながら、世界の諸状況を見ますと、必ずしもお互いのコミュニケーションと申しますか、相互理解が十分であるとは言えな

い状態下にあるように観察されます。人類にとって住みよい、幸福な世界建設のためには、まず、しっかりしたその各国間の友好関係が築かれねばならないことは言うまでもないこととございます。キワニスクラブは奉仕という人類共通の理想をかかげた国際奉仕団体とございますが、本日当クラブがこのキワニスインターナショナルの仲間入りを正式にさせていただきますことは、少しオーバーな言い方かもしれませんが、国際間の友好関係の確立が急務である、また人間の心の開発が科学の開発より遅れておる今日、さらに我々お互いの生活を顧みまして、己に対するサービスより、社会に対するサービスの方がはるかに遅れておる現在におきまして、誠に意義深い出来事であると言わなければならないと思うのでございます。

我々は、今後一層キワニスの集いを通じまして相互の友情が深まりますこと、また会員各自の自己啓発が高まり、各々の持つ職場において、より一層の社会的奉仕ができますよう、心から期待しておる次第でございます。

ところで、当クラブは設立後間もないことであり、現在のところ毎週の例会におきまして会員相互の親睦を深め、また各種の勉強をなし、もって会の将来の発展の礎を築いておる段階でございますが、ゆくゆくは名古屋というローカルカラーを生かした、種々の企画を立案いたしまして、もってユニークな計画を持ち、クラブを発展せしめまして、キワニス精神を大いに打ち出していく所存でございます。

当クラブが位置しております名古屋市と申しますのは、日本の中央部、太平洋側に面した、東京と大阪の中間に位置する、人口200万の都市でございますが、歴史的に見ますと、相当古くから繁栄した地域であります。近年はとみに中部圏開発の要となるべく、そのバラエティ溢れる未来に生きる青年都市として、脚光を浴びているところでございます。当クラブはこの名古屋地区を中心として、主導的役割を、甚だ僭越な言い方でございますが、いささか主導的役割を果たしております、官界、財界、学界の博学たる会員を擁しておるのでございます。現在会員は今だ46名の少数ではありますが、

私どもが誇りを持って申し上げますことは、会員がいずれも当地第一級のジェントルマンでございます、第一線で活躍しておる有能な人物ばかりであるということとでございます。なお、これからは会員の増加も慎重に図って行くつもりでございます。また、この種の集まりは、ともすればマンネリぎみに陥りやすいものなので、この点には十分な注意を払いまして、さらに各委員会の活動を通じまして、たくましくキワニスの使命を果たすべく心掛けたいと思っておるものでございます。

先ほども申し上げましたように、当クラブはまだ誕生したばかりで、しかも本日正式にお仲間入りができただけで、何かと今後、温かいお導きを必要といたします。どうかよろしく願いいたします。リード会長ご夫妻のご健勝と全キワニスクラブ会員のご活躍を祈って名古屋クラブ会員一同を代表いたしまして、ごあいさつを申し上げる次第でございます。



名古屋キワニスクラブ Charter Night スピーチ

1966-1967 キワニスインターナショナル会長 Dr. R. Glenn Reed, Jr.



今日、日本特に名古屋を訪問する機会を得ましたことは、誠に光栄とする次第です。名古屋の皆さんこんばんは。今夜は名古屋キワニスクラブの Charter Night であり、この意義深い行事に参加できることは私の名誉とするところではあります。

キワニスは27万人以上の産業並びに実業人からなる奉仕機関であり、自由世界18ヶ国に5,400以上のクラブを有しています。この機関は過去51年間にアメリカとカナダの社会に大きな景簿を与えており、現在も世界のより広大な地域にその影響力を拡大しつつあります。

自由協会の会長である、ケネス・ウェルズ博士は「キワニスはアメリカにおけるナンバーワンの奉仕クラブとしての位置を占めるに至った」と述べられたことがあります。この事業を我々は誇りとしていますが、これだけで充分だとしてはなりません。成すべきことはもっとたくさんあり、我々はこの影響力を永久にもっと強くすることを心掛けています。

我々の今日の主要課題の一つは、国際間の友好ということですが、我々は他国の人々との関係を通じて多くのことを成し遂げる事ができると信じています。このことは、東京クラブとキワニス国際機関とのすぐれた協調活動において証明されました。毎年10月にキワニスはそれぞれのクラブにキワニス国際友愛週間を守るように呼びかけています。その目的は、ひとつの的を定め1年に1週を指定し、その時に全てのキワニス会員が世界中の相互理解と国際間の友好に貢献するそれぞれの個人的責任を特に深く考えてみる、というものです。これはただ1週間の協調週間にすぎませんが、キワニスは国際関係を継続的な課題としています。歴史を通じて諸国の政府と諸国の国民との間にこれほどの接触が存在することはかつて

てなかったことです。

我々のキワニスの歴史においても現在ほど、我々の機関が国際意識に近づいたことはありませんでした。我々は接触とコミュニケーションそのものが、必ずしも理解、友好あるいは永久の平和を生み出すものではないことをよく知っていますが、同時にまた、特に個人と個人を基準とする接触とコミュニケーションなしには国際関係における進歩の希望がほとんど存在しないことを知っています。それゆえに、今日キワニス会員として我々は国際間の理解が人間同士の理解から進まなければならないこと、また全世界の国際理解の大きさは、最終的にはこの目標に対する各個人の努力の総計であるという原則に身を捧げようではありませんか。

その上、我々はクラブとして自由世界の他の何百万人という者が、心から我々の友愛の活動に呼応するであろうということを確認して、我々の国際関係委員会の計画を通じ理解と友好と永久の平和を求めて、我々のキワニス社会の男女子供に村や国家の国境を越えて進むように激励しようとする重大な役割を演じようではありませんか。

先週、私は今回の旅行に旅立つ前にジョンソン大統領と国務省の高官にお会いする光栄を得ました。その時彼らは全て東洋におけるキワニスの拡大に強い関心と協力を表明しておりました。また私は東京で佐藤首相にお会いする光栄に浴し、キワニスの諸活動を説明申し上げる機会を与えられました。アメリカ人として私は、アメリカが日本と非常に素晴らしい関係をもっていることを喜んでます。我々はお互いに親しい友人であり、ともにすぐれた相互理解と事業・文化における業績の達成、なかでも最も重要な世界の平和という相互の目標に向かって働

くことができます。我々はよりよい世界を望む同じ動機と願いを有しています。我々はこれを我々の諸活動の最先端におきたいと思います。

東京クラブはキワニスが正しく活用された時に何が出来るかというすぐれた例です。我々は、東京クラブの活動状況は特に優秀であり、これが東洋におけるキワニスクラブの模範となることと信じています。かくして名古屋クラブの先鞭はつけられ、皆様方の目標が樹立されているとよいと思います。

ところで、キワニスの奉仕活動を積極的に行なおうとする場合に、「こういう仕事をする時間をどうして見つけるか」という質問をしばしばいただきます。答えは明白です。時間を見つけるのではなく、時間を作り出すのです。チャールズ・ケッタリングはかつて言いました。「誰かが可能だと夢を見、誰かがそうであるべきだと信じ、また誰かがそうでなければならないと決意して、初めて大空に達することが出来た」と。

そして、我々の行動は、知性、見識、決断力に裏打ちされたものでなければなりません。ジョン・ラスキンがかつてこう語っております。「人間の精神がこの世で成しうるもっとも偉大な業(わざ)は、何かを見通すこと、すなわち洞察することであり、洞察によって得られたものを平易な言葉で語ることである」と。一人の思索する者の存在のおかげで数百人の人が何かを語るができるかもしれません。ですが、一人の洞察力のある者の存在は、数千もの人に何かを考えさせる力があるのです。洞察は詩であり、予言であり、信仰であります。そして、それらは不可分のものなのです。我々のキワニスの働きは、鋭い洞察力を伴ったものでありたいものです。

我々は我々の活動において明確に物事を見つめなければなりません。“我々がやりたい事”は容易に生まれますが、“我々がなすべきこと”は容易に生まれてきません。各人が各人の諸価値に正直な目を注ぐべきだと思います。そして努力という犠牲にもかかわらず、それらの価値について建設的な何かをなすべきであります。

そしてまた、次のことを明白におきたいと思います。我々は当地に来て皆様方新キワニス会員に物事のやり方

を変えてもらおうとお頼みしているではありません。皆様方の習慣とか生活様式は、他の17の諸国のキワニス会員のそれと同じく、皆様方にとって貴重なものです。しかしながら我々はキワニスの理想が皆様方の生活様式に効果的に適応され得るものと信じています。また我々はキワニス会員が世界中で手を取り合って働き、人と人との理解をもたらすために、それぞれの微力を追加することができます。人と人との理解が、最後にはより一層の進歩か、恐ろしい完全破壊か、どちらの道を人類が選ぶかを決定する力となると思っています。

私はもう少し深く掘り下げて見たいと思います。何故キワニスのような組織が存在するのでしょうか。何のために人々がそれに加入するのでしょうか。彼らは何故他人とかその社会、その福祉の奉仕のために自ら進んで彼らの身体と物質を捧げるのでしょうか。何故なら、我々それぞれの内に(どこに住んでいても、その義務忠誠、起源、文化が何であれ、全ての人間の内に)立ちあがって何かのためになり、人に貢献し、責任を引き受ける(要するに言葉の真の意味での人間)全ての被造物の最善のものである魂を持った人間になりたいと欲する火花が存在するからです。精神と心と意志を活用しようとする個人の力(この地球の全ての他の被造物から人間を区別するあの力)が常にキワニスの考え方と我々が作った計画を支配してきたのです。ある人々が世界を変えました。もっと多くの人々がその住んでいる地方を改革してきました。

世界は実に小さい。縮小するにつれ、人々が他の人を知ろうとする機会は急速に拡大されています。人間の親密な交際に基く共通の思想・平和と幸福の願いというひとつの世界は、おそらく我々の考えるよりは近づいていると思います。

名古屋キワニスクラブの紳士諸君!今夜皆様方に支部設立結成を献呈することができますことは、私の光栄とするところであります。キワニスによくこそ。共通の理想が奉仕という自由人の群によくこそ。社会奉仕に伴う困難な仕事によくこそ。どうぞ皆様方がますます進展し繁栄しますよう、キワニスの理想である「崇高なる精神」が永久に皆様方とともにありますように…。

ごあいさつ

2015-2016 名古屋キワニスクラブ 会長 後藤 晴男



名古屋キワニスクラブは、創立50周年記念事業の一環として、2016年9月2日創立50周年記念式典（記念講演、記念式典、祝賀会）を催行しました。

ご多用の中、大村秀章愛知県知事、河村たかし名古屋市長、倉田康男日本地区ガバナーをはじめ多くのご来賓や全国のキワニアン、名古屋キワニスクラブの先輩、会員・ご家族など、190名を超える多くの皆様のご臨席を賜り、大変盛会でありました。創立以来の50年を称え、感謝するとともに、子供たちの未来に向けて、「育もう 子どもたちの夢と確かな未来を!」というメッセージを力強く発信できました。2年半前から企画計画の検討をスタートし、周到かつ綿密な準備を進めてこられた創立50周年記念事業実行委員会（当初は準備委員会）を中心に関係の委員会の皆様をはじめ会員の皆様に、改めて感謝申し上げます。

当クラブは、世界のキワニスクラブと連携して世界中の子供たちに奉仕する、子供最優先（Serving the Children of the World）をモットーに、将来を担う子供たちの健全育成や、弱い立場にある子供たちへの奉仕活動をはじめ、地域に根ざした独自の様々な奉仕活動を展開してきました。

キワニス社会公益賞・キワニス文庫の贈呈、キワニスドールプロジェクト、子育て・青少年教育関係の各種講演会、里親フォーラム等への協賛・支援などの奉仕活動を継続して参りまして、これらは今では当クラブの活動を代表するSignature Project（看板プロジェクト）になっています。

会員数も140人にならんとする過去最大に近いレベルにあります。

創立以来のチャーターメンバーである豊田章一郎会

員をはじめ非常なご尽力を賜って参りましたこの50年間の名古屋キワニスクラブの全ての会員・ご家族の皆様に重ねて感謝申し上げます。

創立50周年記念事業は、自製の記念ロゴタイプを使いながら、1年を通して展開しました。

キワニスワンデーも記念事業の一環と位置付けし、JAXA前副理事長の樋口清司氏と宇宙飛行士の山崎直子氏による特別講演会を開催しました。「私たちは地球人」、「宇宙・人・夢をつなぐ」という夢膨らむ興味津々のお話を伺い、大変多くの子供たちに楽しんで頂きました。

二種類の記念事業（「キワニスの森におけるキッズインタープリターの養成事業支援」と「給付型奨学金制度の新設」）につきましても、記念式典の中で厳粛かつ高らかに宣言し、来年度から10年間にわたる奉仕事業を始めます。

名古屋キワニスクラブは次の50年に向け新たな第一歩を踏み出す準備ができたと思います。名古屋キワニスクラブ50年の歴史の上に、更なる発展を目指して、名古屋キワニスクラブらしい和気藹々たる中で奉仕活動を続けて参ります。一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



Kiwaniis®



September 2016

Dear members of the Kiwanis Club of Nagoya,

Kids need Kiwanis. They needed Kiwanis in 1915 when a group of businessmen in Detroit, Michigan, USA, joined together to create an organization to give back to the community. Kids needed Kiwanis in 1964 when the first Kiwanis club in Asia Pacific chartered in Tokyo, Japan. Kids needed Kiwanis in 1966 when the Kiwanis Club of Nagoya started its service to the children of Nagoya. Kids need Kiwanis today in communities all around the globe.

Congratulations on the 50th anniversary of your club. Your dedication to the Kiwanis movement improves the lives of children in Nagoya, throughout Japan and around the world. You are part of a legacy that has created a better world for children through service projects and programs crucial to our communities. From reading to a child in a school down the street to eliminating diseases that span the globe, Kiwanis clubs are dedicated to helping all children reach their potential.

Together, we are changing the world. With the hearts and hands of more than 600,000 youth and adult members in nearly 80 nations, the Kiwanis movement is unstoppable. With your continued devotion to the mission of serving the children of the world, there will be many more celebrations to come. Congratulations on this remarkable achievement.

In Kiwanis spirit,

2015-2016 Kiwanis International President

Susan A. Petrisin

2016年9月

名古屋キワニスクラブ会員の皆様

子ども達はキワニスが必要としています。1915年に米国ミシガン州デトロイトのビジネスマン達が地域に貢献する組織を立ち上げた時からそうでした。1964年に日本の東京にアジア太平洋初のキワニスクラブができた時もそうでした。そして1966年に名古屋キワニスクラブが名古屋の子ども達に奉仕を開始した時も、やはり同じでした。今日、世界中の子ども達がキワニスを必要としています。

クラブ設立50周年、おめでとうございます。キワニスへの皆様のご貢献により、日本や世界の子ども達の生活が改善されています。皆様は、地域に必要な奉仕プロジェクトやプログラムを通じて、世界をより良くするという未来への遺産の一部を担っていらっしゃいます。近隣の学校の子どもの本を読み聞かせることから、世界中の病気を撲滅することまで、キワニスクラブは子ども達とその能力を十分に発揮するためのお手伝いをしています。

我々は共に世界を変えています。およそ80ヶ国の60万人以上からなる青少年や成人の会員によるキワニスの動きは止めることができません。世界の子ども達に奉仕するというミッションへの皆様のご貢献により、更に多くのことを祝える日が来るでしょう。この偉業にお祝い申し上げます。

キワニスの精神と共に

2015-2016 国際キワニス会長

スーザン・A・ペトリシン

祝辞

2015-2016 国際キワニス日本地区 ガバナー 倉田 康男



名古屋キワニスクラブ設立50周年誠におめでとうございます。50年前の昭和41年貴クラブは東京クラブに次いで日本地区で2番目の早さで、会員数46名で出発されました。現在は141名を擁し日本地区でもトップクラスの規模に成長されました。昭和41年という年は、皇室におかれては後に文仁親王妃となられる紀子様がお生まれになったおめでたい年でもあります。高校野球では中京商業が春夏連続優勝を飾り、またトヨタ自動車が「カローラ」を発表した年でもあります。

以来この50年の間に貴クラブはキワニス日本地区のリーディングクラブとして歩まれています。国際的にもASPAC大会の開催地として大役を果たされ、また国内では大垣キワニスクラブ設立のスポンサークラブとしてキワニス成長戦略にも貢献されています。

国際キワニスは1915年にデトロイトで創設され、今年で101年目になります。現在では世界中で85ヶ国・地域において7300のクラブがあり、キワニスファミリーのメンバー総計66万人が地域や子ども達のために奉仕活動に励んでおり、年間奉仕活動時間の総計は1850万時間を超えています。またその奉仕活動の為に調達している資金は年間1億ドル以上になります。

次に国際キワニスが最近取り組んでいる世界的プロジェクト「エリミネイト」ではアフリカなどの発展途上国で多くの母親と新生児が命を落としている破傷風を撲滅するため、世界のキワニアンが1億ドルを超える募金額を拠出して、ユニセフと共同で予防接種の活動を現在も続けています。その結果、救済が必要であった40ヶ国中現在21ヶ国で既に母子破傷風の撲滅宣言を出すことができます。名古屋キワニスクラブにおかれてはこのプロジェクトにおいて10万ドルを寄付

する「100Kクラブ」を達成され、また会員1人あたり750ドルを寄付する「モデルクラブ」も達成されました。

国際キワニスのモットーは“Serving the Children of the World”といいますが、これを受けて昨年10月に私は「キワニスクラブは地域子ども達と共に活動します」というスローガンを掲げて出発しました。現在キワニス日本地区は共通プロジェクトとして、病気の子ども達を励ますための「キワニスドール」を作成し病院などに出向いて寄贈することや、毎年4月に日本中の各クラブが一斉に児童虐待防止運動など、子ども達のために奉仕するプロジェクトを実施するキワニスワンデーに参加しています。

名古屋クラブにおかれてはこの他にクラブ独自の奉仕活動として子ども達のために本を贈る「キワニス文庫」や「里親フォーラムあいち」を主催されたり、「家庭教育講演会」や、「なごや子育てフォーラム」、「あいち少年少女創意工夫展」などに協賛されており、これら社会福祉や青少年教育の分野における貴クラブの活動は私達キワニス日本地区の模範であり、誇りでもあります。

どうかこれからも貴クラブがキワニス日本地区においてリーダーシップを発揮しつづけますよう祈念してお祝いのご挨拶と致します。



Kiwaniis®



Date. September, 2016

This year marks the 50th year anniversary of Kiwanis Club of Nagoya. On behalf of the entire ASPAC region officers and Kiwanis family in 2016, sincerely sending my best wish with respect. Congratulating your 50th year of success. Just because of the members, Club President and the entire past Club Presidents' cooperation and dedication, Nagoya club has become one of the stablest clubs in Japan District after 50 years. And your achievement and service are not only time-honored, but also one of the most distinguished.

Kiwanis mission – Young Children, Priority One; Serving the Children of the World – are followed and carried out in various corners of the countries and among Kiwanians' daily routine. Kiwanians offer unbounded love that ensures new born babies receive standard necessary care. We also align with medical and other institutions to eliminate diseases, so that all children will grow up in harmony with complete education and protection. Kiwanians also sponsor SLP to develop our future leaders, not only a future Kiwanis leader, also a leader to the world.

Once again, I would like to congratulate the 50th year anniversary of Kiwanis Club of Nagoya, and thank Nagoya club members and family's consistent support. We must bear in mind that "It's more blessed to give than to receive." Please continue serving the children with our love and Kiwanis spirit, and make our society a more harmonious one.

In Kiwanis Spirit,

2015-2016 ASPAC Charman

Lu, Chin-Hsiang

2016年9月

今年、名古屋クラブは50周年を迎えます。2016年のASPAC地域全体の役員、キワニス・ファミリーを代表し、心よりお祝い申し上げます。50年にわたるご成功、おめでとうございます。会員の皆様、クラブ会長、そして歴代会長のご協力と献身により、名古屋クラブは日本地区の中でも安定した発展を遂げられてきました。貴クラブの業績及び貢献は長い歴史を持つと同時に、最も傑出したものであります。

キワニスのミッションである、「子ども最優先」「世界の子ども達に奉仕する」といった思想は、世界中の様々な国のキワニスによって体現されています。キワニアンは新生児が必要なケアを得るために惜しめない情熱を注ぎます。すべての子ども達が完全なる教育及び保護の下で育つよう、医療従事者や他の団体と協力して病気の撲滅を図っています。またキワニアンは、将来のリーダー – キワニスのリーダーにとどまらず世界のリーダー – を育てるため、SLPを支援しています。

今一度、名古屋キワニスクラブの50周年をお祝いするとともに、名古屋クラブ会員の皆様のご支援に感謝申し上げます。我々は「与うるは受くるより幸いなり」という言葉を常に心に留めておきましょう。これからもキワニスの精神を持って子ども達に奉仕を続け、我々の社会をより調和のとれたものにしていきましょう。

キワニスの精神と共に

2015-2016 ASPAC (アジア太平洋協議会) 議長

ルー・チン・シヤン

祝辞

愛知県知事 大村 秀章



この度、名古屋キワニスクラブが創立 50 周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

後藤会長始め名古屋キワニスクラブの皆様方におかれましては、広く世界中で活動を行うキワニス国際加盟クラブとして 1966 年の創立以来、児童福祉施設等の子どもたちへ図書の贈呈を始め、青少年育成、環境保全活動など、地域に根ざした幅広い社会奉仕活動に御尽力いただいております。

また、この度、創立 50 周年記念事業として、児童養護施設等から大学へ進学した子どもたちのための奨学金制度の創設や、愛・地球博記念公園内のキワニの森における環境学習事業への寄附をいただくこととなりました。

後藤会長始め歴代会長の皆様、そして会員の皆様方の御熱意と御努力に、心から感謝申し上げますとともに、深く敬意を表します。

子どもの貧困や貧困の連鎖が昨今、大きな社会問題になっているなか、未来を担う子どもたちが生まれ育った環境に左右されず平等にチャンスを与えられる環境を整備することは社会全体で早急に取り組むべき課題だと考えています。

そこで、愛知県では、今年 12 月に、経済的に困窮している家庭における生活実態や様々な課題を把握するため、「愛知子ども調査」を実施し、この結果を基に、今後、実効性のある子どもの貧困対策につなげてまいりたいと考えております。

そうした環境に置かれている子どもたちの支援などについては、われわれ行政が中心となるべきところ

ではありますが、よりきめ細かなサポートを継続して進めていくためには、行政だけではなく、民間企業、NPO、ボランティアなど、多くの方々との連携が必要であり、とりわけ、半世紀もの間、様々な社会奉仕活動、青少年の育成支援など地域の発展に寄与してこられた皆様方の存在は大変心強く、名古屋キワニスクラブの果たす役割も益々大きくなるものと認識しております。

今後とも、すべての人が活躍し、「人が輝く」愛知の実現に向け、格別の御支援、御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後に、名古屋キワニスクラブ創立 50 周年記念式典の開催に御尽力されました竹内実行委員長を始めとする関係者の皆様に深く敬意を表しますとともに、名古屋キワニスクラブの益々の御発展と、会員の皆様方の御健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

祝辞

名古屋市長 河村 たかし



名古屋キワニスクラブが50周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

貴クラブにおかれましては、社会的養護を必要とする子どもや里親、施設への支援に加え、今般創立50周年記念事業として、児童養護施設や里親家庭などの子どもに対する給付型の奨学金を創設いただきました。新たな奨学金の創設は、子どもたちに対する直接的な支えとなるとともに、多くの大人が支援しているというメッセージにもなり、物心両面で大きな力となるものと考えております。

また、教育関係においては、家庭教育のあるべき姿、親の役割やしつけのあり方などがテーマの「家庭教育講演会」に、30年以上に渡って協賛とともに講師の選定にも関わっていただいているほか、「なごや子育てフォーラム」には平成10年度の第1回から協賛をいただいております。フォーラムは、毎年100組ほどの親子が参加し、親子で触れ合う体験活動を通して、保護者が子どもと関わる楽しさや子育てへの関心を深める貴重な機会となっており、こうした子どもや教育に関わる取組を通じた支援に対し、深く敬意と感謝の意を表します。

名古屋市は、3年連続ゼロを達成した保育所待機児童対策や常勤の専門カウンセラーからなる「なごや子ども応援委員会」の設置など、子育て支援に力を注いでおり、今後も「日本一子どもを応援するまち」として、この日本をリードしてまいりたいと考えております。さらに、「日本一魅力あふれるまち」を目指し

名古屋城全体の整備をはじめ都市の魅力創出にも積極的に取り組んでいるところです。

名古屋の未来を担う子どもたちを支え、市民の皆様にこの名古屋を誇りに思ってもらうためには、行政の力だけではなく、貴クラブの皆様並びに市民の皆様との連携・協力が欠かせません。今後とも一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

貴クラブのますますのご発展をご期待申し上げますとともに、会員の皆様のご健勝とご活躍を心から祈念いたします。



Anniversary
育もう子どもたちの夢と確かな未来を!

写真で見る
この50年



1966 (昭和41年) 9月1日 名古屋キワニスクラブチャーター授与式



創刊号 発行日 昭和43年1月15日 発行者 名古屋キワニスクラブ
名古屋局長 中山俊一
名古屋事務局長 中野三怡
名古屋支部長 堀田通二
日本キワニス株式会社内 861-7165

発刊のことば

会長 野村三怡

名古屋キワニスクラブは、インターナショナルに加盟して以来、既に一年有余を経過いたし、会員各位のご協力を得て、地味ながらも着実に進展してまいりました。この間、会員も各界でご活躍の五十一名を擁するに至り、例会の開催も八十数回に及んでおります。こうした活動を経て、当クラブのイメージは、徐々にではありますが、力強く会員相互の間に形成されてきたと言えるようであります。このイメージは、和気あいあいとしたムードの中にも、何かを得ることができるといふ、むしろ、クラブの雰囲気とも言うべきものかもしれません。これは、キワニスにそれ程かけ離れたイメージとは思っておりません。当クラブは、これからも、キワニス精神を日本の風土の下で照明し、ますます日本らしい、名古屋らしいクラブを目指して進みたいと、新年に臨み、思いを新たにす次第でございます。

本会報は、この醸成された雰囲気をもっと鮮明に浮き上がらせ、併せて会員のコミュニケーションを密にして、当クラブの基礎を一層堅固にしようとする

名古屋へ、今年も、宮古島へ、カラードフィルム「御虫の生誕」を寄贈することによってスタートしましたが、これを端緒に、キワニスの活動・組織を会員以外の方々にも正しく認識して頂き、各界のご協力を得ながらキワニスの力を社会奉仕にも向けていくことが必要になってくると思っております。本会報は、こうしたキワニスの活動に対しても何らかの役割を果し得るのではないかと考えております。

当初の内容は、例会関係の記事が主となりますが、あくまでも、堅苦しいものでなく、仲のよい、和気あいあいたしたムードを象徴するような、また、会員の皆様が自由に意見交換できる楽しい会報でありたいと願っております。

この会報が、ゆくゆくは、会員の心の絆となるまでに高められ、社会奉仕とともに、当クラブのモットーである日本を忘れぬ、会員一人一人が成長していくキワニスづくりに、少しでも役立てば誠に幸いという他ありません。今後とも、諸活動を通じて、キワニスの目的が達成されますよう、皆様方の一段のご協力をお願い申し上げます。

- 1 -



1968 (昭和43年) 11月8日
キワニス合同大会

1968 (昭和43年) 1月15日 会報 創刊号



1969 (昭和44年) 1月9日 新年会員懇談会



1972 (昭和47年) 11月10日 第5回全日本キワニスクラブ合同大会



1982 (昭和57年) 6月18日
「キワニスの森」石碑除幕式



1986 (昭和61年) 9月5日
名古屋キワニスクラブ創立20周年記念式典



1989 (平成元年) 5月19日 キワニス社会公益賞・キワニス文庫贈呈式



1996 (平成8年) 9月6日 名古屋キワニスクラブ創立30周年記念式典



1996 (平成8年) 11月14日 ブロンズ像「祝福されし二人」の除幕式



1998 (平成 10年) 9月 25日 持出例会 (キワニスの森)



1998 (平成 10年) 9月 25日
持出例会「キワニスの森」記念植樹



2003 (平成 15年) 10月 9日
持出例会 (山梨リニアモーターカー試乗)



2003 (平成 15年) 8月 29日 持出例会 (セントレア)



2004 (平成 16年) 3月 13日 ASPAC 開会式



2004 (平成 16年) 3月 13日 ASPAC ナイト



2006 (平成 18年) 9月 27日 創立 40周年記念式典



2006 (平成 18年) 9月 27日
発明とくふう展優秀作品展示



2006 (平成 18年) 9月 27日
創立 40周年記念講演 (月尾嘉男氏)



2006 (平成 18年) 11月 2日
名古屋キワニスクラブ賞を創設した「発明とくふう展」開会式



2008 (平成 20 年) 9 月 12 日 チャーターナイト記念特別例会



2010 (平成 22 年) 8 月 8 日 なごや子ども City2010



2012 (平成 24 年) 6 月 22 日 社会公益賞・キワニス文庫贈呈式



2015 (平成 27 年) 7 月 6 日 大垣キワニスクラブ認証状授与式



2015 (平成 27 年) 11 月 21 日 秋の旅人会気比神宮



2016 (平成 28 年) 2 月 12 日 例会 エリミネイトモデルクラブ達成記念

記念事業経過報告

名古屋キワニスクラブ創立 50 周年記念事業実行委員会 委員長 竹内 和男



創立50周年という大きな節目を迎えるにあたって、2年半前に創立50周年記念事業準備委員会を立ち上げ、記念事業の基本コンセプトや内容等について検討を進めてきました。準備委員会・実行委員会を通算12回開催した他、役員会や担当委員会の場を活用して、具体的な検討や準備を進めてきました。その結果、平成28年9月2日（金）に記念講演・記念式典・記念祝賀会を無事開催することができました。これも偏に、会員各位のご協力の賜物であり、改めて感謝申し上げます。

現在、子どもたちを取り巻く環境には、児童虐待・子どもの貧困・孤食など様々でかつ深刻な問題がありますが、記念事業の検討にあたっては、「Serving the Children of the World」のキワニスクラブの理念の下、「子どもたちの未来に向けて」というメッセージを込めた明るい未来志向の事業を基本とすることにしました。また、記念碑などの物品の寄贈は止めて、子どもたちの健全育成を支援する事業を中心に検討することにしました。

少子高齢化が進む日本において、未来の担い手である子どもたちが、安心して豊かな生活が送られるような環境を整えることが、私たち大人の役割であり、そうした願いを込めて、創立50周年記念事業のキャッチフレーズを、「育もう 子どもたちの夢と確かな未来を!」と決めました。委員会で情報収集をしながら事業内容の検討を深めるとともに、アンケート調査を行って会員の意向集約にも努めました。

その結果、記念事業の候補として、当クラブが10周年記念事業として植樹した「キワニスの森」に関する事業、子ども音楽コンクールへの協賛、ボランティア活動に取り

組む子どもたちへの支援、生物多様性や環境問題に取り組む子どもたちへの支援、社会的養護の下で育った向学心のある子どもたちへの経済支援などのプランが組上に上りました。そして、様々な角度から検討の結果、次の3つの事業を明るい未来志向の事業と考え、創立50周年記念事業として実施することに決定いたしました。

一つ目は、7月9日に実施したキワニスワンデー特別講演会です。今年のキワニスワンデーは、名古屋市科学館と共催で、講師にJAXA前副理事長の樋口先生と宇宙飛行士の山崎直子さんを招いて、小・中学生を対象とする講演会を実施しました。一般の子どもたちを対象とするキワニスワンデーの企画は、今回が初めてです。当日は300名を超える参加者があり、大盛況でした。

樋口先生は「私たちは地球人」、山崎宇宙飛行士は「宇宙・人・夢をつなぐ」という演題で、地球人としての視点の大切さ、宇宙は意外と近いこと、夢の実現に向け努力することの大切さなど、創立50周年のキャッチフレーズに相応しいまさに夢のあるご講演をいただきました。子どもたちにとっても宇宙に対する夢が膨らみ、大変思い出に残る講演会になりました。

二つ目は、キワニスの森関連事業として取り上げた、愛知県が主催する「もりの学舎まつりの開催～キッズインタープリターの養成」事業に対する助成です。キッズインタープリターとは、自然と人との仲介役となる『子ども自然案内人』を意味します。

この事業が、当クラブが長年に亘り育ててきた「キワニスの森」にある愛知県の環境学習施設「もりの学舎」を拠点として行われ、且つ、子どもたちの健全育成に

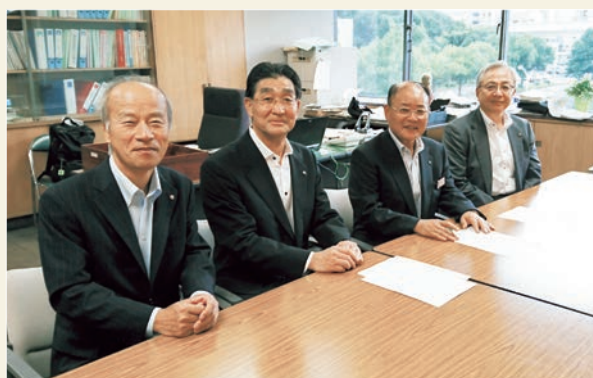
資する事業であることから、助成を決定した次第です。助成内容は10年間に亘り毎年30万円、総額300万円を運営費として寄付します。この支援により、毎年30名、10年間で300名のインタープリターが誕生し、自然に親しみ、環境を守る心豊かな子どもたちを増やすことができると思っています。

三つ目は、「名古屋キワニスクラブ奨学金制度」の創設です。当クラブは国際キワニス財団が募集した奨学金受給者の推薦の過程で、児童養護施設・里親家庭など社会的養護の下で育った子どもたちが、勉学とアルバイトを両立させながら送っている厳しい学生生活の実態を知りました。一方で、彼らの多くは卒業後の進路について、「社会福祉の道に進みたい」、「消防士になりたい」など、これまでの境遇を支えてくれた社会に対して何らかの形で恩返ししたいとの高い志を持っていました。こうした懸命な努力を続けている彼らを、少しでも経済面で支援することこそが、彼らの夢の実現にも資するものであり、後に続く後輩たちの進学意欲の向上にもつながるものであり、50周年の記念事業として相応しいものと判断し、名古屋キワニスクラブ奨学金制度を新たに創設するものです。対象者は原則、就職活動期を迎えている学生とし、毎年2名の学生に対して25万円ずつ給付します。実施期間は平成29年度から10年間で、愛知県健康福祉部と名古屋市子ども青少年局の協力を得て、本制度の公正な運営に努めていきます。

「育もう 子どもたちの夢と確かな未来を!」のキャッチフレーズの下、名古屋キワニスクラブの総力を結集して実施したこれらの創立50周年記念事業は、社会的に

見れば些細なことかもしれません。しかし、この記念事業の助成を受けた子供たち一人ひとりが、私たちの思いをしっかりと受け止め、健やかに育ってくれば、その波及効果は測り知れない可能性を秘めていると思います。

社会の変化とともに、子どもたちを取り巻く環境も大きく変わり、課題も多岐に亘ります。キワニスクラブの活動もボランティア団体としての限界はありますが、そうした変化を捉えて諸課題に的確に対応していく必要があります。まずは、今回実施した「もりの学舎まつりの開催～キッズインタープリターの養成事業に対する助成」と「名古屋キワニスクラブ奨学金制度の創設」という二つの事業を着実に遂行して、名古屋キワニスクラブの新たな半世紀に向けて力強く第一歩を踏み出しましょう!



名古屋キワニスクラブ創立 50 周年記念式典

2016 年 (平成 28 年) 9 月 2 日 (金) 午後 4 時～午後 8 時 名古屋マリオットアソシアホテル

● 記念講演

● 記念式典

記念式典オープニング

創立 50 周年記念ビデオ上映

会長挨拶

ご祝辞

来賓のご紹介、祝電披露

祝祭の調べ

創立 50 周年記念事業経過報告～贈呈式

創立 50 周年記念表彰

記念式典終了

● 記念祝賀会



名古屋キワニスクラブ 創立 50 周年記念ロゴマーク





創立 50 周年記念ビデオ上映



名古屋キワニスクラブ後藤会長
あいさつ



大村秀章愛知県知事ごあいさつ



倉田康男国際キワニス日本地区
ガバナーごあいさつ



大村愛知県知事より感謝状授与



河村たかし名古屋市長より感謝状授与



才能教育研究会 ピアノ演奏



優秀活動会員表彰 福西辰子会員



佐々木仔利子会員による「祝祭の調べ」紹介



才能教育研究会 ピアノトリオ演奏

祝賀会



河村名古屋市長によるごあいさつと乾杯



祝賀会オープニング



名古屋キワニスクラブ
鈴木次期会長お礼のあいさつ





記念講演

「今を生きる－世界の女性と子どもたち－」

異文化コミュニケーター
元愛知万博広報プロデューサー

マリ クリスティーナ氏



講師 マリ クリスティーナ氏



竹内創立 50 周年記念事業実行委員長の開会あいさつ



創立50周年 キワニスワンデー 特別講演会

2016年(平成28年)7月9日(土) 共催:名古屋市科学館



JAXA 前副理事長 国際宇宙航行連盟会長 樋口清司氏



宇宙飛行士 山崎直子氏



記念事業

「キワニスの森」関連事業ー 「もりの学舎まつりの開催～キッズインタープリターの養成～」 事業に対する助成

「キワニスの森」は、当クラブが創立10周年を記念し愛知県青少年公園に樹木を寄贈したことで誕生しました。その後、数次の植栽を経て今では見事な森となり人々に憩いを与えています。キッズインタープリターは、自然と人との仲介役となる「こども自然案内人」です。愛知県は、現在、この「キワニスの森」にある環境学習施設「もりの学舎(まなびや)」を拠点として、子どもたちが様々な自然を体験し環境について学習できる事業を行っています。そして、これをベースとし、平成29年1月からは、小学校高学年の子どもたちを「キッズインタープリター」として養成し、3月には「もりの学舎まつり」の

場で、子どもたちが「先生」となり一般来場者を森に案内する、という事業を新たにスタートさせます。当クラブは、この事業が、長年にわたり育ててきた「キワニスの森」にある施設で行われる事業であり、且つ、子どもたちの健全育成に資する事業であることから助成を決定しました。助成内容は10年間にわたり毎年30万円、総額300万円を運営費として寄付します。この支援により、毎年30名、10年間で300名のインタープリターが誕生します。自然に親しみ、環境を守る子どもたちを増やすことができるものと考えております。



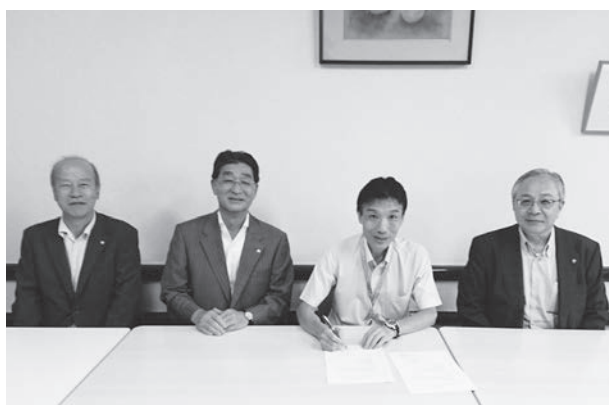
愛知県環境部との覚書調印



「名古屋キワニスクラブ奨学金制度」の創設

当クラブは、昨年と今年、国際キワニス財団の奨学金受給希望者をキワニス日本地区に推薦しました。その過程で、児童養護施設や里親家庭・ファミリーホームといった社会的養護の下で育った子どもたちの高校卒業後の学生生活が、勉学とアルバイトの両立を余儀なくされる大変厳しいものであることを知りました。一方で、彼らが卒業後の進路について高い志を持っていることも知りました。懸命な努力を続けている彼らを、少しでも経済面で支援することは、彼らの夢の実現に資するものです。また、後に続く後輩たちの進学意欲の向上にもつながるものです。このような考えから、創立50周年記念

事業として相応しいものと判断し、奨学金制度を創設することとしました。対象者は原則、就職活動期を迎えている学生とし、毎年2名の学生に対して25万円ずつ給付します。実施期間は平成29年度から10年間とします。愛知県健康福祉部と名古屋市子ども青少年局のご協力を得まして、本制度の公正な運営に努めてまいります。



名古屋市子ども青少年局との覚書調印



会員寄稿

創立 50 周年を祝して

トヨタ自動車株式会社 名誉会長 豊田 章一郎



創立50周年を心からお祝い申し上げます。

歴代会長並びに会員の皆様のご尽力に改めて敬意を表しますとともに、チャーター会員として大変うれしく思っております。

名古屋キワニスクラブは、東京キワニスクラブ会長だった産経新聞の鹿内信隆さんの要請を受け、日本ガイシの野淵三治さんの肝煎りで1966年1月に東京に次いで全国2番目のクラブとして設立されました。そのころ既にロータリークラブやライオンズクラブはありましたが、キワニスには、役人の方も会員になっているのが特徴でした。私は、中部電力の田中精一さんや元愛知県警本部長で東京キワニス会員であった内海倫さんから勧められ入会させて頂きました。

1971年10月から1年間、第4代会長を務めさせて頂きました。

11月の米国出張の折に、ロスアンゼルス・ウェストグレンデールのキワニスクラブの例会に出席しましたが、大変賑やかな会合で、大歓迎を受けました。人口15万人の地区に、クラブが5つあると伺い、米国ではロータリークラブやライオンズクラブ以上にキワニスの活動が盛んに行われているとの印象を持ちました。

キワニスの目的は、社会奉仕ですが、それには、まず、会員同士がお互いに心と心が通いあい、出るのが楽しみな活気のある会にして、クラブとして社会奉仕の心や活力を高めていくことが大切であると考え、会員の方々に企画運営で知恵を絞っていただきました。お陰様で、毎週いろんな分野の卓話を伺い、相互啓発を図った例会をはじめ、大阪で開催された全国大会への参加、そして、ゴルフコンペ、ペア・ボウリング大会、見学会など、楽しく事業・行事を実施できました。

東郷製作所の相羽雅文さんは、以前から熱心に活動に取り組んでこられました。この時、事務局長としてご尽力いただき、会員の皆様のご援助によって事務局が完全に独立しました。会長として最後の例会は、9月29日でしたが、奇しくも日中国交回復の日であったことも印象に残っております。

また、2004年3月のASPAC名古屋大会では、私が協会会長を務めました2005年の愛知万博について「自然の叡智」を統一テーマに21世紀の新しい万博を目指した万博の理念と取り組みについて紹介させて頂きました。

翌年開催された愛知万博の長久手会場では、創立10周年記念事業として愛知県に寄贈した「キワニスの森」が、森林体感ゾーンの一部となり、現在は、愛・地球博記念公園の「もりの学舎」の環境学習のお役に立っております。さらに、創立40周年記念事業として、あいち少年少女創意工夫展での名古屋キワニスクラブ賞の設置など、独自の取り組みも推進されております。将来の日本を担う子供たちが健全に生き生きと育ってほしい。これは会員すべての願いです。創立50周年を機に、さらに活動の輪を広げ、明るく、楽しく、活気に満ちた特色あるクラブとして益々発展していくことを期待しております。

私のキワニス – 祝辞に代えて

株式会社トーエネック 元相談役 井上 丈太郎



創立50周年を慶び合いたいと存じます。

創立当初の事情は、現在ただ一人のチャーター会員である豊田章一郎氏だけが御存知ですが、その辺のことを何も知らぬ私は1983年、66歳のとき入会させて頂きました。以降33年間、私が直接関与し、記録して置きたく思う事柄を、振り返りながら記して、祝辞に代えたいと存じます。

毎週の例会にできるだけ出席して、それまで全く無縁であった異業種の方々と親交を結ぶようになり、有益な講和を傾聴することと併せて、私の人間形成は助長され、健康にも恵まれて、99歳の今日に至ったのであります。

1987年、諸先輩の御説得によって、まだ新米会員の私に会長の大役を仰せつかりました。会長の役がまだ本当に身につかないのに思いもかけぬ次の大役をお引き受けせざるを得ぬ事態が生まれました。

従来、毎年開かれる世界大会への日本代表は東京クラブに一任して来たのですが、翌88年は大阪クラブの会長が勤められることになりました。大阪の会長は渡米して世界大会出席者に対する厳しい訓練を受けて来られました。ところが帰国後、体調を崩されて、継続する次の訓練への出席ができなくなりました。代わりの代表者を名古屋クラブから出すこととなり、私がピンチヒッターの指名を受けました。英語と無縁の私は、同伴者の英語のできる日本地区事務局長の助けを借りて、第2回の事前訓練に参加しました。米国人の知己も少しはできました。そして96年6月、米国ソルトレークシティーで行われた年次大会に妻を同伴して参加しました。借り物のタキシードを着て、和服姿の妻の手を執って大会の舞台に立ち、満場の拍手を浴びました。名古屋クラブから石原明・坂芳雄・大崎博の3名の方が御夫人同伴で応援に来て下さいました。いくつかの会議や表彰の会が開かれましたが、中心議題は当時キワニスが世界的に運動を展開していたヨード欠乏症に対する活動状況と、会員増強対策でした。通訳を通じ、また私の英語も何とか通じたらしく、議長からOKと言われました。

キワニスドルを作る運動が始まったとき名古屋クラブで最初に作ったのは私の妻です。30体くらいを作って福西辰子さんを始めとする女性の皆さん方にバトンタッチをしたようです。福西さんは今日までこの運動の中心となって推進され、このたび表彰されることになりました。おめでとうございます。

例会日の食事にカレーライスを導入するように提案して採用されました。また例会の議長になったときゴングを打つ前に一言を述べて場の空気を和らげる試みをして見ました。最近同様の方が増えて来たようで、嬉しく思っております。

会員増強が課題となっておりますが、過度の増加は相互の親密、交流が薄められるように思います。当クラブとしても限界を見据えて対策を考えるときが近づいているように思います。

過去を振り返りながら、今日の当クラブの隆盛を祝い、次の60周年に向かつての努力を誓い合ひましょう。それが人生の残り少ない白翁の願いです。

さあ、50周年を祝して高らかに盃を上げましょう。

愛するキワニスクラブ

株式会社ダイナゴン 代表取締役社長 中島 健一郎



「私は名古屋キワニスクラブを愛しています。」この言葉は今年の春に清水靖男さんが退会のご挨拶でおっしゃっていた言葉です。私はまだ入会して6年が過ぎただけですが、同じ気持ちでした。おそらく会場の会員の方々も同じ気持ちだったと思います。またキワニスクラブの会員であることを誇りに思うとともに、キワニスのモットーである「Serving the Children of the World」の理念に則り、クラブの更なる発展に邁進していかなければならないと再確認した時でした。

私はキワニスに入会するまで、社会奉仕活動にはあまり関わりがありませんでした。しかし、いろいろな事業に参加するうちに、また諸先輩のお話を伺ううちに社会奉仕に対しどんどん関心が高まってきました。

「里親フォーラムあいち」に初めて参加した時に講師の方がおっしゃったことで、今でも鮮明に覚えていることがあります。「子どもが笑うのは楽しい時や嬉しい時だけではありません。虐待を受けている子どもは、虐待を受けている時に笑うのです。それが自分を守る手立てなのです。」私の世界観が変わりました。そんなきっかけを与えてくれたキワニスクラブに感謝しました。

キワニスクラブには様々な社会奉仕活動があります。キワニスドールプロジェクト、キワニス文庫、社会公益賞、里親フォーラムあいち、キワニスワンデー、災害義援金への協力 等々。どれも有意義な活動です。そして創立50周年記念事業のキャッチフレーズとして掲げた「育もう 子どもたちの夢と確かな未来を!」を具現化する「キッズインタープリター養成事業への資金助成」「名古屋キワニスクラブ奨学金制度」は、これから10年間の大事な事業です。特に「名古屋キワニスクラブ奨学金制度」は創立50周年記念事業の10年間にとどまらない、名古屋キワニスクラブの大きな事業に育っていく可能性があります。

また、このような事業をとおして、キワニスクラブの活動を会員以外の方々にも広く正しく認識していただければ幸いです。

名古屋キワニスクラブは、創立以来、奉仕と親睦を基本理念としております。私にとっての親睦の時間は、諸先輩の方々との関わりの中で、いろいろな事を学べる貴重な時間でもあります。毎回の例会はとても素晴らしい時間です。また、次期事務局長として創立50周年記念事業に関わることができたこともよい経験になり、幸せなことでした。

これからも、名古屋キワニスクラブは和気あいあいとした雰囲気の中で自由に意見交換ができ、楽しい時を過ごせる場所でありながら、社会奉仕にはクラブが一丸となって取り組む、子どもたちのための活動に突き進んでいく。また、活動の中で会員一人一人が何かを得て、成長していく。そんなクラブであり続けると確信しております。

名古屋キワニスクラブのこれから

株式会社大須ういろ 代表取締役社長 村山 賢祐



この度は「名古屋キワニスクラブ」創立50周年となりました事、誠にありがとうございます。

今回、私の様な若輩者が、この様な記念誌に寄稿をさせていただきます事、大変恐縮しております。しかしながら、大先輩の皆様より「若いから書け」とのご意向を頂戴いたしましての事情につき、どうかご寛大なお気持ちにてお読み頂ければ幸いです。

私ごとではございますが、今年ようやく40歳となりました。当クラブへは平成24年に入会をさせていただきました、今から約4年前、当時は36歳でございました。初の例会出席時には、普段あまり緊張をしない性格であります私も、メンバー皆様のお顔を前にすると、さすがに緊張感に包まれた覚えがございます。それ以降、最初の1年程は例会ごとに「ウチの孫と一緒にだな」とか「ウチの息子と一緒にだな」と、歳が若いということで皆様にやさしくお声掛けを頂けたとの記憶が多く残っております。

当クラブへ入会をさせていただきまして、僅か4年、されど4年。この間には、やはり当クラブへ入会していなければ、分からなかった事、知らなかった事、気付かなかった事など、様々なお話を拝聴し経験させていただきました。やはり「福祉」や「文化」的な内容が多くなりますが、自分の普段の生活や一般的な社業の中では知り得なかったお話も多く、毎週の例会では今日はどんなお話が聴けるのかと、それは現在も変わらずとても楽しみにさせて頂いております。

さて、今回与えられましたテーマは「名古屋キワニスクラブのこれから」でございます。このテーマを私の様な浅学の者が語るのには、本当に不適格と自認しておりますが、書かないことには終わりませんので、2つの事を取り上げさせていただきます。

1つ目としては、30～40代の会員を増やすことです。これは自分自身も同様ではございますが、主としてオーナー企業のいわゆる代替わり前後の若手の方などで、機会があれば当クラブの様な活動に参加したいと思っている方は、実は案外多いのではないのでしょうか。もちろん様々な諸条件、環境にてこれまで会員増が中々難しかった事も理解しておりますが、キワニスクラブという団体を知らないというだけの方も絶対的には多いかと存じまして、草の根活動的な募集を行う事で少しずつでも、若い事もあるが故に長い目でクラブに所属可能な方を増やして行ければと存じます。

2つ目としては、2ヶ月か3ヶ月に1回で構いませんので「夜の会」を増やしてはという事です。例会でも分科会でも、不特定の集まりでも構いませんが、日中より夜の方が時間都合のつきやすい方もおみえかと存じますし、お昼の一時間だけとは違う“コミュニケーション”も大切な機会かと存じます。

最後になりますが、私自身が本当に未熟でありまして、皆さまより学ばせて頂くべき事ばかりではありますが、この名古屋キワニスクラブの一員として一歩ずつ成長させていただければと、あらためて感じております。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

歴代会長座談会



10年の振り返りと、 今後に期待すること。

平成28年12月1日(木) 於 名古屋国際ホテル

この10年の歴代会長の中から8名にご出席いただき、就任当時の主な活動や印象深い出来事を伺いました。
また、名古屋キワニスならではの魅力や、クラブのこれからのに向けても意見交換をしていただきました。

出席者

2008年度会長 野嶋 孝
中部電力(株) 元副社長

2009年度会長 飯田 吉平
(株)東海理化 元会長

2011年度会長 深山 靖
(株)ジェイアール東海ホテルズ 元代表取締役会長

2012年度会長 未安 堅二
(株)中京銀行 元取締役頭取・会長

2013年度会長 川村 保憲
愛知日野自動車(株) 代表取締役社長

2014年度会長 藤岡 旭
中電興業(株) 元社長

2015年度会長 竹内 和男
東栄(株) 相談役

2016年度会長 後藤 晴男
JR 東海建設(株) 代表取締役社長

後藤（以下、司会）：年次が最も若いとの理由で司会を仰せつかりました後藤です。よろしくお願いいたします。まずは就任当時の話を、10年前から順に辿ってまいりましょう。

2007年度は矢野武さんが会長を務められました。この年の主な出来事は「名古屋城本丸御殿の復元事業」の支援、また「あいち少女少女創意くふう展」への協賛を決定しております。続く2008年度に会長に就任された野嶋孝さん、いかがでしょうか。



野嶋 孝

野嶋：はい。矢野さんの年に参画を決めた「あいち少女少女創意くふう展」は、私の任期からより具体的に活動がはじまり、後藤さんの代まで10年間続いた取り組みですね。

2008年度、私の就任当時は主に2つ、「会員増強」と「新クラブの設立」が大きな課題でした。

会員増強については当時、古参会員の皆さまから「会員数を増やすよりも会の雰囲気を守るべし」との強いご要望を頂戴しておりましたので、バランスを

思慮しながら取り組んだ記憶があります。私自身も当クラブの和やかな雰囲気は継承したい。一方で会員数の推移を見ますと、2008年度は141名から135名に会員が減った年で、クラブの目的を全うし活動範囲を広げていくためには増員が必要でした。そこでメンバー間で膝を詰めて話し合い、ご理解をいただきながら新会員獲得に向けた活動を進めました。

もう一つの新クラブ立ち上げとは、後の2014年に設立された大垣キワニスクラブへ繋がる活動です。当時はまだ大垣と決まる前の段階で、執行部内で打ち合わせ、個々のネットワークを頼りに近隣県を回りました。私でいうと北陸電力にお声をかけるといったことです。しかし今振り返ると組織立てた動きでなかったせいか、なかなか具現化しませんでした。その後、皆様のご尽力あって新クラブ設立における体制づくりが進み、マニュアルも作られるなどして進展したと認識しています。

司会：なるほど、大垣キワニスクラブ設立の動きは7年も前から始まっていたんですね。では2009年度の会長を務められた飯田吉平さん、お願いします。

飯田：私が会長に就任したのは丁度リーマンショックの直後でした。世の中ではリストラ、経費節減が進められキワニスクラブでも企業の退会の動き等ありました。そんな中、大先輩の井上丈太郎会員から“例会の食事はもう少し質素に出来ませんか”との提言を頂いたことが強く印象に残っております。自らを質素に、活動はむしろ積極的にとの思いで仕事を進めさせていただいたように思います。

※名古屋城本丸御殿の復元事業

名古屋市が進める本事業に対して、当クラブは2007年度の特別事業として、柿(こけら)板(屋根材)を3000枚、100万円相当を寄贈した。

※あいち少女少女創意くふう展

発明協会愛知県支部が主催する事業。毎年、発明クラブ員を中心とした児童・生徒が応募した作品を展示し、優秀作品に賞が贈られる。当クラブは2008年から2017年までの10年間、毎年30万円、総額300万円の協賛金を贈呈し「名古屋キワニスクラブ賞」を授与した。

年度の主な活動として、この年例会2000回記念を迎えました。記念例会はしっかりやろうと意見が纏まり、JAXAの的川泰宣名誉教授をお招きして記念講演を頂きました。この席にはチャーターメンバーの豊田章一郎会員も駆けつけて下さいました。

また新潟でのデビジョン交流会や持ち出し例会として海陽学園の見学会など記憶に残る行事でした。



飯田 吉平

一方この頃、日本キワニス(本部)で寄付金税額控除が受けられる公益財団法人化の動きがあり、東京での会議に幾度か参加しました。寄付資金が集中すると各個別クラブの自主性が失われるのではないかと懸念する声もありましたが、運営は従来と変わらないことを前提に議論を重ね、現在のキワニス日本財団(KJF)の成立に漕ぎつきました。会員の寄付が税額控除の恩典を享受出来るようになり寄付活動の活性化につながったと思います。

会長をやらせていただいて、改めて諸先輩が名古屋キワニスクラブの活動と伝統を愛情深く大切にされていることを実感した一年でした。

司会：名古屋キワニスガリーマン・ショックにも負けず能動的に活動した様子が伝わりましたね。

2010年度は鷺坂正さんが会長を務められた年で、主な活動としては名古屋開府400年事業の一環である「なごや子どもcity2010」に協賛しています。また「里親フォーラムあいち」への協賛もこの年が第一回目でした。続きまして2011年度の会長、深山靖さん、お願いします。



深山 靖

深山：私が就任した2011年は東日本大震災が発生した年です。3月11日、私はマレーシアのマラッカでASPACに出席している最中でした。第一報が飛び込んでくると場内は騒然となりました。我々のところに各国のメンバーがお声がけに来られ、ご心配ご同情をいただき、その夜の食事会では即席の募金箱が設置されました。あの日、誰もが日本を支援しようと働きかけてくださった姿が強く心に残っています。

私は帰国後すぐに執行部で協議し、名古屋キワニスとしても出来得る限り支援することを決めて、取り急ぎ300万円ほど基金を取り崩して被災地へ送金しま

※なごや子どもcity2010

名古屋開府400年記念事業の一環。まちの建設から仕事、店、イベント、マスコミ、市長選挙、議会など「まちの働き」を子どもが手がける、子どものための「遊びと体験のまち」。当クラブは協賛金30万円とキワニスドール作りを体験してもらうために資材350体を提供した。

※里親フォーラムあいち

当クラブが里親会に働きかけて創設に関わり、愛知県里親会連合と名古屋市親和会(名古屋市の里親会)が共同して開催しているイベント。当クラブはこれの運営費として1回あたり30万円を協賛。様々な原因によって親元を離れた児童を里子として迎え、献身的に養育している里親を支援している。

した。それから後、会員の皆さんから大変な、多大な協力を賜り、最終的には全国で約3,500万円が積み上がりました。この募金は、仙台や福島など被災したキワニスクラブを通じて、特にお子さん、残された遺児の育英基金を中心に役立てていただきました。あの震災は皆さんにとっても、今でも、忘れ難い出来事かと思えます。

また、この年のキワニスワンデーでは男性会員も多数参加してキワニスドールを作りました。このイベントは後に女性会員の福西辰子さんが中心となり、女性会員と会員の家族が集って取り組む「キワニスドールを作る会」の発足に繋がりました。私自身は作る会にはあまり貢献していませんが、現在まで続く名古屋キワニスの恒例活動に育ち、病氣と闘う子どもたちを支援しています。

司会：東日本大震災における活動は、その後の震災支援の在り方を提示したのではないのでしょうか。

続いて2012年度に会長を務められた末安堅二さん、よろしくお願いします。

末安：会長に就任するにあたり、改めて過去の年誌を読み返した中で、先達の素晴らしい活動の数々に感服いたしました。それまでは昼食がてら卓話を聴き懇談して帰るだけのメンバーで、自分はキワニスの存在意義を理解していなかったと恥じ入ったわけです。そこで自分のような会員と、本来の目的を理解して熱心に取り組んでいる会員との隔たりを埋めたいと考え、キワニス豆知識と題したコラムや活動内容を掲載した会員向け広報誌を作りました。今思えば、委員会活動にすべきところ私と事務局で手作りしてしまった

ために十分定着させることができず残念に思っておりますが、今も新会員用に配布利用されることは嬉しく思っています。



末安 堅二

任期中の最大の出来事は、エリミネイト・プロジェクトが全世界で展開されたことで、名古屋キワニスはどのように参画すべきかがテーマでした。ご周知の通り結論は「100K宣言」の決議です。そこにはリーダークラブである名古屋が身を以て旗振りすべしとの想いがありました。しかし前年に大震災があり、政権交代後のデフレが進み世相が暗くなっていた時期で、果たしてこの金額が5年で達成できるのか、会長として相当の覚悟をもって総会に提案しましたが、皆さまのご理解とご賛同をいただき、目標達成できたのは感謝の極みです。その後、達成までに関わった方々と推進リーダーを務めてくださった川村さんに心より深謝申し上げます。

司会：100K宣言、10万ドルプレッジのスタートラインを敷いてくださったのですね。

※ASPAC

正式名称はキワニスアジア太平洋総会。国際キワニス・アジア太平洋地域のキワニアンとの増強と友好を深めるために、毎年、アジア太平洋地域の国々で開催される国際会議。

※キワニスドール・プロジェクト

キワニスドールは、病氣と闘う子どもたちを支援する手づくりの人形。当クラブでは2002年よりキワニスドールプロジェクトに参画し、2012年以降、「キワニスドールをつくる会」が作成し、愛知・岐阜・三重の3県の病院・施設を中心に寄贈している。

ではそのエリミネイト・プロジェクトの多大な貢献者であり、2013年度の会長でもある川村保憲さんにお話を伺いましょう。



川村 保憲

川村: 義理の父に命じられてキワニスに入会したものの、当時はまだ今のように若い方は多くなく、40歳の私は一際若く恐縮しきりでした。若輩者こそ汗をかかねばと活動に参加するうちにキワニスの魅力に惹かれていき、13年目に大役を仰せつかりました。先輩方の厚いご支援、そのおかげさまで、年間の恒例行事をつつがなく開催できた次第です。

この年最大の取り組みはやはりエリミネイトです。目標額は日本円で約1,000万円、高すぎる壁を前に末安前会長とご一緒に、達成できねば切腹か、くらの悲壮な覚悟で乗り出しました。クリスマスなどにバザーをする際も無理をお願いしてエリミネイトのための別枠バザーをしたり、無記名の募金箱を設置したり、季節の旅行会のバスの車中でも時間を頂戴して集めたり。バザーでは末安さんは、大切にしてい

イチローのバットも高値がつくだらうからと出品されたね。本当に必死になってあちこちで活動して、1年で目標比85%まで達しました。これは会員一人ひとりの社会奉仕の心が成した数字です。その後も、この勢いを持続したまま活動を続け、「100Kクラブ」と「モデルクラブ」を1年の後に達成することが出来ました。途中、急激な円安に見舞われ円換算の目標額が大幅に引き上げられる事態もありましたのに、ここまで善意が集まったのは素晴らしいことで、皆々さまに改めて御礼申し上げます。

司会: 大変なご心労もあったと察しますが達成されて本当に良かった、ありがとうございました。

それでは、2014年度の会長、藤岡旭さんをお願いをします。

藤岡: はい。私は野嶋さんの会長時代に入会しまして、飯田さんと鷺坂さんの時は副事務局長、深山さんの時に事務局長、末安さんの時に副会長とさまざまな役をさせていただきまして、皆さんのお話を感慨深く拝聴しました。どの取り組みも1年で完結ということはなく、大勢の会員が携わりバトンを継承して成り立っていることを、裏方として体感しているからですね。

私の任期中に受け継いだバトンの一つが大垣キワニスクラブの設立でした。次期会長の竹内さんに設立準備委員会を担っていただき、竹内さんと矢野さんが岐阜・大垣を回って会員を集めてくださいました。7年前、クラブ新設に着手された野嶋さんから続いた取り組みが、竹内さんの代に成就したわけです。

また、この年は2年後に迫った50周年記念事業に

※エリミネイト・プロジェクト

国際キワニスがユニセフと共同し、世界から母子破傷風を撲滅するために立ち上げたプロジェクト。2010年から5年間で世界中のクラブで合わせて1億1千万ドルの募金活動を行うと宣言。当クラブはこれに呼応し、10万ドル(100Kクラブ)と

いう高い目標を掲げ、会員の寄付により2014年夏には目標を達成した。この世界的なキャンペーン活動によって妊産婦・新生児破傷風の撲滅が進み、世界全体で6,100万人もの母子の命を救った。

向けての準備委員会が始動しました。これも竹内さんが準備委員としてご助力くださり構想を練りました。じつは50周年を迎える年の会長人事もこのとき決めてあったのですが、候補者が急遽退会することになり、しかし事情があって発表はできず、水面下で後任探しに追われたことが印象に残っています。

もう一つ、女性のサテライトクラブを作ろうという動きもありました。メンバーシップ委員長でいらした飯田さんにご相談して前向きに検討していただいたのですが、当時は実現ならず、今年の後任で私が委員長を承ったものですから、また改めて再検討したいと考えています。



藤岡 旭

司会：新クラブ設立活動は足かけ7年、大垣キワニスクラブの設立は本当に長年の願いだったことがわかりますね。

では2015年度の会長を務められました竹内和男さん、よろしくお願ひします。

竹内：大垣キワニスの話を続けると、浜松や岐阜でクラブ設立の動きがあった後に、私が大垣に携わったのは、銀行・証券会社時代に担当した企業が多かったからです。僭越な言い方をお許しいただければ、大垣の財界は大変まとまりが良く、地元有力者が情熱を持って設立に関与してくださった。設立総会にお邪魔した際は岐阜新聞に「大垣にキワニスクラブ設立」の全面広告を出稿されていましたし、「子育て日本一」を標榜する都市としてキワニスの活動理念に賛同し、市をあげて盛り立てておられました。37名という近年稀な規模で誕生した、若さと活力溢れるクラブです。設立にあたっては、以前に鈴木現会長が作ってくださった新クラブ設立マニュアルが非常に役に立ちました。

他には、50周年記念事業の準備がありました。準備委員会は2年半ほど前にできていたのですが、コンセプトも固まらず悩んだ時期を経て、アンケートを取るなどして会員の皆様のご協力を賜り徐々に形になりました。先般の記念式典では、他クラブから参加された方々の「さすが名古屋だ」の声は嬉しかったですね。

もう一つ思い出深いのはキワニス・ワンデーです。この年は施設の子どもたちを招き、会員の石田雅子さんがお弟子さんと生け花を教えたり、佐々木仔利子さんが門下生とピアノ演奏をしたりで参加者を喜ばせてくれました。以来、あしながおじさんのように顔が見えない支援者ではなく、我々が直接会ってできることをしても良いのではと感じています。



竹内 和男

司会：竹内さん、ありがとうございます。

10年の振り返りの最後は私、2016年度の後藤晴男がお話をさせていただきます。

後藤：藤岡さんからお話がありましたように、私が会長を拝命したのは青天の霹靂でした。キワニアン歴5年では元来の力不足のうえに経験不足と躊躇しましたが、皆様の「応援するから」のお声を頼りに謹んで承った次第です。50周年という特別な年度の会長でした。しかし、記念事業は既に竹内さんを中心とした実行委員会で計画が練り上がりつつありましたし、会員の皆様が総力を挙げて取り組んでくださいましたので、私はただただ便乗させていただいただけだと思います。「育もう 子どもたちの夢と確かな未来を!」のコンセプトの下で素晴らしい記念事業を展開することができました。

恒例のキワニスワンデーは50周年記念事業の一環として、名古屋市科学館に300人を超える子供たちを招き、JAXA 前副理事長の樋口清司先生

と宇宙科学の第一人者である宇宙飛行士の山崎直子さんによる特別講演会で、夢膨らむ興味津々のお話を伺い、大いに楽しんで頂きました。

また、9月2日の記念講演・記念式典・記念祝賀会には、愛知県知事、名古屋市長、日本地区ガバナーなど大勢の方々にご臨席を賜り大変な盛り上がりでした。その中で、50周年記念事業として、新たに取り組む事業を宣言しました。記念事業は2本立てで、一つはキワニスの森における「キッズインタープリター養成事業の支援」、もう一つは「名古屋キワニスクラブ奨学金制度の創設」です。

皆様のご協力、ご尽力を賜りまして、創立50周年の節目に恥じない1年、次の10年に向けた確かな第一歩になったのではないかと思います。



後藤 晴男

司会：では引き続き、ざつぱらんに名古屋キワニスクラブの魅力、もしくは今後の在り方について意見交換をいたしましょうか。竹内さん、いかがですか。

※キッズインタープリター養成事業

正式名称「もりの学舎祭りの開催～キッズインタープリターの養成～」事業。愛・地球博記念公園内における愛知県の環境学習事業で、2017年度から10年間、年30万円を寄付する。

※名古屋キワニスクラブ奨学金制度

2017年度から10年間、児童養護施設または里親・ファミリーホームといった社会的養護の下で生活していた児童で、高校卒業後に大学・短大・専門学校に進学した者のうち原則として就職活動時期を迎えている学生を対象に、毎年2名に対して年25万円を給付する。

竹内:最大の魅力は、和気藹々としたあたたかい雰囲気ですね。長期にわたる会員が多く、皆さんお人柄も良いので、非常に仲が良い。

末安:そう、雰囲気が素晴らしい。理由の一つは皆さんが自発的に出席しておられるからだと思います。会員がお仕着せでなく当事者意識を持って活動している、だから和気藹々となる。

藤岡:毎週開催して、毎回会員の半数にあたる70人以上が出席するクラブは名古屋だけだそうですよ。ボランティアという目的を同じくして、会員同士がフランクに話し合えています。

深山:ほかに名刺交換に熱心な異業種交流会は数多ありますが、キワニスは純粹といえますか、社会奉仕という目的が明確ですね。また、世代間ギャップもなくとてもフラットな組織だと感じます。

飯田:活動をさらに深める意味合いで、家族に参加の機会を多くするのも良いかと思います。キワニスドールに参加いただいている奥様方を中心にした家族会員制度も一案でしょう。勿論会費は実費に近い少額が前提です。

竹内:キワニスを通じて、ボランティア活動は受け身よりも能動的にどっぷり浸かって汗をかいた方が断然面白いと実感しました。この経験は、会員でもご家族でもいい、より多くの方と共有したいと思います。

川村:また、名古屋キワニスは10年以上前から私のような若輩者もあたたかく迎え入れてくださったので、若いうちから役員を務めさせていただくと、一層、活動に身が入るかもしれませんね。

野嶋:その通りですよ。近年は若手の会員に事務局長になってもらっている、良い傾向です。委員会でさまざまな現場の責任者を経験したあとで会長になると、全体がよく見えるのではないのでしょうか。

後藤:そうですね。早い時期から責任を持つことになれば、また新たな気づきがあるでしょうね。

野嶋:名古屋が率先して動く、或いは、他にない新しいしくみを創っていく姿勢は使命ではないかと思います。やはり、名古屋はリーディングクラブなんですよ。これからもキワニスの有るべき姿を体現するクラブであってほしいですね。

司会:おっしゃる通りです。野嶋さんのご意見に皆様ご賛同されたところで、この座談会を終えたいと思います。次の10年に向けて、我々も名古屋キワニスクラブを益々盛り上げてまいりましょう。本日は誠にありがとうございました。



エリミネイト・プロジェクトについて

エリミネイト・クラブ・コーディネーター 川村 保憲

▶ はじめに

国際キワニスは、2010年のラスベガスで開かれた世界大会において、過去に行われたIDDヨード欠乏症撲滅の活動に続く世界奉仕プロジェクトとして、母子破傷風(MNT Maternal & Neonatal Tetanus)を撲滅するため、2015年までに1億1000万ドルの募金活動を行うという「エリミネイト・プロジェクト」(ELIMINATE Project…英単語のEliminateは「撲滅する」を意味し、その綴りにMNTの文字を含んでいる…)に取り組むことを決定し、翌年2011年7月、ジュネーブで開かれた第96回キワニス国際大会においてエリミネイト・プロジェクトの正式な立ち上げが発表されました。このキャンペーンはUNICEFと協力して行います。

▶ 破傷風とは

破傷風の原因は、土の中に生息する破傷風菌が傷口から体内に入り感染を引き起こします。

症状は、強い肩こり、筋肉麻痺やけいれん、顔面の引きつり、舌がもつれる、というところから始まり、徐々にのどがつまり硬直する。歩行障害や全身けいれん、手足や背中が硬直するなどし、体がエビ反りなって、ひどいときには背骨が折れることによって死に至ることもあるそうです。

破傷風の死亡率は50%、新生児に至っては80%から90%と非常に高いです。また新生児破傷風は生存しても難聴になる危険性があります。新生児の破傷風は、衛生管理が不十分な施設での出産で、新生児のへその緒を切る際、切断面が汚染され発症します。

日本でも1950年ころは破傷風患者が年間数千人

いましたが、1953年から破傷風ワクチンの任意接種が開始され、1968年には3種混合ワクチン(ジフテリア、百日咳、破傷風)が実施され、現在では年間50人から100人まで減りました。破傷風発症後の治療は難しいので予防が重視されます。

また、破傷風などの感染症研究に日本人研究者の果たした役割は大きく、その治療法を発見したのは北里柴三郎でした。

明治22年ドイツ留学中に、世界で初めて破傷風菌だけを取り出す破傷風菌 純粋培養法に成功しました。その菌を使って治療法の研究を進めた結果、毒素をある一定量一度に注射したネズミはすぐ死ぬのに対し、同じ量の毒素を何度かに分けて注射したネズミは生きていたことを発見しました。そして毒素を何回かに分けて身体に入れると、毒に抵抗する物質つまり抗体が体内にできるのではないかと考えたのです。柴三郎はこの抗体を含んだ血液を患者に投与する血清療法を開発し多くの命が救われたのでした。

この血清療法は現在のワクチン療法へと受け継がれていきます。

破傷風についての数値

※破傷風は、9分に1人の割合で赤ちゃんの命を奪っている。

※破傷風は毎日、160人の赤ちゃんの命を奪っている。

※UNICEFでは、2000年からこれまで20か国で母子破傷風の撲滅に成功した。

※破傷風ワクチン3回で破傷風に対する免疫が得られる。

※妊産婦にワクチンを注射すれば赤ちゃんまで免疫が得られる。

※1回60セント、計3回1.8米ドルの注射で母と将来の赤ちゃんの命を助けることができる。

※エリミネイト・プロジェクトは6,100万人のお母さんと赤ちゃんの命を助けることができる。

※撲滅とは、新生児出生数1,000件につき、破傷風の発生数を1件以下にすることをいう。

▶ エリミネイト・プロジェクトのスケジュール

エリミネイト・プロジェクトは 2010 年 10 月の準備期間から 2015 年 9 月に終了するまでの 5 年間にわたる長期プロジェクトです。5 年間の基本スケジュールは次のように国際キワニスから示されました。

- 1 年目 2010 年 10 月から 2011 年 9 月まで
「口火を切る」準備期間 計画開始
- 2 年目 2011 年 10 月から 2012 年 9 月まで
「鼓舞する」本格的活動開始
- 3 年目 2012 年 10 月から 2013 年 9 月まで
「参加する」活動の継続実施
- 4 年目 2013 年 10 月から 2014 年 9 月まで
「達成する」最終目標の設定
- 5 年目 2014 年 10 月から 2015 年 9 月まで
「お祝いする」国際キワニス年次総会で終了

▶ 目標額

世界全体で 1 億 1000 万米ドル。世界中のキワニスの総会員数で割ると、1 人当たり 474 米ドル。この額が基準として示されました。一人あたりの破傷風ワクチンの費用は 1.8 ドルなので、1 人の会員が 263 人を助けることができる勘定となります。

▶ エリミネイト・プロジェクトにおける表彰の種類

エリミネイト・プロジェクトにおいて、寄付のレベルに合わせて、個人表彰やクラブ表彰など多くの種類が用意されています。

▶ プレッジ (寄付約束)

支援する側が支援金額を自ら表明し誓約すること。

エリミネイト・プロジェクトにおいては、世界中のクラブがそれぞれ目標額をたて、期限内の達成を目指して募金活動等が開始されますが、プレッジをすると、その瞬間に目標が達成されたとみなされます。ただしプレッジした時点から 5 年以内に必ず目標額を集めなければならないという義務と大きなプレッシャーが押し掛かってくることを覚悟しなければなりません。なお、プレッジができるのは「100K クラブ」と「モデル・クラブ」のみです。

個人顕彰

ノン・ゼラー賞

当該寄付が救済した人命の数 (1.8 米ドル (一人当たりワクチン費用) で 1 人救済と換算) を記した襟章を交付

- 175 人章
300 米ドルの寄付



- 350 人章
625 米ドルの寄付



ウォルター・ゼラー賞

最長連続する 2 年間で 1,250 米ドルの寄付
ゼラー・メダル、同襟章および賞状を交付
(2011 年 9 月 30 日までに寄付を行った最初の 1,000 名には、チャーター・メンバーとして "CHARTER" の文字の入った襟章を交付)



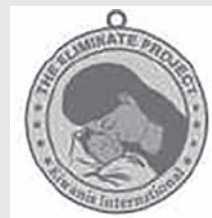
ダイヤモンド・レベル・ゼラー賞

ゼラー賞受賞者がさらに 追加して寄付を行った場合、追加の 1,250 米ドル毎
ダイヤモンド・ピンを交付

特別顕彰

25,000 米ドル以上の寄付
KIF 行事への招待、出版物への寄付者名の掲示

- Major Gifts
10 万ドル未満の寄付



- Lead Gifts
10 万ドル以上の寄付



KIF 顕彰規定による顕彰

- ヒクソン・フェロー
- タブレット・オブ・オーナー
- ファウンダーズ・サークル

クラブ顕彰

グローバル・サービス・ソサエティ賞

会員一人当たりの寄付金額（会員個人の寄付の他、会員以外からの寄付、バザー等クラブ全体で募金した金額の全体合計を会員数で除した数字）による

バナー・パッチ

（一人当たりの寄付金額の算出は累積ベースで毎年行われ、1段階上のレベルに達した場合は当該レベルのバナー・パッチが交付される）

■ブロンズ・クラブ 350米ドル以上



■シルバー・クラブ 500米ドル以上



■モデル・クラブ

750米ドル（750米ドルの倍数を達成したクラブはその倍数に応じ200%モデル・クラブ、300%モデル・クラブとなる）バナー・パッチのほかに、当該クラブ会員用の襟章、コンベンションでの表彰、出版物等への掲載等が考えられている



■ゴールド・クラブ 1,000米ドル以上



■プラチナ・クラブ 1,500米ドル以上



■ダイヤモンド・クラブ 2,500米ドル以上



100K クラブ

クラブ合計（会員の寄付、会員外からの寄付、バザー等のクラブ活動による募金全ての合計）で10万米ドル以上の寄付（金額によっては200Kクラブ、300Kクラブ等と称することも可）

当該クラブ会員用の襟章、額入りの賞状、コンベンションでの表彰、出版物等への掲載、KI本部での表彰が考えられている



100% 参加賞

クラブ会員全員がなんらかの寄付バナー・パッチを交付



チアマン・スピリット賞

奉仕活動に対するコミットメントが特に顕著なクラブ

▶ 日本地区の取り組み

国際キワニスのこうした方針を受け、日本地区では、2011年3月の東日本大震災で、活動開始が1年ほど遅れたものの、2011年9月の千葉大会において年度の事業計画の中に組み込まれ、国際本部と連携して効果的な運動を展開することになりました。

組織としては、齋藤 藤日本地区ガバナーの下、北里光司郎エリミネイト日本地区コーディネーターを中心に日本全国各クラブの責任者（クラブ・コーディネーター）を置き、通常の執行体制とエリミネイト推進組織が協力して、プロジェクトの推進を行います。

▶ 日本地区の目標額

2011年10月から2015年9月までの4年間ににおいて一人当たり474ドル、日本円で38,000円、日本地区合計で、会員数1,653人、合計6,300万円、これが国際キワニスの示した基準の目標額となります。（開始当時）

しかしながら、日本地区は、目標として各クラブに対

し、2012年6月の初旬までに、「モデル・クラブ」のプレッジをするよう強く要望を示されました。「モデル・クラブ」は1人あたり750米ドルの目標となります。

▶ 名古屋キワニスクラブの対応

これを受け役員・幹事会で検討した結果、名古屋クラブとしては「モデル・クラブ」より、さらに上位の表彰位置にある、「100Kクラブ」を目標として取り組むことに決定し、その後に開催された通常総会に諮り、承認を受け、さっそく「100Kクラブ」のプレッジを行いました。

▶ エリミネイト・プロジェクトで取り組んだ活動

「100Kクラブ」、つまり目標額100,000米ドル≒800万円、1人あたり6万円を目指して寄付金集めに取り組むため、名古屋キワニスクラブでは会員一丸で様々な活動を行いました。

- 1 例会において定期的なアピールと集金状況のお知らせ
- 2 エリミネイト・プロジェクト用の寄付金袋の用意(記名)
- 3 エリミネイト・プロジェクト用の募金箱の設置
(無記名)・・・おつりなど小銭の寄付
- 4 例会報に目標進捗状況が一目でわかるグラフを掲載
- 5 家族旅行会等クラブの様々な行事においてエリミネイト・プロジェクト募金をお願い
- 6 例会講師に破傷風の専門家を招きお話を伺うなどです。

▶ 活動結果

名古屋キワニスクラブのメンバーの深いご理解と温かいお志を賜うことができて、当初スローペースであったものが、時間とともに次第に活動の認知度が上がり、着実に寄付金が寄せられてまいりました。中でも堀籠会員のメジャー・ギフト個人表彰受賞をはじめ、ゼラー賞、ヒクソン賞、また、それらを複数回受賞されるなど、多額の寄付をされた方が多数現れるようになりました。こうした熱いお気持ちを賜りつつ、開始から2年後の2014年夏には名古屋キワニスクラブの目標とするところの、「100Kクラブ」到達が間近となりました。

▶ 「モデル・クラブ」プレッジ

日本地区からは名古屋キワニスクラブに対し、活動開始当初から、「100Kクラブ」プレッジに引き続き、「モ

デル・クラブ」プレッジをしたらどうか、との強い意向を再三懇願されてきましたが、「モデル・クラブ」より上位に位置する「100Kクラブ」のみを目標とすることで名古屋クラブは十分、とお答え続けてまいりました。そうした中、「100Kクラブ」到達が確信できたことで、目標金額がほぼ同額の「モデル・クラブ」をプレッジしても達成は大丈夫と判断し、通常総会に諮り、「モデル・クラブ」もプレッジすることになりました。

▶ 達成

そして残暑の頃には「100Kクラブ」・「モデル・クラブ」とも達成し、名古屋キワニスクラブのエリミネイト・プロジェクトは終了しました。その後の例会時、心からのお礼をメンバーの皆様に申し上げることができました。

▶ 日本地区の活動結果

2015年で5年間のキャンペーン活動が終了しました。目標の104万7千ドルに対して、121万ドルの寄付が集まり、116%の達成率となりました。会員1人当たりの寄付額は733ドルで、世界2位です。活動途中から急激な円安に見舞われ、円換算の目標額が大きく増えたにもかかわらず、素晴らしい成果を達成することができました。

▶ エリミネイト活動による、破傷風撲滅状況

キワニスの募金とユニセフの医療ネットワークにより、キャンペーンスタート当初の破傷風対象国40か国のうち、活動によって19か国が新たに撲滅国に変わりました。今後も予防活動は続けられ、残る21か国の破傷風対象国についても順次撲滅国としての認定が行われる予定となっています。

▶ おわりに

募金の目標額と期限が示されての活動ということで、これまでのキワニスの自発的な奉仕活動とは違う形でのプロジェクトでありましたが、メンバーの皆様の熱い気持ちが一つとなり、達成することができました。深く感謝申し上げます。

「里親フォーラムあいち」が誕生するまで

2015 - 2016 名古屋キワニスクラブ次期会長 鈴木 信好

当クラブが賛助する奉仕活動の1つに「里親フォーラムあいち」があります。第1回のフォーラムを平成21年11月に開催して以来、数を重ね平成28年3月には10回目のフォーラムを開催するに至りました。この奉仕活動は、青少年教育委員会が平成19年秋頃から「何らかの形で児童虐待防止の活動を支援できないか」とのテーマで検討を開始したことが端緒となりました。そして、協議を続ける中で、児童虐待やその他の理由によって親元を離れた児童を里子として迎え、献身的に養育されている里親の集まりである里親会を支援することが、児童虐待に関わる問題打開の一助となるとの結論に至りました。そして、これがその後の取組みを経て「里親フォーラムあいち」として結実しました。ここではその経緯をご報告します。

平成19年秋頃、青少年教育委員会は「児童虐待防止」についての協議を開始しました。これは日本地区が示した「YCPO児童虐待防止活動支援プロジェクト」に対し当クラブがどのように取り組んでいくのかを探るためのものでした。この協議の中で、当クラブが直接的に児童虐待防止活動に取り組むことは専門性や継続性の面で難しい。しかし、「里親に対する支援」は有益な奉仕活動となるのではないかとの方向性が浮かび上がりました。そこで、里親制度を正確に理解するため、平成20年3月に愛知県健康福祉部と名古屋市子ども青少年局を訪ね、里親制度の概要・運営状況、関連NPO団体などについてヒアリングを行いました。これにより里親制度は児童福祉法に定められた制度である。里親には国・県から生活費・手当として子供一人当たり月間約8万円（当時）支払われており、無償奉仕のボランティアではない。

児童相談所が措置する制度である。里親の組織として、愛知県には「愛知県里親連合会」、名古屋市には「親和会」があるが相互の交流はない。愛知県内の里子の人数は約150人（当時）である。国の今後の社会的養護についての方針は里親制度の充実が優先である等々多くのことを学びました。

次に、里親の皆さんから直接話を伺うため愛知県里親会連合会と親和会の役員の方と面談しました。また、これまで開催されてきた行事についても説明を受けました。こうした取組みを続ける中で7月には、愛知県里親連合会の柴田会長を例会に招いて「子どもたちと里親-里親制度の現状と問題点-」というテーマで講演いただきました。また、親和会からは、10月に住田理事を招いて「名古屋市における里親の現状と課題」とのテーマで講演していただきました。この2つの講演は当クラブ会員が里親制度の実情を理解する上でよい機会になりました。また、8月には再度、愛知県健康福祉部と名古屋市子ども青少年局を訪ね、当クラブにおける検討状況を報告するとともに追加ヒアリングを行いました。更に、両里親会より年度収支報告書を受領し収入と支出の詳細な内容を確認しました。この結果、両里親会ともに独自活動のための資金は10万円から15万円程度であり、本来取り組みたい事業がほとんど行えない状況にあり、逆に、愛知県里親連合会に交付されてきた厚生労働省からの交付金は次年度から廃止または大幅減額の見込みであり現状維持さえ危ぶまれるとの現況が確認されました。

このような約1年にわたる検討期間を経て、里親会に対する助成を行っていくとの方向性が定まりました

ので、次の段階として助成事業の具体化を図っていくこととなりました。平成21年に入り、それぞれの里親会が予定する事業の内容とスケジュールをヒアリングするとともに7月には両里親会より支援希望事業を記載した文書を受領しました。このように両里親会と当クラブの間で意見交換を重ねる中で、両里親会は、これまでほとんど交流がなかったが、今後は折りに触れて交流・意見交換していくとの意思が確認されました。また、助成事業としては「研修会・講演会への支援」が両里親会の希望として一致しているので、これを両里親会が共同開催し当クラブが協賛することで開催してはどうかと当クラブより提案したところ合意が得られました。

その後、協賛の主旨や範囲、期間、事務的事項の内容とスケジュールを詳細に協議しました。この中で、事業名称は里親同志の交流も大きな目的であるため「研修・交流会」としました。また、当クラブからは事業開催費用(会場費、講師謝礼・交通費、資料作成費など)として30万円贈呈することとしました。そして、これらを覚書としてまとめ平成21年9月25日に三者で締結しました。また、開催案内のチラシには、城戸わこ会員の描いた「いのち・いのり」をテーマとした慈愛に満ちた母子像が載せられることとなりました。



このような経緯を経て「第一回里親フォーラムあいち」が以下の通り開催されました。

- ・日時：平成21年11月8日(日)
午後1時より午後4時まで
- ・会場：名古屋都市センター14階
特別会議室
- ・講師：社団法人家庭養護促進協会 米沢 普子氏
テーマ 「子どもの心に寄り添う」
- ・出席者：90名

このように当クラブの呼びかけにより始まった里親のための「研修・交流会」がその後も継続開催されていますことは、日々悩みを抱えながら里親としての生活を送っている里親の皆様のために役立っていることの何よりの証と考えます。今後とも内容の充実に向け当クラブとしても積極的に参画していきます。

名古屋市親和会と愛知県里親会連合会との合同フォーラム

-新しく絆をつくるために-

協賛 **名古屋キワニスクラブ**
-Serving the Children of the world-

第11回 里親フォーラムあいち

テーマ **「通じ合う関係性が子どもを育てる」**
～体験が積み重なって今の性格を形成している～

講師 牧 真吉(まき しんきち)氏

2017年2月26日(日)

● 開場/13:00 ● 講演会/13:30~15:20 ● ディスカッション/15:30起

名古屋市長合社会福祉会館7階
乳がん検診センター1階(〒466-8517 北区船場西側)
TEL:052-911-3-2131 地下鉄船場駅南口下車、南へ徒歩5分

入場無料(定員100名)

● 参加申込方法(先着有り)
講演の参加申込書に記入し、2月17日(金)までにFAXにて下記へお申し込みください。
お返でもお電話にてお申し込み可能です。

FAX.052-365-3281

継続及び養護に関心のある方、子育てに悩む方、学生、教育関係、ぜひに参加ください。
主催・本開会ゼ／名古屋市親和会事務局(名古屋動物園東側事務所内) TEL.052-365-3281 FAX.052-365-3281
愛知県里親会連合会事務局 TEL.FAX.0564-53-0199

里親フォーラムの開催案内

創立40周年記念事業 「名古屋キワニスクラブ賞」の果たした役割

2015 - 2016 名古屋キワニスクラブ副会長 宮崎 修二

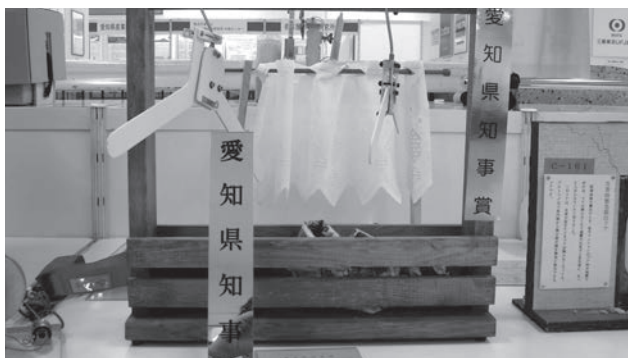
当クラブが創立40周年記念事業として創設した「名古屋キワニスクラブ賞」の授与は、平成27年12月の表彰をもってひとつの区切りとなりました。

この記念事業は、キワニスのモットーである「Serving the Children of the World」の理念と「愛・地球博」が開催された当時の社会状況を踏まえ、実行委員会が検討を重ねた結果導き出されたものです。

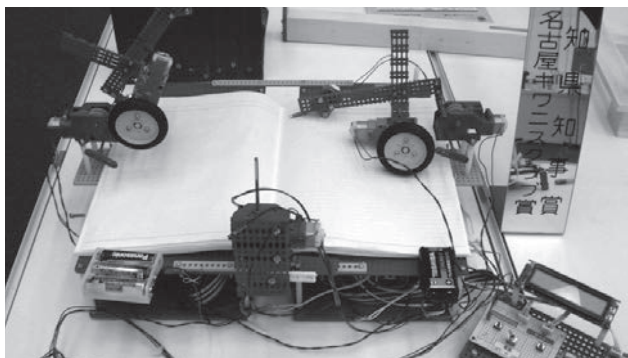
その目的は、将来を担う子どもたちのために、自然の摂理の学習や、「ものづくり」を通じて科学する心を育む活動を地道に推進する団体をサポートすることであり、これを以下の内容で具現化しました。支援対象は、発明協会愛知県支部とし、同会が主催する「発明とくふう展」に特別協賛する。同会に毎年30万円、10年間で

総額300万円の寄付金を贈呈する。表彰対象は、愛知県知事賞を受賞した児童・生徒が在籍する小・中学校とする。対象校に「名古屋キワニスクラブ賞」として表彰状と盾および副賞30万円（このうち10万円は創意くふう展の運営費用に充当）を贈呈する。（発明協会と展覧会の名称は当時のもの）

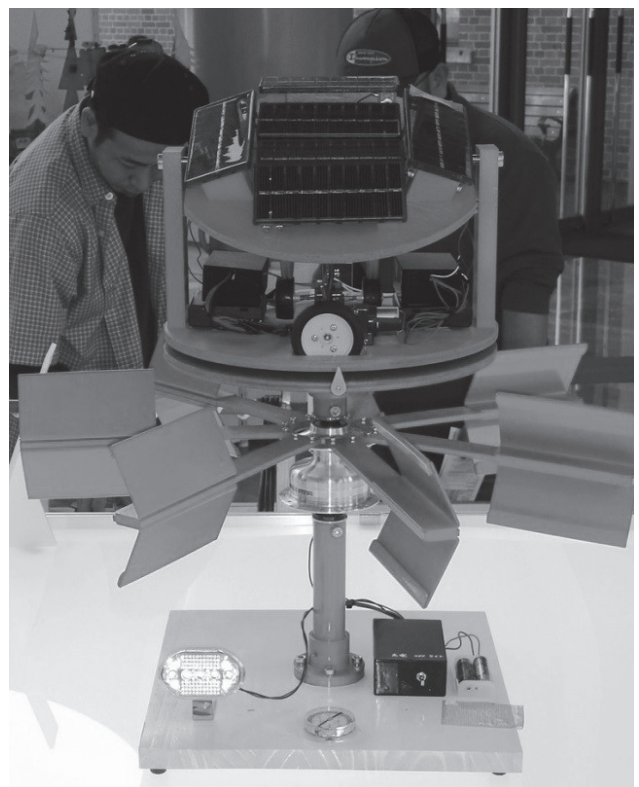
理科離れに伴う科学技術力の低下が懸念される昨今ですが、「名古屋キワニスクラブ賞」創設時、愛知県内の「少年少女発明クラブ」の数は9市町であったものが、現在では23の市町に広がっています。10年間にわたり継続してきた「名古屋キワニスクラブ賞」の授与は、「子どもたちの科学する心の醸成」に少なからず貢献してきたものと考えます。



首のび防止ハンガー



多機能ページめくりロボット



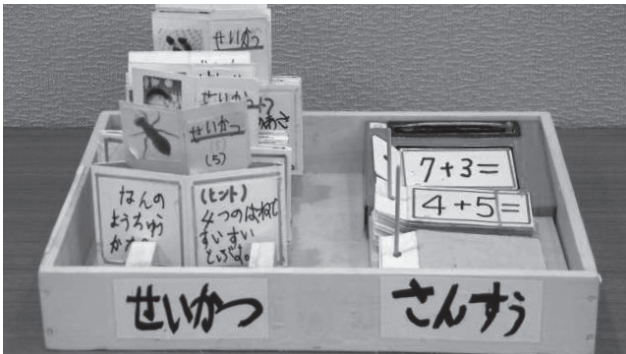
ひまわり発電機



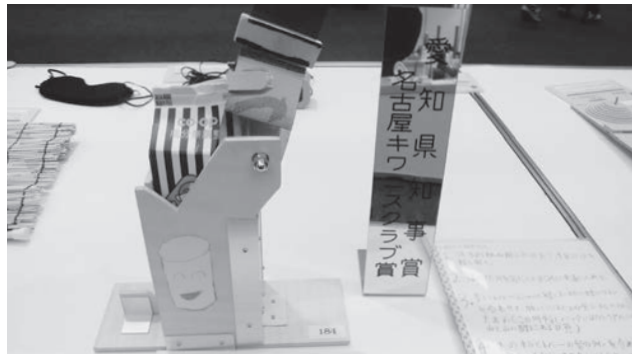
見る目の高さによって光の位置が変わるライト



お風呂の水面ゴミ取り機



スーパーべんきょうマシン



牛乳パックらくらくオープナー



ANSIN (安心お出かけシステム)



車いすで坂道を上ろう



ママも安心、自動ブレーキ付きベビーカー



キワニス
ワンデー
2016

50周年記念事業

特別講演会

『育もう 子どもたちの夢と確かな未来を!』

日:2016年7月9日(土) 場所:名古屋市科学館 サイエンスホール 対象:小学4年生から中学生

宇宙をテーマとして、子どもたちに明るい未来を想像してもらうことを目的に

名古屋市科学館と共催された2016年のキワニスワンデー。

当日は梅雨空にもかかわらず、この日を待ちわびた親子たちで、340名収容のサイエンスホールは満員となりました。

樋口氏、山崎氏の貴重な講演や、科学館学芸員による展示物の紹介など、イベントは終始和やかな雰囲気で行われ、

子どもたちも大満足の様子でした。



13:30
開演

13:35
樋口氏 講演



14:15
山崎氏 講演



14:55
休憩

15:00
科学館展示紹介と
トークショー

キワニスワンデーとは…

全世界のキワニスクラブで行われている、キワニスの活性化を目的としたプロジェクトです。毎年、クラブごとにさまざまな奉仕活動が行われており、地域の人々のキワニスに対する知識を深めてもらうとともに、全キワニスファミリーが意味ある奉仕プロジェクトに参加することを促しています。

■ 名古屋キワニスクラブの取り組み

- 2007年 4月 7日 「ドールづくりを楽しむ会」
- 2008年 4月 5日 「ドールづくりを楽しむ会」
- 2009年 4月 4日 「ドールづくりを楽しむ会」
- 2010年 4月 10日 「ドールづくりを楽しむ会」
- 2011年 4月 2日 「ドールづくりを楽しむ会」
- 2012年 4月 21日 「キワニスの森」で植樹と見学
- 2013年 5月 25日 講演「キワニスドールがどのように活用されているか」
名古屋掖済会病院 小児救急看護認定看護師 小山田恵氏
- 2014年 4月 5日 講演「いじめ問題への対応」
津島市教育長 武藤育雄氏
- 2015年 5月 24日 「子どもたちとキワニアンとのふれあいの一日」

特別講演会

宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 前副理事長、
国際宇宙航行連盟会長

樋口清司氏



1946年三重県四日市市生まれ。名古屋大学理学部数学科卒、マサチューセッツ工科大学修士課程修了。科学技術庁宇宙開発推進本部を経て、1969年10月宇宙開発事業団発足とともに移籍。同事業団にて小型ロケットの開発、H-1ロケットの概念設計、宇宙ステーション計画立ち上げなどを担当する。2003年10月宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 発足時経営企画担当理事に就任、有人宇宙システム株式会社副社長を経て、2010年4月から2014年3月まで副理事長を勤める。2015年4月より宇宙航空研究開発機構技術参与。2012年10月より国際宇宙航行連盟会長、2014年10月に再選され現在2期目。

宇宙飛行士、
日本宇宙少年団 (YAC) アドバイザー

山崎直子氏



出典：JAXA/NASA

千葉県松戸市生まれ。1999年国際宇宙ステーション (ISS) の宇宙飛行士候補者に選ばれ、2001年認定。2004年ソユーズ宇宙船運航技術者、2006年スペースシャトル搭乗運用技術者の資格を取得。2010年4月、スペースシャトル・ディスカバリー号で宇宙へ。ISS組立補給ミッションSTS-131に従事した。2011年8月JAXA退職。内閣府宇宙政策委員会委員、日本宇宙少年団 (YAC) アドバイザー、松戸市民会館名誉館長、立命館大学および女子美術大学客員教授、ふたばの教育復興応援団などを務める。著書に「宇宙飛行士になる勉強法」(中央公論新社)、「夢をつなぐ」(角川書店)、「瑠璃色の星」(世界文化社) など。

講演内容 「私たちは地球人」

長年、宇宙開発に携わり培った知見から、宇宙についてわかりやすく解説していただきました。最後に、宇宙という広い視野で捉えると私たちは地球代表なので、ふるさとして地球をみんなで守っていこうと締めくくられました。

講演内容 「宇宙・人・夢をつなぐ」

宇宙に行くという子どもの頃からの夢を実現された山崎氏。宇宙飛行士になるための訓練の様子や、宇宙に行ったからこそ感じた地球への想いなどを、実際にロケット内で撮影した写真などを交えて、紹介していただきました。

イベント当日の様子



キワニアンの方々が、笑顔でお迎えました。



受付には、講演を楽しみにする親子の長蛇の列が。講演を聴く参加者の皆さんは真剣そのもの。



トークショーでは、事前に寄せられた質問や、会場の子どもたちからの疑問に対して、お二人が丁寧に答えてくださいました。

参加者の声

興味深い内容で、付き添いの私も夢中になってしまいました…

理科の授業が大好きなので宇宙の話は、とても楽しめました

子どもの夢が実現するよう、応援しています

日本製の有人ロケットで、宇宙に行きたいです!



キワニスドール座談会

平成 28 年 5 月 19 日 名古屋国際ホテル於



[後列左から]

・末安 孝子・北井 清美・岡野 浩子・片桐 百合子・三宅 雅子・安藤 雅子・川村 友子・初鹿野 泰子

[前列左から]

・藤岡 恵子・丹下 陽子・岡本 志津子・福西 辰子・大見 久代・飯田 弥生・三輪 佳子

キワニスドールとは？

身長 40cm、体重 50g、白い木綿生地にポリエステル綿を詰めたのっぺらぼうの人形。病院などに寄贈されます。病気の子どもが顔や洋服を描いて遊んだり、小児科の医師がドールの部位を指差して患者の子どもから病状を聞いたり。「子どもたちの入院生活を少しでも楽しくできたら」との思いから生まれた特別な玩具です。



〈主な使い方〉

- 子どもが病室で遊んだり
抱っこして寝たり
- 医師が診察の説明に
- 子どもが治療を受ける前の説明に
- 看護学校や保育士学校で
教材として
- 養護学校で
身体のしくみの説明に



本日は「キワニスドールをつくる会」の定例会にお邪魔しております。この誌面で、会の成り立ちや活動の様子をお伝えできればと存じますので、よろしく願いいたします。皆さま作業中ですが、定例会ではいつも何をしていたらっしゃるのでしょうか？

大見: 主な作業は、人形型に縫った布袋に綿を詰めることですね。綿を50グラムに量ってふわふわに詰めたら、最後に詰め口を縫い閉じます。50グラムはキワニスドールの規定量です。子どもたちが人形を抱っこするとき硬すぎではだめで、ふわふわの触感のほうがより安心感が得られるそうですから。

岡本: そうですね、綿を量る人、詰める人。この会の発起人でもある福西さんが、人形型に縫って裏返



大見 久代

して、あとは綿を詰めるだけの状態までご自宅で用意していただきます。お忙しいのになかなかできることではない、有り難いですよね。毎回、およそ2時間で40体から50体ほどをつくれます。

福西: 私一人ではなくて、この場でも、ミシンで型を縫ったり、アイロンがけをしてくださる方がいらっしゃいますからね。三宅さんはいつもミシン担当で、ね？

三宅: ええ、でも大半は綿を詰める作業ですから、会の名称を「キワニスドールをつくる会」から「人形に綿を詰める会」に変えても良いくらいですよ(笑)。お裁縫が苦手な方や若い方でも気軽に参加できるように。

福西: 綿を詰める会(笑)、たしかにね。決して敷居の高い会ではありません。

川村: 私はお裁縫が苦手なので「人形づくりなんて、



福西 辰子



毎月の定例会はホテルの一室で和やかに。

私にはとてもとても」と遠慮していました。でも、一度参加してみましたら、作業は難しくないですし皆さんとおしゃべりが楽しくて。

岡野:私もそうです。作り方は丁寧に教えていただけるので初心者でも安心ですし、お料理について情報交換をしたり、家事について助言をいただいたり、とてもためになる楽しい会です。

飯田:定例会の立ち上げ以降、途中から参加されるようになった方々が「楽しい」と言ってくださるのうれしいですね。もしこれが閉鎖的な雰囲気だったら、今のようには参加者が増えなかつたらと思うますから。



飯田 弥生

藤岡:運営に「どなたでも参加しやすく」という心遣いがありますよね。たとえば、毎月一回の定例会ですが、曜日が固定されていません。皆さん仕事やお稽古など予定がおありですから、次回の日時はこの場で相談して決めています。

服部:そうそう、自由な雰囲気ですよ。たとえば中座をしても、皆さんが快く送り出してくださるので負い目を感じる必要がありません。私も今日はこのあと用事がありますので、お昼を待たずに失礼いたします。



服部 君江

福西:強制であったり、無理があつては続きませんもの。「継続は力なり」で、続けることが大切だと思っています。

名古屋キワニスで「キワニスドールをつくる会」が発足したのは2012年と伺っていますが、背景を教えてくださいいただけますか？

福西:はじめは2008年の「キワニスワンデー」という催しで、年に一度、会員を中心に取り組んでいました。じつはそれ以前から、井上会員の奥さまがご自宅でコツコツとつくっていらしたんですよ。その活動が素晴らしいということで、ワンデーに取り上げたわけ。当初の参加者は男性会員のほうが多いくらいでした。

大見:そうでしたね。ワンデーでキワニスドールをつくる取り組みは4年ほど続いたと記憶しています。その後、福西さんが中心となって「キワニスドールをつくる会」を立ち上げてくださったんですね。

福西:私だけではなく皆の力でね、病気の子どものためにできることはやろうと。私はワンデーのころ事務局長をしていたご縁もあって、発足に携わりました。この会になってからは、女性の集まりになり、会員のご家族がたくさん参加してくださっています。

丹下:私も会員である主人から「キワニスドールをつくる会ができたよ」と聞いて参加しました。長年主婦をしておりますと、社会との接点が少なくなるといいますか、お付き合いや行動範囲が限定されがちですよ。なるべく広い視野



丹下 陽子

で、新しい価値観や時流に触れていたいと思うと、この会はとても良い機会になっています。

初鹿野:素敵な奥さまばかりなので、同じ女性として啓発されるというか、皆さんとご一緒していると背筋が伸びますよ。

末安:ほんとうに。私も主人の勧めで4年前から参加しています。実際にやってみるまでは、ボランティアって大変そう、私には無理じゃないかと不安がありました。この「キワニスドールをつくる会」は参加者も楽しみながら社会のお役に立てるのでうれしいです。キワニスドール自体、知れば知るほど素晴らしい活動です。

三宅:キワニスドールを知って参加してみると、心から賛同できるとおっしゃる方は多いんですよ。三輪さんは、キワニアンでいらしたご主人がお亡くなりになった後もずっとこの会に参加してくださっています。

三輪:ええ。主人の意思を継ぐとかそんな大層なことではなくて、病氣と闘っている子どもたちに笑顔を届けられるのであれば、と。ささやかですけど、お役に立てることが私の励



三輪 佳子

みにもなるんです。

福西:三輪さんらしい、控えめで優しいお気持ちですよ。きっかけは人に誘われて受け身ではじめてことでも、段々と自分の意思で参加するようになっていく、そういう方は多いのではないかしら。発起人といわれる私でさえ、最初はワンデーがきっかけで、こんなに本格的な活動になるかどうかは分かりませんでしたから。

初鹿野:たぶん、良いことって連鎖するのじゃないかな。誰かががんばっていたら私もがんばらなくちゃ、って。この会では皆さんから元気ももらっているような気がしておりますし、やりがいのある活動に出会えて良かったなと思います。



初鹿野 泰子



楽しく談笑しながら作業が進む。

いま皆さまからも挙がりました、この会の意義・やりがいについてはいかがですか？

安藤：私たちが強く意識しているわけではありませんが、まず、キワニズドルという活動そのものに意義がありますよね。だから世界中に広まったのだと思います。日本でも全国のキワニスクラブがさまざまな形態でドルを寄贈しています。



安藤 雅子

三宅：男性会員がドルをつくっている会もあれば、製作を外部に委託してより多くのドルを寄贈しているクラブもあると聞いています。

安藤：そんななか、名古屋は名古屋のやり方を構築してきたわけですね。名古屋キワニスではこれまで日本赤十字社をはじめとする医療機関、約80団体にキワニズドルを寄贈してきました。

福西：近年は看護学校への寄贈も増えました。小児医療の現場では、治療を受ける子どもが心の準備をするためのケアをプレパレーションというんですね。プレパレーションでは看護師さんがキワニズドルを使う場面が多いので、看護師育成の教材としても活用されています。

末安：寄贈先からお礼のお手紙をいただいたこともありますし、寄贈先の様子を、ビデオ上映会で見せていただいたこともありましたね。ああ、こんな風にお絵描きをして使ってくれて、子どもたちがこんなにも喜んでくれるのかと。



末安 孝子

飯田：そう、先ほど三輪さんもおっしゃったように、やりがいといえば、お役に立てていることでしょうか。かといって難しく考えるのではなく、シンプルに「子どもたちに笑顔が増えますように」との想いでつくっ



一つひとつ丁寧に綿を詰めていく。

ています。

川村：あの、私事ですが、子どもが小さいころ短期入院をしたんです。大きな病院でしたから、赤ちゃんから小中学生まで大勢の患者が入院していました。小児科病棟の敷地内に学校があって、病院から学校に通っている子もいました。大部屋だったものですから、難しい病気で長期入院をしている子とそれを支えるご家族の方々を間近で見て、「こんなに長いあいだ病院にいなければならない子どもたちが、こんなにたくさんいるんだ」と…。



川村 友子

北井：川村さんは、それがキワニスドールをはじめたきっかけだったんですね。

川村：そうなんです。あれ以来、病気の子どもたちに何かしたいと思いつつも寄付金くらいしかできていなくて、気になっていました。後にこの会にお誘いをいただいたとき、あっ、私にもできることがあると気づいたんです。



北井 清美

片桐：わかります。お金を出しているだけではなんとなく申し訳ないような…。自分の手を動かしてつくることで、想いが込められますよね。

丹下：私も川村さんと似た体験があるんです。7年前に入院をした際に、



片桐 百合子

病院の図書館で病気の子どもたちと接して、この子たちのために何かできないかなあと。ぼんやりですけど、そんな想いを持って過ごしていたところに、キワニスドールと出会えたのは幸運でした。

三宅：なるほど。皆さんほど素晴らしい志はないんですけど、私も、身内に病人がいたことで身近に感じられる活動ではありました。父は透析のため週に3回通院していて、私は送迎係で。待合室で病気の子どもたちをよく見かけたので、



三宅 雅子

ここに絵本があったら退屈しないかしらと寄付してみたりね。母も病気がちでしたが、その母も子どもたちに絵本の読み聞かせをしていたので、私も自然に。

安藤：三宅さんはいつもさり気なく気を遣ってくださる。ミシンだって、いつの間にか担当してくださっていました。

三宅：私なんて全然たいしたことはしていないんですよ。キワニスドールだって「これは社会貢献活動です」といわれるとしっかりこない。自分にできることがあって、機会があって、何の気なしに参加しているという感じです。

岡本：たしかに、気負いはまったくないですね。そこが「キワニスドールをつくる会」の良いところじゃないでしょうか。できることがあるならやりましょう、という人が自然に集まって、自然に役割分担が為されて、自然に続いている。午前中に作業を終えたら、皆でおいしいランチをいただく



岡本 志津子

いてから帰るのも楽しみのひとつで、日常のひとつコマになっています。

片桐:近年は年末の忘年会も恒例になってきましたよね。いつも全員の都合がつかいわけではありませんけど、作業をする以外にも集まる機会があるのは、楽しみが増えてうれしいです。

福西:気負いなく楽しみながらだから続けていける、という点はあるでしょうね。そういえば京都旅行にも行きましたよね。この場で「行きたい人？」って募って、雨のなか「都をどり」を観に。

川村:この会で皆さんに仲良くしていただいて、キワニス以外の活動にも参加するようになりました。以前は年に一度、年末の「家族の会」に寄せていただくだけだったのに。今では主人が行かない小旅行でも一人で参加して楽しんでいます(笑)。

岡野:「雪見の会」や「納涼の会」など、キワニスクラブは家族が参加できるイベントが多いですものね。そういうとき、この会で顔見知りになった方がいらっしゃるのと心強いといえますか、お友だち感覚で一緒にできますものね。

藤岡:ええ。私もキワニスドールをつくる会から視野も人間関係も広がりましたし、これからも新しい考え方などを学ばせていただくのが、本当に楽しみです。



岡野 浩子



藤岡 恵子

最後に、今後の展望はどのようにお考えでしょうか？

安藤:基本的にはこのままコツコツと続けていければと思いますけれど、新しく参加したい方がいらしたら大歓迎ですね。

三宅:会員の奥さま方に、ぜひ遠慮なく参加していただければ。ここで皆さんがおっしゃってくださったように、一度参加してみればきっと楽しい、自分から続けたい活動だと思いますから。

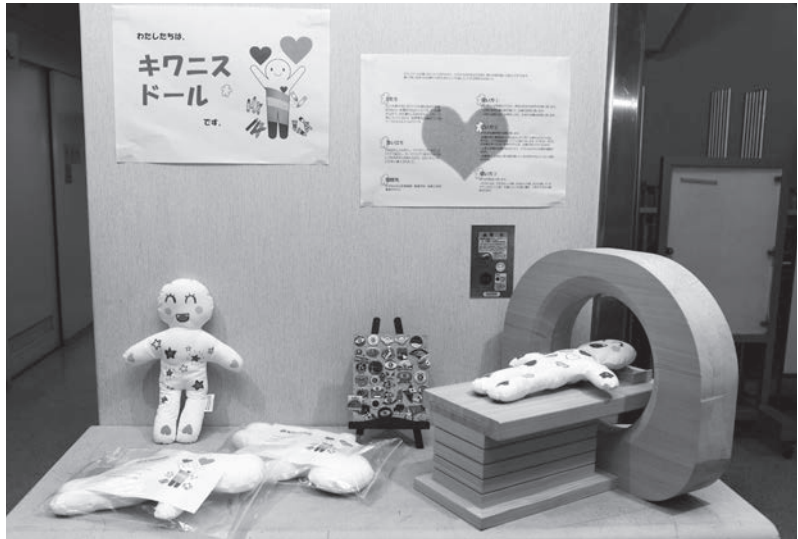
福西:あとは、私たち自身が寄贈先までお届けする機会が増えると良いかもしれませんね。今は寄贈先の選定も発送も事務局にお願いしていますが、私は一度同行させていただいて「この人形は医療用品なのだ」と気持ち新たになりました。医療機関で使われるキワニスドールは、集中治療室にも持ち込みを許可されているほどメンタルケアの効果が認められています。だから私たちも「安全・清潔」を第一に考え、必ず手を消毒してから作業をして、最後の検針まで慎重に行っているんですけれども。納品まで一貫してお手伝いができる、一層、活動の意義が実感できるのではないかしら。

末安:そうですね、綿を分けたり詰めてたりしているだけの私でも、ビデオ上映会で子どもたちが喜ぶ顔を見てから「もっと上手に詰めよう」「もっとふわふわにしてあげたい」と思いましたもの。

服部:キワニスドールを受け取る子どもたちは、私の孫と同世代ですからね。やはり思い入れがありますよ。

三宅:そうですね。医療現場でドールがお役に立つように、気持ちを込めてつくって。気負いのない楽しい雰囲気はこのまま継続して、ね。また、福西さんがおっしゃる通り、出来上がった人形がどのような場所でのように使われているのかを身近に感じるの、私も良いことだと思います。

福西:私たちも年齢を重ねていきますのでね(笑)、もっとお若い方にもご参加いただいて、キワニスドールをつくる会を「継続」してまいりましょう。



今年のキワニスワンデーでもドールが展示された。

主な寄贈先 (順不同) 2016年9月現在

名古屋掖済会病院・愛知県心身障害者コロニー・名古屋開府 400 年事業・名古屋市立大学病院・日本赤十字豊田看護大学・大垣市民病院小児科・岐阜県総合医療センター・一宮市立一宮市民病院・名古屋第一赤十字病院・名古屋大学医学部附属病院・安城厚生病院・豊橋市民病院・岐阜県立看護大学・半田常滑看護専門学校・あいち小児保健医療総合センター・静岡県立こども病院・済衆館病院・名古屋医療センター・藤田保健衛生大学附属病院 (衛生看護部)・三重県立小児心療センター あすなろ学園・岐阜大学医学部附属病院・静岡厚生病院 (JA 静岡厚生連)・愛知医科大学病院・愛知医科大学看護学部・さわらび園 (児童発達センター)・東部療育センターポケット・名古屋市立大学看護学部・名古屋第二赤十字病院・東群馬看護専門学校・刈谷豊田総合病院・愛知きわみ看護短期大学・三重大学医学部附属病院・中部労災病院 小児科・伊勢保健衛生専門学校・市立四日市病院・寿泉堂総合病院・名古屋市医師会看護専門学校・三重県立草の実養護学校・山形県立中央病院・長良医療センター・日本赤十字・下呂温泉病院・鈴鹿医療科学大学・総合大雄会病院 (社会医療法人大雄会)・長野県こども病院・名古屋市立守山中央病院・名鉄病院・四日市看護医療大学・小牧市民病院・一宮市立看護専門学校・厚生連 渥美病院・社会保険中京病院・東濃看護専門学校・三重大学医学部看護学科 中村さん・柳川小児科医院・四日市高等看護学院・四日市市立楠小学校・四日市市立常磐小学校 愛知県がんセンター中央病院・三重県立総合医療センター・神里医院・県西部浜松医療センター・厚生連 昭和病院 小児科・順天堂静岡・千葉こども病院・なごやかこどもクリニック・磐田市立総合病院・神奈川県立こども医療センター・蒲郡市民病院小児科・厚生連 尾西病院小児科外来・聖路加国際病院・三重難病相談支援センター 三重心臓を守る会・医療法人杏嶺会 一宮西病院・川村小児科・京都市立病院・キッズクリニックさの・窪田小児科・公立森町病院・静岡県立短期大学・静岡済生会・裾野第一クリニック・聖霊浜松病院・トヨタ記念病院・なかしまこどもクリニック・兵藤こどもクリニック・松坂中央総合病院・三重県 等





大垣キワニスクラブ認証状授与式・祝賀会

新クラブ誕生へのサポート ～大垣キワニスクラブ設立の軌跡～

東栄株式会社 相談役 竹内 和男

▶ 大垣キワニスクラブ設立!

平成 27 年 3 月 24 日、名古屋クラブがスポンサークラブとなって、その設立を支援してきた「大垣キワニスクラブ」が、日本で 32 番目のキワニスクラブとして産声を上げました。

同日、大垣フォーラムホテルで開催された設立総会には、キワニス活動の趣旨に賛同した 37 名の会員が全員出席し、大垣共立銀行土屋頭取が議長を務めました。当クラブからは会長の私と鈴木副会長が来賓として招待されました。総会では、規約や事業計画の承認、役員を選任等が行われ、初代会長には西脇史雄氏（大垣

信用金庫会長）、副会長には境敏幸氏（大垣共立銀行取締役）、秋山大介氏（大光常務取締役）、事務局長には内山文雄氏（大垣キタン会理事）等の役員が選任されました。まさに、名古屋クラブが 4 年がかりで進めてきた NCB（クラブ新設）活動が結実した瞬間でした。

会場には、中日新聞、岐阜日日新聞、大垣ケーブルテレビ等のマスコミ各社も取材に訪れ、現地では記事やテレビで大垣キワニスクラブの新設が大きく報道されました。

人口 16 万人余りの大垣市には、既にロータリー・ライオンズなど他の社会奉仕団体も数多く存在し、しかも既存クラブはどこも会員の減少が続く厳しい環境の中で、新たにキワニスクラブを設立できた要因は、一つ

には大垣市が「子育て日本一」を標榜している都市であり、キワニス活動の理念に近い方針を有していたこと、もう一つは、財界のまとまりが非常によく、しかも地元有力者が情熱を持って積極的に設立に関与していただいたこと、この二点にあると考えています。

また、大垣クラブの会員は、企業トップではない、次代の大垣市や会社を担う若手役員や中堅幹部クラスが多いということが特徴です。若さと活力溢れる大垣クラブの今後の活動が大変楽しみです。

名古屋クラブにおける NCB 活動

ここに到るまでの名古屋クラブの NCB 活動を振り返ってみます。

平成 24 年度の国際キワニス日本地区の事業計画における「会員増強とクラブ新設」という重点課題に平仄を合わせ、名古屋クラブ事業計画の重点課題と位置づけ、幹事会メンバーを主体とする「クラブ新設プロジェクト」を立ち上げたのが嚆矢です。

当初、NCB プロジェクトでは、浜松地区と岐阜地区に新クラブを設立する方向で検討しましたが、諸般の事情で浜松地区での新設は当面難しいと判断し、岐阜地区に的を絞って活動することにしました。

早速、矢野会員（元会長）が中心となり、知人で岐阜県経済界の有力者であるセイノーホールディングスの田口会長を窓口にして、岐阜県での設立の可能性を探りました。キワニスクラブの趣旨を理解した田口会長からは、「岐阜県で設立するならば、先ず岐阜市で動いた方がよい」とのアドバイスをいただきました。しかし、平成 24 年に岐阜県で開催される「ぎふ清流国体」の大会役員を務めている田口会長は、国体が終了する 10 月までは多忙を極めており動くことができず、その後ならば協力できるとのことでした。田口会長の協力が不可欠と考えた我々は、国体終了まで活動を一時中断し、時を待つことにしました。

岐阜県最大の課題であった清流国体が終了したのを

機に、平成 25 年年明けに再び NCB 活動を開始し、田口会長を通じて岐阜財界の有力企業に岐阜市でのキワニスクラブ立ち上げを働きかけ始めました。その企業の幹部を名古屋キワニスクラブの例会に招くなどアプローチを強化しましたが、岐阜市での設立機運は一向に盛り上がりませんでした。若干の失望感を抱きながら矢野会員が、岐阜市での進展具合を田口会長に報告したところ、「それならば、大垣に設立する方向で検討しましょう!」との力強い言葉をいただきました。これが転機となり、新クラブ設立のターゲットを大垣市に絞り込み、新たな方向で NCB 活動を強化していくことになりました。

松尾芭蕉の「奥の細道」むすびの地であり、豊富な地下水で「水都」とも呼ばれる大垣市は、岐阜県第 2 位の規模を誇る都市です。「子育て日本一」を標榜し、子どもに対する関心が非常に高い土地柄に加え、大垣市に本社を置く上場企業数は岐阜市より多く、かつ、財界のまとまりが非常によいことで有名で、方向感が決まれば一気に組織化できる可能性があるなど、キワニスクラブ設立の好条件が備わっている街でした。

平成 26 年に入り、矢野会員・藤岡会長と私が中心となり、大垣地区に対する NCB 活動を本格化させました。大垣では、矢野会員の後輩でキワニスクラブの趣旨に賛同した内山氏が、全面的に協力してくれました。2 月から 3 月にかけて、内山氏がリストアップした大垣地区

子どもたちの幸せを願う

子どもたちの幸せを願う国際奉仕団体「キワニスクラブ」が県内で初めて大垣市で発足。二十四日同市の大垣フォーラムホテルで設立総会があった。

キワニスの名称は「みんな一緒に集まる」という意味の米田先住民の言葉が由来で、クラブは一九一五年に同国で創設。日本では三十一クラブが活動し、東海三県では名古屋にある。大垣キワニスクラブ設立総会であいさつする西脇会長（大垣市の大垣フォーラムホテルで）

キワニスクラブ 大垣に発足

大垣市が目指す「子育て日本一」がキワニスの精神に相しることから、名古屋クラブの働き掛けもあり、地元財界入らが昨夏から設立を本格的に検討してきた。

総会には、大垣クラブ参加の企業関係者ら二十七人が出席。規約や事業計画が承認され、初代会長に選ばれた西脇史雄（大垣信用金庫会長）は「会員同士協力し、市民に認めてもらえるクラブにしていきたい」と述べた。

事務所は大垣市郡町に設置。七月に国際認証を受ける。クラブでは今後、病児向けの縫いぐるみ製作・寄贈や書籍贈呈などに取り組む。（山本克也）

平成 27 年 3 月 25 日 中日新聞掲載

の主要企業 15 社・2 団体を戸別訪問し、①キワニスクラブの紹介、②クラブ新設への協力依頼、③クラブへの参加の意向確認など、大垣財界の意向集約を行うと同時に、一方では、新クラブ設立に向けた機運の醸成にも意を用いました。

大垣財界の意向は、まとめると凡そ以下のようなものでありました。「キワニスクラブの趣旨には賛同するが、新設となると負担感が増す。しかし、土地柄ゆえ、設立すると決まれば協力せざるを得ない」、「大垣市が『子育て日本一』を標榜しているの、それと絡めた特色ある活動ができれば、設立する意義はある」、「メンバーは財界人だけでなく、キワニスクラブの活動の対象となる市役所・病院・学校などを入れた方がよい」等々、全体としては前向きな意向を確認できました。

これに意を強くした我々は、4月に田口会長と面談して意向集約の結果を報告し、新クラブ設立の方向で具体的な進め方を協議しました。基本的な方向感を理解した田口会長は、初代会長候補として大垣信用金庫の西脇会長を推薦し、本人の同意を取りつけるとともに、事務局にセイノグループから人材を出すことを約束してくれました。また、ロータリーやライオンズなど他クラブとの人的重複を避けるため、各社の専務・常務クラスを主力メンバーとした方が人材育成の観点からもやりや

すいとの助言をいただきました。名古屋クラブからは、当クラブで作成した「新クラブ設立マニュアル」を提供し、大垣地区の取り組みを全面的にサポートすることを確約しました。こうして漸く大垣クラブ設立の骨格が見えるところまで辿り着きました。後は、設立の機運が高まっている間に、どれだけ多くの会員を集めるかだけです。我々は、会員数最低 15 名を目標に関係者が役割分担して募集活動に入ることになりました。

そして、平成 26 年 8 月 29 日、関係者の努力で 13 名の発起人を集めることができ、大垣フォーラムホテル『サフランの間』で、ついに「大垣キワニスクラブ設立発起人会」の開催に漕ぎ着くことができました。名古屋クラブからは、矢野会員・藤岡会長と私が陪席し、大垣共立銀行土屋頭取を議長に選出し、これまでの経緯説明の後、規約・内規、チャーターメンバー、役員候補者、今後の日程等について審議しました。その結果、大垣キワニスクラブ設立について正式に合意ができ、西脇・園部（セイノスタッフサービス社長）・内山の三氏が設立準備委員に選出され、平成 27 年 3 月頃を目処に設立総会を開催することが決定しました。

この日から、大垣キワニスクラブ設立に向けての確かな歩みが始まりました。大垣では、その後、ほぼ毎月のペースで発起人会を開催して、メンバー相互の理解促進を図るとともに、設立総会に向けた諸準備や会員の募集を精力的に進めました。そうした努力の積み重ねの結果、ついに「大垣キワニスクラブ設立総会」を平成 27 年 3 月 24 日に開催できる運びとなりました。

▶ 大垣キワニスクラブ 認証状授与式・祝賀会

設立総会から約 3 ヶ月後の平成 27 年 7 月 6 日に、「大垣キワニスクラブ 認証状授与式・祝賀会」が、大垣フォーラムホテルで関係者 122 名が参加して盛大に開催されました。国際キワニスからは北里理事、日本地区からは小川ガバナー代理、倉田次期ガバナー、石原事務総長、小池キワニス日本財団理事長の他、11 クラブか



平成 27 年 3 月 25 日 岐阜新聞掲載

ら28名のキワニアンが、そして、名古屋クラブからは8名が参加し、新しいクラブの誕生を祝いました。残念ながら、最初に井戸を掘った矢野会員と田口会長は欠席でしたが、地元での関心は高く、古田岐阜県知事、小川大垣市長が出席され、大垣財界の主だった方々が勢揃いするなど大盛況でした。

また、当日は岐阜新聞に大変インパクトのある「大垣キワニスクラブ誕生」の全面広告を掲載するなど、子育て日本一を標榜する大垣市に相応しく、かつ新設クラブの意気込みを感じるには十分な、大変力の入った認証状授与式・祝賀会となりました。

▶ 中部ディビジョンの仲間として

中部ディビジョンの4番目のクラブとなる大垣クラブは、関係者の努力により37名でのスタートとなりましたが、平均年齢は53歳と若く、活力溢れるクラブです。男性会員もキワニスドールの制作に取り組んでおり、設立早々20体ほどを大垣市民病院に寄贈するなど、順調なスタートを切っています。商店街の路面に事務所を開設し、キワニスの大きな看板を掲げています。地元でのキワニスクラブの認知度向上と街の活性化に一役買ってくれるものと思います。

名古屋クラブは、スポンサークラブとして大垣クラブの成長を見守り、そして今後の活動に期待しながら、交流を深め、連携して「Serving the children of the world」の精神を、具体的な事業の中で実践していきたいと思っています。

日本地区にはまだまだキワニスクラブのない県が多く存在します。中部ディビジョンでは三重県です。この次は、三重県でのクラブ新設を目指して、新たなNCB活動を展開しようではありませんか！

注：関係者の肩書きは当時のものです。

地域の経営幹部ら37人参集

大垣キワニスクラブ発足 岐阜県初

子どもたちのために活動する国際社会奉仕団体「国際キワニスクラブ」の地域組織として、大垣市に岐阜県内初のクラブが誕生した。「大垣キワニスクラブ」で、設立総会がこのほど大垣市万石の大垣フォーラムホテルで開かれた。田口義壽（ヨシヒコ）セイノーホールディングス会長、土屋誠大垣共立銀行頭取、西脇史雄大垣信用金庫会長ら大垣地区主要企業の代表者や次代を担う若手経営者ら37人が会員となり、名古屋、静岡に次ぎ東海地区3カ所目のクラブが船出した。（大垣）

子育て日本一めざす市を支援

キワニスクラブは1915年、米国で創設され、世界80カ国・地域で約21万人の会員が参加する国際奉仕団体。新生児破傷風撲滅など小児医療支援のほか、幼児虐待対策、青少年健全育成など、「まず子どものことを第一に考えよう」をモットーに幼児から高校生までの若者のための奉仕活動を展開している。

日本国内には現在、31クラブあるが、中部地区でも名古屋と静岡、金沢、新潟の4都市しかない。それもあって、名古屋キワニスの矢野武元会長が親交のある田口会長に、「岐阜県でも立ち上げたい」と働きかけたことがきっかけとなり、西濃経済界に創設機運が生まれた。

名古屋キワニスをモデルとするとして、昨年10月、大垣キワニスクラブとして、設立総会を準備を進め、今回の設立総会にこぎ着けた。

初代会長には西脇会長が就任し、また、顧問に田口会長、土屋頭取、小川信也（のぶ）氏、太平洋工業社長、小川敏大（のぶひろ）氏、大垣市長が就くなど、地元政財界の代表者がクラブ活動をバックアップする。

設立総会に出席した名古屋キワニスの竹内和男会長は「大垣市は『子育て日本一』をめざす『子育て日ちつくり』のまちであり、今回の設立総会を経て、5月に市内郭町商店街の一角に活動拠点となる事務所を開設。入院治療中の子どもに贈るキワニスドール（人形）活用事業などのほか、大垣市とも連携したIT活動の支援や交流事業など地域に根差した活動に取り組んでいく考えだ。

大垣地区の主要企業の代表者や若手経営者ら37人の会員でスタートした

「大垣市は『子育て日本一』をめざす『子育て日ちつくり』のまちであり、今回の設立総会を経て、5月に市内郭町商店街の一角に活動拠点となる事務所を開設。入院治療中の子どもに贈るキワニスドール（人形）活用事業などのほか、大垣市とも連携したIT活動の支援や交流事業など地域に根差した活動に取り組んでいく考えだ。」

設立総会をあいさつする西脇初代会長



大垣キワニスクラブ設立総会

平成27年3月30日 中部経済新聞掲載

委員会の活動

総務委員会

委員長 初鹿野 正

総務委員会は、名古屋キワニスクラブ設立当時より置かれた委員会であり、主たる業務は次のとおりでしたが、設立40周年以降は、次の6の業務が加わっています。

1. 名古屋キワニスクラブの基本的な運営方針についての企画立案
2. 名古屋キワニスクラブの規約・内規の検討並びに改訂
3. チャーターナイト夜間例会における皆勤賞・精勤賞の対象者の選定と賞品の検討・決定
4. 事務局員の労務管理と労働条件の検討
5. 事務局の備品管理
6. その他として、他の委員会の所掌事務に属しない業務（この業務として、40周年記念事業として創立された「あいち少年少女創意くふう展」に対する名古屋キワニスクラブ賞の運営に関する業務）

これまでの活動の中心は主に2.についてです。規約・内規について、活動とマッチしていない部分や、時代背景とズレているような部分についての検討論議を行い、必要な改訂作業を行ってきました。今回特筆すべきは、キワニス国際本部において、地区標準規約を設定し、各地区ごとにこれを採択するよう求めたことです。このため、名古屋キワニスクラブにおいても、日本地区が定めた標準規約を当委員会が中心となって議論を行い（委員会を開催したのは、前後4回及ぶ）、平成26年11月21日の答申を経て、幹事会において議論のうえ、平成27年3月13日の臨時総会において、規約等（規約・必須細則・任意細則の制定及びこれまでの内規を改訂

した会員関連規程並びに新しい規程である選挙管理規程の制定）が採択されました。

現在の活動は、この規約等にもとづいて行われています。これらのうち、改訂が必要と思われる事項については、検討をしたいと思っています。

また、創立40周年記念事業の一つとして創設された「あいち少年少女創意くふう展」については、平成18年度から10年間にわたり、毎年30万円の合計300万円を「名古屋キワニスクラブ賞」として、同展に寄附するものですが、この事業は、10年を経過した年度をもって終了することを委員会に報告しました。これについては、何らかの総括をすべきではないかとの意見があり、委員会でそのことを現役員に伝えたところ、50周年記念誌に40周年記念事業として、「名古屋キワニスクラブ賞」の創設から10年間にわたり総額300万円を寄附するなど、多大な成果をあげた旨をきちんと書いておくとのことでした。



名古屋キワニスクラブ事務局（名古屋国際ホテル6階）

事業企画委員会

委員長 山中 強司

事業企画委員会は、クラブ会員および会員家族相互間の交流をはかるべく、いくつかの懇親の機会を企画し、その運営に当たっています。

具体的には春・秋の旅行会およびクリスマス会の開催を柱に進めています。いずれも会員のほか会員家族も加わった楽しい懇親の場となっています。2015年の春には、「開創千二百年の高野山への巡拝」、秋には「氣比神宮と越前ガニを堪能する旅」、2016年の春には「新緑の京の旅・東福寺特別拝観」、秋には「晴れの国 岡山・倉敷満喫の旅」を実施。会員および家族には概ね好評を博しています。

また、十二月には恒例の「クリスマス会」を開催。会員から提供された品をチャリティバザーにかけ、オークションなども加えキワニス活動の財源に供しています。

昨年度、全会員に現状の旅行、クリスマス会に対する意向をアンケートしました。寄せられた希望、意見等を参考に、キワニスクラブとしてよりふさわしい活動を進めたいと考えているところです。

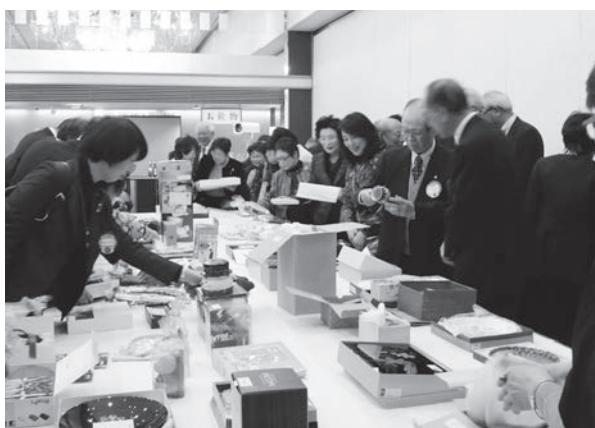
現在の事業企画委員会は20名の会員により運営されています。



開創千二百年の高野山への巡拝



晴れの国 岡山・倉敷満喫の旅



クリスマス会チャリティバザー



クリスマス会オークション

メンバーシップ委員会

委員長 飯田 吉平

クラブ規約ではメンバーシップ委員会の役割は「会員の入会、退会および出席率に関する事項を取り扱う」としています。当クラブの目指すものを実現していきける人材を会員として選び、魅力ある団体を作り上げていく役割を担うということでしょうか。大変重要かつ難しい課題です。

現状、具体的活動としては推薦のあった人の入会審査を行うこと、また会員増強のための活動を行っています。

また出席率向上に役立つとしてここ数年新入会員と役員及びメンバー委員との懇親会を実施し好評を得ています。

しかし委員会活動として過去数年を顧みるとマンネリになりがちで反省点は多くあります。

10年前の40年史によると当時、ASPAC名古屋大会の開催による知名度の向上やシニア会員制度の発足、女性会員の入会促進など、諸先輩の努力により20名ほどの会員増加があり、現在とほぼ同じ140名規模となりました。

その後の10年の会員数は、毎年10人の会員純増を目標に活動、努力してきていますが、新入会員増はあるものの退会も多く、135～140名で推移しています。

これは失われた10年と言われる経済停滞の時期と重なります。個人が会員というものの企業単位での会員制度であるので、どうしても経済環境の影響を受けてしまいます。厳しい企業競争の中、また経済諸団体の活動もある中、ともすると社会奉仕活動は後回しとなりがちです。

今年は50周年の記念の年でもあり、新会員の推薦を全会員に呼びかけ、何とか10名の純増を達成したいと考え活動しています。この為現在、当クラブの活動を分かり易く説明した持ち歩きに便利な“名刺型パンフレット”を作成しました。会員全員に持ってもらい、名古屋キワニスクラブの理解活動を進めています。ロータリークラブなど強力な地盤を築いている奉仕団体もあり、会員

増活動には当クラブの内容と特徴を多くの人に理解してもらうことが不可欠です。会員層の幅と厚みを広げることも必要でしょう。

過去に会員の存在した官公庁や諸団体、学校関係への働きかけ、また転勤のない地元中小企業会員の充実などが考えられます。

また最近日本キワニスと日本JCとの間で話し合いが行われJC・OBのキワニス入会の道作りが出来たと聞いています。期待したいです。

また会員同士の絆を深める一つの方法として家族会員制度などもよいと思っています。「キワニスドールを作る会」には多くの会員の奥様方が参加されておりこの会をベースに50周年を機会に家族会員制度を検討していきたいです。

50年の歴史と共に会員の高齢化や会員構成の変化も進んでいます。発足当時から社会環境も変わってきています。当クラブの良き伝統を受け継ぎ一層の発展を図るには新しい人材の確保とともに時代に対応した当クラブのあり方の再検討も必要に思います。

会員諸兄のお知恵を拝借したいと思う次第です。



名刺型パンフレット (折りたたみ式)

交流委員会

委員長 川村 保憲

キワニアンにとっては、あまりにも基礎的過ぎる豆知識で恐縮ですが、「キワニス」はアメリカ デトロイト周辺に住んでいた先住民の言葉 Nun-Kee-wanis に由来しています。その意味は **(みんな一緒に集まろう)** です。

さらにもう一つ、基礎的知識として、キワニスの6つの恒久的目的(1924年国際年次大会で採択)の5つ目に記載されているのが、To provide, through Kiwanis clubs, a practical means to form enduring friendships, to render altruistic service, and to build better communities. (キワニスクラブを通じて、恒久的な友情を形成し、愛他的奉仕を実行し、より良き社会を建設するための実際的な手段を提供すること) ≡ **(友情を培い、力を合わせて、活動を進めよう)** です。

私が何を言わんかと申しますと、そう、交流委員会こそがキワニスの原点に根差した、活動の根源を担っている、崇高な任務を受け持つ、極めて重要な委員会である、ということなのです。

このような自負と気概を持った委員会メンバー一人ひとりが、アメーバのように交流の触手を伸ばして全世界津々浦々、日夜、日々活動をし、名古屋キワニスの

諸活動はもちろんのこと、中部ディビジョン、日本地区、国際キワニスのイベントに至るまで出向いて交流の輪を広げています。

今や世界 85 か国に 7300 のキワニスクラブがあり、会員 20 万人が国際キワニス構成するまでになりました。私たち名古屋キワニスクラブの交流委員会活動は、世界的に見るとほんの小さな活動なのかもしれませんが、今後もどしどしとあらゆる交流の場に参加し、国際キワニアンの絆を強めて参りたいと思います。

黙禱 平成 28 年 3 月にお亡くなりになられました宮田亮前委員長のご冥福を慎んでお祈りいたします。



ASPACコロombo大会 (世界遺産シーギリアロック)

この10年の各種大会における交流の軌跡

H19年度	国際サンアントニオ	3名	ASPAC マニラ	13名	日本地区横浜	21名
H20年度	国際オーランド	0名	ASPAC ジャカルタ	6名	日本地区高松	26名
H21年度	国際ナッシュビル	0名	ASPAC セブ	4名	日本地区福岡	25名
H22年度	国際ラスベガス	0名	ASPAC 台北	11名	日本地区京都	27名
H23年度	国際ジュネーブ	3名	ASPAC マラッカ	15名	日本地区千葉	24名
H24年度	国際ニューオリンズ	2名	ASPAC コロンボ	15名	日本地区和歌山	21名
H25年度	国際バンクーバー	1名	ASPAC 広島	23名	日本地区新潟	23名
H26年度	国際・ASPAC 東京千葉	27名			日本地区泉州	14名
H27年度	国際インディアナポリス	1名	ASPAC クラーク	5名	日本地区大宮	12名
H28年度	国際トロント	1名	ASPAC 台中	7名	日本地区西宮	11名

他に日本地区各クラブの周年行事、チャーター行事、設立行事に多くの当クラブ会員がご参加くださいました。

文化公益委員会

委員長 入谷 正章

文化公益委員会は社会公益賞とキワニス文庫の贈呈先の選考を主な活動としています。

今年で社会公益賞は37回目（1968年開始）、キワニス文庫は32回目（1975年開始）となります。その贈呈式は当クラブにとって重要な年中行事となっています。

贈呈先は会員からの推薦、愛知県、名古屋市などの行政関連の情報、NPO関係の情報などを参考に、社会公益賞・キワニス文庫の目的、社会貢献の度合い、運営体制の整備の程度などの要素を選考の基準としています。

社会公益賞は、当初は、「全国のクラブが本部から指示の選定基準に則って一斉に行っている年中行事」であって「草の根福祉」と評価されていました（30周年誌より）。近年は、社会情勢の変化を踏まえ、キワニスの「Seraving the Children of the world」というモットーを念頭に前述の要素を基準に選考しています。

キワニス文庫は、愛知県内の基幹病院の小児科や児童養護施設が贈呈先となっていることが多いです。これらの施設は本の購入予算が不足しているところから本の整備が十分でなく、本の贈呈は大変喜んでもらっています。

キワニス文庫の贈呈式はマスコミでも取り上げられ、社会公益賞も一定の社会的評価も確立してきており、存在意義のある活動と言えます。これからも地道に継続していくことが望まれます。

これらの活動に加えて「キワニストール」の贈呈があります。女性会員や会員の奥様方が中心となって、活動していますが、この点は座談会の記述をご参照ください。



キワニス社会公益賞・キワニス文庫贈呈式



キワニス文庫



キワニス社会公益賞・キワニス文庫贈呈式

青少年教育委員会

委員長 山内 一昭

青少年教育委員会は、名古屋キワニスクラブ発足の12年後、1978年に開設された委員会です。キワニスクラブのモットー「Serving the Children」を具現化する趣旨にのっとり、1980年から「家庭教育講演会」、1998年から「なごや子育てフォーラム」、2002年から「AKK（愛知県高等学校国際教育研究協議会）助成」また2009年より「里親フォーラムあいち」にそれぞれ協賛してきました。

「家庭教育講演会」は名古屋市教育委員会が主催し、市内の小・中学校の先生・PTAが参加して、家庭教育の有るべき姿や親の役割やしつけのあり方などをテーマに作家、評論家、医師など専門家による講演会を実施してきました。毎年、5月の中旬にPTA役員の交替にあわせ、名古屋市公会堂において1500名程度の参加の下に開催される事業であり、その時代に沿った家庭内や学校、地域の問題を前向きに捉えた講演が多く、同席するキワニス会長以下のメンバーからも非常に好評です。

「なごや子育てフォーラム」は、保護者が抱く子育てへの不安やストレスを、親同士の交流や親子のふれ合いを通じて乗り越える機会を作ろうと、名古屋市幼児教育研究協議会が名古屋市教育委員会の下に、毎年7月頃、日本ガイシフォーラムなどで開催してきました。講師はTVの子供番組の出演者、歌手、作家などで、親子で一緒になって体を使ってゲームをしたり、遊んだり歌ったりする内容が多いです。お父さんやお母さんとのふれ合いを中心として、一緒に楽しみ、参加者からは好評を得ています。

「AKK助成」は、海外に目を向け、将来世界の色々な分野で活躍できる若者を育成しようと活動している高等学校を支援してきました。高等学校の国際理解教育の内容を評価し、毎年数校に助成金を支給するという形での支援ですが、AKKの事務手続きの繁忙さ、応募校数の減少からAKKからの辞退要請もあり、2011年をもって当面打ち切りとしました。

「里親フォーラムあいち」は、YCPO（児童虐待防止活動支援プロジェクト）の一環として、虐待児童への直接的支援が難しい中、そのような子どもたちを家庭に引き取り、わが子同然に献身的に養育されている里親の方々を支援することを目的に2009年に立ち上げたものです。愛知県里親連合会と名古屋市親和会と一緒に、里親の方たちの情報交換の場としてのフォーラムを立ち上げました。年に一回か二回、両方の里親会が交流し、講演会と質疑応答、里親同士の意見交換を実施しています。毎回、100名前後の里親及び関係の人たちが集まり有意義な会となっています。

また、2010年8月に開催された「名古屋開府400年」の“なごや子どもCity2010”に協賛し、キワニス活動を子どもたちに理解してもらう目的で、実際に子どもたちがキワニズールを作り、病院、幼稚園へ持参し、病気の子どもたちを元気付けるという社会貢献の一部を理解してもらいました。

最後に、日本地区青少年委員会の取り組みであるSLP（Service Leadership Program）について、名古屋キワニスクラブとしては十分に取り組んでいないため、次の10年に向かってどう進めるかが、青少年教育委員会の課題のひとつと思います。



なごや子育てフォーラム

リクリエーション委員会

委員長 福西 辰子

リクリエーションでは、ゴルフ会、麻雀会と音楽と観劇の会で娯楽ばかりです。

カメラ同好会がありました但人数減少のためなくなり、例会の折に秀作が見られなくなり残念です。

ゴルフ会

ゴルフ会は土曜日、平日2回ずつで年間4回です。平成28年9月17日で273回を迎え、歴史は古く創立当時からあったようです。

場所と日にちを決めるのが難しく、会員の関係のある所などをお願いして、近場で皆さんに楽しんでいただける場所を心掛けております。

又、女性会員の参加がないのでたまにご夫婦で参加して頂いたときには、ちょっと華やかなコンベになります。

尚、オープン参加も歓迎いたしますのでご参加お待ちしております。

麻雀会

年2、3回例会の日の後に覚王山の八州園で開催しております。

毎回人集めに苦勞しており例会の折りに客引きのごとくお声がけをしてやっと出来ることもあります。参加された皆さんは、昔話に花が咲き楽しんでお帰り頂きホッとひと安心です。

音楽と観劇の会

歌舞伎の観劇会はありましたが、2009年12月にブルーノートでトランペットの渡辺貞雄さんのライブには沢山の方においで頂き、好評でした。これに味を占めて歌舞伎、宝塚、演劇、ミュージカル、途中から中日落語の会も入り男性会員の方にも喜んで頂いております。

相撲、野球もお声がありますが、相撲は名古屋場所に以前たったの2人だけでしたのでお願いした方に

申し訳なく、今はしていません。

野球は20人ほどでしたのでいずれ又、再開してもいいかなと思います。

皆様に喜んで頂けそうな出し物を事務局と相談しながらあれこれと決めておりますが、その分事務局は大変です。

最後にリクリエーション委員会をいつも誌面会議で終わらせて委員会の皆様には申し訳なく思っております。



ゴルフ会



麻雀会

財務委員会

委員長 白井 文吾

何年前か前、私は名古屋キワニスクラブ役員等出張旅費等規程(案)を見ていてハッとし、さわやかな気分になりました。それは「当クラブは基本的にはボランティア団体であるから、キワニスの各種会議等に参加する出張旅費等は本来自己負担とするべきであるが、役員等が公務として出張した場合にもこの原則を貫くことは必ずしも相当と考えられないので、出張旅費等の支給基準を定めておくこととする」という書き出しで始まっていました。そして「役員等が日本地区委員会などに職務として出張した場合は、請求により実費を支給する」とあります。宿泊費は一泊あたり一万円を限度、運賃料金は普通指定席…など細かく定めていました。原則自弁という意味をこめているのは明らかです。

キワニスの運営資金は入会金、会費、ハッピーボックス

などによる貴重なお金です。役員を経費支出にもムダを許さないとするのは当然でしょう。

それ以来、私は、財務委員会はムダづかいや不正を見逃してはならない…と会議のたびに気持ちをひきしめてのぞむようになったのでした。



広報委員会

委員長 山本 眞一

広報委員会は、クラブが実施する活動を広く社会全般に認知していただくことを目的とし、各種マスメディアを通じて情報発信を行っています。

恒例の広報活動としては、社会公益費の贈呈式、キワニス文庫の贈呈式、家庭教育講演会、なごや子育てフォーラム、里親フォーラムあいち、キワニスワンデーの取材対応があります。本年のキワニスワンデーでは、50周年記念事業の一環として名古屋市科学館・サイエンスホールを会場に300名の子どもたちを招待し、宇宙航空研究開発機構前副理事長の樋口清司氏および宇宙飛行士の山崎直子氏を迎えて特別講演会を企画・実施しました。テレビ局をはじめとするマスメディアに告知し取材対応窓口を務めました。

また、創立50周年記念誌の発行においては、記念誌編集分科会を結成して掲載内容を検討・決定し、編集作業を統括しています。記念誌の製作と並行して、

記念事業の概要をマスメディアに周知し取材を依頼するとともに、記念式典ではプログラム冊子を製作、講演、式典、懇親会の様子を記録写真に収めました。

広報委員会では、キワニス運動拡充の一助となるべく、会員の皆様のご指摘ご助言をいただきながら今後も活動を充実させていきます。



キワニスワンデー取材対応

歴代役員

年度	役職	会長	前会長	次期会長	副会長	会計幹事	事務局長	前事務局長	相談役	副事務局長	総務委員長
66年度 (46名)		野測 三治			佐藤 政一 根本 裕彦	御友 重信	安東 重紀				中山 俊一
67年度 (51名)		野測 三治			佐藤 政一 根本 裕彦	御友 重信	中山 俊一				中山 俊一
68年度 (64名)		野測 三治			佐藤 政一 根本 裕彦	御友 重信	中山 俊一				前田 武一
69年度 (63名)		野測 三治		佐藤 政一	門司 良弼	御友 重信	中山 俊一				前田 武一
70年度 (67名)		佐藤 政一		田中 精一	門司 良弼 豊田章一郎	御友 重信	中山 俊一				前田 武一
71年度 (102名)		田中 精一	佐藤 政一	豊田章一郎	御友 重信 浅井 呀一	加藤 衛	中山 俊一				前田 武一
72年度 (103名)		豊田章一郎	田中 精一	御友 重信	浅井 呀一 前田 武一	加藤 衛	相羽 雅文	中山 俊一			松本 省吾
73年度 (103名)		御友 重信	豊田章一郎	前田 武一	浅井 呀一 坂上 忠治	加藤 衛	小森 治雄	相羽 雅文	田中 精一 中山 俊一		松本 省吾
74年度 (100名)		前田 武一	御友 重信	坂上 忠治	浅井 呀一 松本 省吾	加藤 衛	山口 忠雄	小森 治雄	田中 精一 中山 俊一 豊田章一郎		中山 俊一
75年度 (102名)		坂上 忠治	前田 武一	松本 省吾	浅井 呀一 山口 節三	加藤 衛	永富 正	山口 忠雄	田中 精一 中山 俊一 豊田章一郎		中山 俊一
76年度 (106名)		松本 省吾	坂上 忠治	山口 節三	浅井 呀一 竹見 淳一	中川 進	永田 育男	永富 正	田中 精一 中山 俊一 豊田章一郎 仲谷 義明		入谷 規一
77年度 (103名)		山口 節三	松本 省吾	竹見 淳一	河村 稔	中川 進	伊藤 保男	永田 育男			水野唯一郎
78年度 (110名)		竹見 淳一	山口 節三	河村 稔	水野唯一郎	中川 進	水谷 至郎	伊藤 保男			御友 重信
79年度 (109名)		河村 稔	竹見 淳一	水野唯一郎	友田 正勝	伊藤宗太郎	赤塚 邦夫	水谷 至郎			浅野 悠吉
80年度 (111名)		水野唯一郎	河村 稔	友田 正勝	広沢 金久	伊藤宗太郎	渡部 照夫	赤塚 邦夫			竹見 淳一
81年度 (111名)		友田 正勝	水野唯一郎	広沢 金久	戸谷 徹造	伊藤宗太郎	佐久間 啓	渡部 照夫			竹見 淳一
82年度 (104名)		広沢 金久	友田 正勝	戸谷 徹造	河合 恒人	伊藤宗太郎	鈴川 勉	佐久間 啓			竹見 淳一
83年度 (110名)		戸谷 徹造	広沢 金久	河合 恒人	紅村 文雄	伊藤宗太郎	河合 甫	鈴川 勉			河村 稔
84年度 (106名)		河合 恒人	戸谷 徹造	紅村 文雄	仲谷 義明	伊藤宗太郎	竹田 光宏	河合 甫			松本 省吾
85年度 (110名)		紅村 文雄	河合 恒人	仲谷 義明	井上丈太郎	伊藤宗太郎	小野 孝児	竹田 光宏			竹見 淳一
86年度 (111名)		仲谷 義明	紅村 文雄	井上丈太郎	川勝 慶一	伊藤宗太郎	竹田 光宏	小野 孝児			相羽 雅文
87年度 (110名)		井上丈太郎	仲谷 義明	川勝 慶一	坂 芳雄	伊藤宗太郎	野々垣俊助	竹田 光宏			紅村 文雄
88年度 (114名)		坂 芳雄	井上丈太郎	大津 年正	杉浦 旭	伊藤宗太郎	大崎 博	野々垣俊助			紅村 文雄
89年度 (112名)		大津 年正	坂 芳雄	杉浦 旭	田中 正守	伊藤宗太郎	水谷 至郎	大崎 博			紅村 文雄

事業企画委員長	メンバーシップ 委員長	国際委員長	交流委員長	文化公益委員長	広報委員長	レクリエーション 委員長	財務委員長	青少年教育委員長
織田 稔	下山 佳雄	佐藤 政一					御友 重信	
織田 稔	倉持 弘	森村 太郎				相羽 雅文	御友 重信	
織田 稔	田中 精一	森村 太郎				相羽 雅文	御友 重信	
織田 稔	田中 精一	森村 太郎				相羽 雅文	御友 重信	
加藤 衛	大角 信男	森村 太郎		浅井 呀一		相羽 雅文	石樽 安之	
加藤 衛	大角 信男	森村 太郎		浅井 呀一	山本千吉郎	相羽 雅文	石樽 安之	
加藤 衛	大角 信男	森村 太郎		入谷 規一	山本千吉郎	山口 忠雄	手塚 正夫	
野呂 八束	仲谷 義明	平山 健		入谷 規一	山本千吉郎	山口 忠雄	水越 貫一	
宗像 桂	仲谷 義明	紅村 文雄		栗本 一夫	織田 稔	相羽 雅文	広沢 金久	
宗像 桂	紅村 文雄	森村 太郎		仲谷 義明	織田 稔	相羽 雅文	御友 重信	
河合 恒人	紅村 文雄	山口 時雄		戸谷 徹造	織田 稔	相羽 雅文	御友 重信	
河合 恒人	紅村 文雄	山口 時雄		戸谷 徹造	織田 稔	相羽 雅文	御友 重信	
松本 省吾	紅村 文雄	山口 時雄		戸谷 徹造	織田 稔	相羽 雅文	広沢 金久	河合 恒人
松本 省吾	紅村 文雄	田中 精一		戸谷 徹造	織田 稔	相羽 雅文	広沢 金久	河合 恒人
松本 省吾	紅村 文雄	田中 精一		戸谷 徹造	織田 稔	相羽 雅文	御友 重信	河合 恒人
松本 省吾	紅村 文雄	田中 精一		河村 稔	織田 稔	相羽 雅文	御友 重信	河合 恒人
松本 省吾	紅村 文雄	田中 精一		浅井 呀一	織田 稔	相羽 雅文	御友 重信	河村 稔
山口 節三	竹見 淳一	田中 精一		浅井 呀一	織田 稔	相羽 雅文	御友 重信	岡田 博
山口 節三	竹見 淳一	田中 精一		浅井 呀一	河村 稔	相羽 雅文	広沢 金久	山口 政治
山口 節三	松本 省吾	田中 精一		浅井 呀一	河村 稔	相羽 雅文	広沢 金久	山口 政治
山口 節三	竹見 淳一	田中 精一		浅井 呀一	河村 稔	松本 省吾	広沢 金久	河合 恒人
山口 節三	竹見 淳一	田中 精一		浅井 呀一	河村 稔	松本 省吾	広沢 金久	河合 恒人
河合 恒人	竹見 淳一	田中 精一		浅井 呀一	河村 稔	松本 省吾	広沢 金久	仲谷 義明
河合 恒人	竹見 淳一	田中 精一		浅井 呀一	河村 稔	松本 省吾	広沢 金久	仲谷 義明

年度	役職	会 長	前会長	次期会長	副会長	会計幹事	事務局長	前事務局長	相談役	副事務局長	総務委員長
90年度 (116名)		杉浦 旭	大津 年正	林 哲郎	田中 正守	伊藤宗太郎	宮島 鈔治	水谷 至郎			紅村 文雄
91年度 (119名)		林 哲郎	杉浦 旭	伊藤宗太郎	石河 正利	村上 和夫	三宅 大策	宮島 鈔治			紅村 文雄
92年度 (127名)		伊藤宗太郎	林 哲郎	石河 正利	小山 敬	村上 和夫	野崎 弘之	三宅 大策			紅村 文雄
93年度 (131名)		石河 正利	伊藤宗太郎	小山 敬	白井 文吾	村上 和夫	梅村 直孝	野崎 弘之			紅村 文雄
94年度 (129名)		小山 敬	石河 正利	白井 文吾	石原 明	伊藤 哲	三宅 大策	梅村 直孝			小森 治雄
95年度 (122名)		白井 文吾	小山 敬	石原 明	大見 道夫	伊藤 哲	村上 和夫	三宅 大策		大崎 博	広沢 金久
96年度 (119名)		石原 明	白井 文吾	大見 道夫	堀籠登喜雄	伊藤 哲	大崎 博	村上 和夫		三宅 大策	広沢 金久
97年度 (121名)		大見 道夫	石原 明	堀籠登喜雄	大橋小源治	伊藤 哲	三宅 大策	大崎 博		小出 恭一	広沢 金久
98年度 (114名)		堀籠登喜雄	大見 道夫	清水 武	大橋小源治	伊藤 哲	小出 恭一	三宅 大策		松野 信昭	清水 靖夫
99年度 (127名)		清水 武	堀籠登喜雄	大橋小源治	清水 靖夫	伊藤 哲	丹下 茂佑	小出 恭一		松野 信昭	大見 道夫
00年度 (124名)		大橋小源治	清水 武	清水 靖夫	富田 信夫	伊藤 哲	松野 信昭	丹下 茂佑		入谷 正章	大見 道夫
01年度 (128名)		清水 靖夫	大橋小源治	富田 信夫	齋藤 翦	伊藤 哲	入谷 正章	松野 信昭		大沢 和宏	大見 道夫
02年度 (119名)		富田 信夫	清水 靖夫	齋藤 翦	齋藤 翦	伊藤 哲	大沢 和宏	入谷 正章		立松 健	大見 道夫
03年度 (122名)		齋藤 翦	富田 信夫	入谷 正章		伊藤 哲	二村 昌土 立松 健	大沢 和宏		二村 昌土	大見 道夫
04年度 (115名)		齋藤 翦	富田 信夫	入谷 正章	宮田 亮	伊藤 哲	二村 昌土	立松 健		福西 辰子	大見 道夫
05年度 (129名)		入谷 正章	齋藤 翦	宮田 亮	矢野 武	伊藤 哲	福西 辰子	二村 昌土		丹下 茂佑	川澄 昭治
06年度 (140名)		宮田 亮	入谷 正章	矢野 武	野嶋 孝	伊藤 哲	丹下 茂佑	福西 辰子		池永 滉	川澄 昭治
07年度 (141名)		矢野 武	宮田 亮	野嶋 孝	飯田 吉平	伊藤 哲	池永 滉	丹下 茂佑		伊藤 賛治	川澄 昭治
08年度 (142名)		野嶋 孝	矢野 武	飯田 吉平	鷺坂 正	伊藤 哲	初鹿野 正	池永 滉		鈴木 信好	堀籠登喜雄
09年度 (137名)		飯田 吉平	野嶋 孝	鷺坂 正	深山 靖	伊藤 哲	鈴木 信好	初鹿野 正		山内 一昭	堀籠登喜雄
10年度 (137名)		鷺坂 正	飯田 吉平	深山 靖	末安 堅二	伊藤 哲	山内 一昭	鈴木 信好		藤岡 旭	堀籠登喜雄
11年度 (141名)		深山 靖		末安 堅二	川村 保憲	伊藤 哲	藤岡 旭	山内 一昭		相羽 博文	初鹿野 正
12年度 (143名)		末安 堅二	深山 靖	川村 保憲	藤岡 旭	伊藤 哲	相羽 博文	※		竹内 和男	初鹿野 正
13年度 (139名)		川村 保憲	末安 堅二	藤岡 旭	竹内 和男	伊藤 哲	鈴木 信好	相羽 博文		自見 厚則	初鹿野 正
14年度 (138名)		藤岡 旭	川村 保憲	竹内 和男	宮池 克人	伊藤 哲	自見 厚則	鈴木 信好		宮崎 修二	初鹿野 正
15年度 (138名)		竹内 和男	藤岡 旭	後藤 晴男	鈴木 信好	伊藤 哲	宮崎 修二	自見 厚則		池田 桂子	初鹿野 正
16年度 (138名)		後藤 晴男	竹内 和男	鈴木 信好	宮崎 修二	(会計検査委員) 伊藤 哲 岡野 英生	相羽 博文	※		中島健一朗	初鹿野 正

※前事務局長が副会長に就任したため該当者なし

事業企画委員長	メンバーシップ 委員長	国際委員長	交流委員長	文化公益委員長	広報委員長	レクリエーション 委員長	財務委員長	青少年教育委員長
河合 恒人	竹見 淳一	田中 精一		浅井 呀一	河村 稔	松本 省吾	広沢 金久	井上丈太郎
河合 恒人	竹見 淳一	田中 精一		浅井 呀一	坂 芳雄	松本 省吾	広沢 金久	井上丈太郎
浅井 呀一	竹見 淳一	田中 精一		中山 俊一	白井 文吾	松本 省吾	小田 善一	井上丈太郎
林 哲郎	竹見 淳一	田中 精一		中山 俊一	浅井 呀一	松本 省吾	小田 善一	井上丈太郎
水谷 至郎	竹見 淳一	田中 精一		中山 俊一	紅村 文雄	松本 省吾	小田 善一	井上丈太郎
竹田 光宏	竹見 淳一	田中 精一		中山 俊一	紅村 文雄	松本 省吾	小田 善一	井上丈太郎
竹田 光宏	竹見 淳一	田中 精一		中山 俊一	紅村 文雄	松本 省吾	小田 善一	小山 敬
竹田 光宏	林 哲郎	坂 芳雄		清水 武	紅村 文雄	岡地 悦次	白井 文吾	小山 敬
齋藤 翫	林 哲郎	坂 芳雄		石原 明	紅村 文雄	岡地 悦次	白井 文吾	小山 敬
齋藤 翫	林 哲郎	坂 芳雄		石原 明	紅村 文雄	岡地 悦次	白井 文吾	小山 敬
齋藤 翫	堀籠登喜雄	坂 芳雄		石原 明	剣持 一郎	岡地 悦次	白井 文吾	小山 敬
丹下 茂佑	堀籠登喜雄	坂 芳雄		清水 武	剣持 一郎	岡本 藤太	白井 文吾	小山 敬
丹下 茂佑	堀籠登喜雄	坂 芳雄		清水 武	剣持 一郎	岡本 藤太	白井 文吾	太田 正光
和田 政司	木ノ原長矩	坂 芳雄		石黒伊三雄	片桐 清志	岡本 藤太	白井 文吾	太田 正光
和田 政司	木ノ原長矩	坂 芳雄		石黒伊三雄	片桐 清志	岡本 藤太	白井 文吾	河合 恒人
和田 政司	富田 信夫		清水 靖夫	西 譲一郎	片桐 清志	岡本 藤太	白井 文吾	河合 恒人
和田 政司	富田 信夫		清水 靖夫	西 譲一郎	片桐 清志	岡本 藤太	白井 文吾	齋藤 翫
和田 政司	富田 信夫		清水 靖夫	西 譲一郎	片桐 清志	岡本 藤太	白井 文吾	齋藤 翫
和田 政司	富田 信夫		宮田 亮	西 譲一郎	山本 光子	岡本 藤太	白井 文吾	齋藤 翫
和田 政司	池田 芳原		宮田 亮	西 譲一郎	山本 光子	福西 辰子	白井 文吾	齋藤 翫
和田 政司	池田 芳原		宮田 亮	西 譲一郎	山本 光子	福西 辰子	白井 文吾	齋藤 翫
和田 政司	池田 芳原		宮田 亮	西 譲一郎	山本 光子	福西 辰子	白井 文吾	服部 泰
和田 政司	池田 芳原		宮田 亮	入谷 正章	山本 光子	福西 辰子	白井 文吾	服部 泰
和田 政司	池田 芳原		宮田 亮	入谷 正章	山本 光子	福西 辰子	白井 文吾	服部 泰
和田 政司	飯田 吉平		宮田 亮	入谷 正章	山本 眞一	福西 辰子	白井 文吾	服部 泰
和田 政司	飯田 吉平		川村 保憲	入谷 正章	山本 眞一	福西 辰子	白井 文吾	山内 一昭
山中 強司	飯田 吉平		川村 保憲	入谷 正章	山本 眞一	福西 辰子	白井 文吾	山内 一昭

社会奉仕活動の記録

社会公益賞

キワニスクラブの社会奉仕団体としての役割・機能をより一層発揮するため、昭和43年（1968年）に制定しました。社会公益のために、世間に知られず、報いられることも少なく、長い間献身的に努力を続けておられる方々を探し求め、その方々に賞を贈り功績に敬意を表するとともに、その尊い存在を世間に広くご紹介しようという趣旨で行っています。

歴代受賞者

- | | | | |
|------|-------|--------|--|
| 第1回 | 昭和43年 | 1月5日 | 名古屋公衆医学研究所 所長 加藤 勝也 |
| 第2回 | 昭和45年 | 11月27日 | (株)あさみどりの会 理事長 伊藤 方文 |
| 第3回 | 昭和46年 | 11月26日 | 愛知県立名古屋聾学校 校長補佐 宮本 實 |
| 第4回 | 昭和47年 | 12月8日 | 名古屋掖済会付属埠頭診療所 所長 市川 孟 |
| 第5回 | 昭和48年 | 12月7日 | 労働福祉事業団労災義肢センター 研究員嘱託 林 勝太郎 |
| 第6回 | 昭和49年 | 12月6日 | 元・名古屋大学解剖学教室 技官 多畑 利平 |
| 第7回 | 昭和50年 | 12月5日 | 「ライトハウス」あけの星声の図書館 朗読録音奉仕員 藤井 美津枝 |
| 第8回 | 昭和51年 | 1月21日 | 翠ボランティアグループ 代表 近藤 ひさ子 |
| 第9回 | 昭和53年 | 4月28日 | 「ライトハウス」あけの星声の図書館 点訳奉仕員 橋本 昌子
守山老人給食ボランティアグループ 代表 三谷 節子 |
| 第10回 | 昭和54年 | 4月27日 | 名古屋手話サークル「くすの会」 代表 土屋 信男
主婦ボランティアグループ「のぞみの会」 代表 猪村 礼子 |
| 第11回 | 昭和55年 | 4月25日 | 豊田婦人ボランティアグループ 代表 豊田 寿子 |
| 第12回 | 昭和56年 | 4月17日 | 車いすセンター 代表 山田 昭義 |
| 第13回 | 昭和57年 | 4月23日 | 緑泉会青年の家 指導者 西尾 長治 |
| 第14回 | 昭和58年 | 5月13日 | 名古屋学生ボランティアサークル 代表 森川 英之
夢工房 代表 荒井 一也 |
| 第15回 | 昭和59年 | 4月27日 | 愛知県重症心身障害児を守る会「ジュリアン」 代表 西尾 新二
要約筆記グループ「OHP あいち」 代表 加藤 裕史 |
| 第16回 | 昭和60年 | 4月26日 | 厚生院ボランティアグループ「くすの会」 代表 長沼 てる子 |
| 第17回 | 昭和61年 | 4月25日 | 障害者リハビリボランティアグループ「たねの会」 代表 原 和美
社会奉仕団体鉄道少年団半田支部 代表 宮原 宣義 |
| 第18回 | 昭和62年 | 4月24日 | コジマ国際育英協会 主事 小島 千鶴子 |
| 第19回 | 昭和63年 | 4月22日 | 在宅老人ケア・ボランティアグループ「さつきの会」 代表 浅野 久美子 |
| 第20回 | 平成元年 | 5月19日 | 在宅老人ケア・ボランティアグループ「ぶどうの会」 代表 牛田 敏子 |
| 第21回 | 平成2年 | 4月20日 | アジア保健研修所 代表 中村 道太郎 |
| 第22回 | 平成3年 | 4月26日 | HP要約筆記等研究連絡会「まごのて」 代表 下出 隆史 |
| 第23回 | 平成4年 | 4月24日 | (株)服部開会留学生育英会 代表 服部 銀雄 |
| 第24回 | 平成5年 | 4月23日 | EYE・マーク音声訳推進協議会 事務局長 磯野 正典 |
| 第25回 | 平成6年 | 4月22日 | C.A.N. HELP Thailand 会長 ハリー・レイ |
| 第26回 | 平成7年 | 4月14日 | 消費生活グループ「双葉」 代表 山川 幹子 |
| 第27回 | 平成8年 | 4月14日 | 世界寺子屋運動書き損じはがき回収キャンペーンボランティアグループ |
| 第28回 | 平成9年 | 4月11日 | 子供の虐待防止ネットワーク・あいち(CAPNA) 代表 祖父江 文宏 |

第29回	平成10年	4月17日	(株)呆け老人をかかえる家族の会・愛知県支部 代表 尾之内 直美
第30回	平成11年	4月23日	日本口唇口蓋裂協会 河合 幹
第31回	平成12年	4月21日	重度障害者の地域生活を支える会 榎の家 代表 中井 香代子
第32回	平成13年	4月27日	アジア法政情報交流センター センター長 佐々木 雄太
第33回	平成14年	4月26日	財団法人 中部盲導犬協会 会長 神作 博
第34回	平成15年	5月 9日	あいちホスピス研究会 会長 永井 照代 岡崎ホスピスケアを考える会 会長 橋詰 清子
第35回	平成16年	5月 7日	社会福祉法人 養楽福祉会「養和荘」 荘長 小原 伸二 長寿社会文化協会(WAC)中部ネットワークセンター 代表 岡山 弘子
第36回	平成17年	5月13日	NPO法人 チャイルドラインあいち 代表理事 山口 真人 山口 君子 財団法人 愛知県母子寡婦福祉連合会 理事長 岡田 弘子
第37回	平成18年	5月12日	特定非営利活動法人 子どもの虐待防止ネットワークあいち 理事長 岩城 正光
第38回	平成19年	6月22日	財団法人交通道德協会 半田鉄道少年団 団長 北川 謙次郎 特定非営利活動法人 子どもセンター「バオ」 代表理事 多田 元
第39回	平成20年	6月13日	愛知県立安城養護学校 校長 山本 光子
第40回	平成21年	6月19日	日本チャイルド・ライフ研究会 代表 藤井 あけみ 社会福祉法人 日本介助犬協会 会長 橋本 久美子
第41回	平成22年	5月28日	特定非営利活動法人 子ども健康フォーラム 理事長 田邊 穰
第42回	平成23年	6月10日	特定非営利活動法人 あっとわん 代表理事 河野 弓子 特定非営利活動法人 いのちをバトンタッチする会 代表 鈴木 中人
第43回	平成24年	6月22日	特定非営利活動法人 あいち骨髄バンクを支援する会 理事長 森島 泰雄 特定非営利活動法人 子育て支援のNPOまめっこ 理事長 丸山 政子
第44回	平成25年	6月21日	特定非営利活動法人 あいち・子どもNPOセンター 代表理事 小木 美代子 特定非営利活動法人 日本口唇口蓋裂協会 理事長 川口 文夫
第45回	平成26年	6月13日	社会福祉法人 昭徳会 自立援助ホーム 慈泉寮 寮長 平井 誠敏 特定非営利活動法人 名古屋おやかセンター 理事長 竹内 洋江
第46回	平成27年	7月 3日	特定非営利活動法人 なごやかサポートみらい 社会福祉法人 あさみどりの会 児童発達支援センターさわらび園
第47回	平成28年	7月29日	一般社団法人 名古屋小児がん基金

キワニス文庫

名古屋キワニスクラブでは、「子どもたちの活字離れを憂い、将来本が大好きな子どもたちに育って欲しい」との願いを込めて、1975年より地域の福祉施設・病院などに「キワニス文庫」として書架と書籍を寄贈しています。この「キワニス文庫」の財源は、毎年暮れに実施するクリスマス会のチャリティバザーの収益金や、例会のハッピーボックスへの寄付、また旅行会、新年会、チャーターナイトなどのスナップ写真の売り上げから拠出しています。

歴代受賞者

第1回	昭和50年	3月27日	身障者更正施設「緑風荘」
第2回	昭和51年	4月16日	身障者療護施設「はなのき寮」
第3回	昭和52年	5月20日	軽費老人ホーム「緑寿荘」

第4回	昭和53年	4月28日	山びこ文庫
第5回	昭和54年	4月27日	名古屋厚生会「愛のホーム」
第6回	昭和55年	4月25日	聖母カテキスタ会 ブラジル移住地日本語教室
第7回	昭和56年	4月17日	聖母カテキスタ会 フィラデルフィア会「声の文庫」
第8回	昭和57年	4月23日	養護施設「麦の穂学園」
第9回	昭和58年	5月13日	希望の図書館 めぐみ文庫
第10回	昭和59年	4月27日	中国人留学生施設「大内山塾」
第11回	昭和60年	4月26日	身障者療護施設「一粒荘」 // 「すぎのき寮」
第12回	昭和61年	4月25日	春日井文庫連絡会
第13回	昭和62年	4月24日	「知多文庫のつどい」知多文庫連絡協議会
第14回	昭和63年	4月22日	西尾文庫連絡会
第15回	平成元年	5月19日	愛知県中国帰国者自立研修センター
第16回	平成2年	4月20日	岡崎市国際交流協会 日本語教室
第17回	平成3年	4月26日	名古屋市女性会館「女性情報センター」
第18回	平成4年	4月24日	財国際留学生会館
第19回	平成5年	4月23日	愛知視覚障害者援護促進協議会
第20回	平成6年	4月22日	帰国児童生徒学習会「栄希望教室」
第21回	平成7年	4月14日	名古屋国際学園 名古屋国際学校
第22回	平成8年	4月14日	みどり子ども図書館
第23回	平成9年	4月11日	財海外技術者研修協会 中部研修センター
第24回	平成10年	4月17日	愛知県内少年矯正4施設 (名古屋少年鑑別所、瀬戸少年院、豊ヶ岡学園、愛知少年院)
第25回	平成11年	4月23日	財国際環境技術移転研究センター
第26回	平成12年	4月21日	財エヌジーケイ留学生基金
第27回	平成13年	4月27日	愛知県内病院内学級
第28回	平成14年	4月26日	愛知県内の施設内教育の学級及びあいち小児保健医療総合センター
第29回	平成15年	5月9日	あいち小児保健医療総合センター
第30回	平成16年	5月7日	名古屋市子ども適応相談センター なごやフレンドリーナウ 名古屋市教育センター ハートフレンドなごや 名古屋市情緒障害児短期治療施設 くすのき学園
第31回	平成17年	5月13日	愛知県心身障害者コロニー中央病院及び施設内学級
第32回	平成18年	5月12日	名古屋市立大学病院小児科 名古屋市立大学病院
第33回	平成19年	6月22日	独立行政法人 国立病院機構名古屋医療センター小児科 社会福祉法人 積善会 暁学園
第34回	平成20年	6月13日	特定非営利活動法人 子どもの国 東海市国際交流協会

第35回	平成21年 6月19日	名古屋大学医学部附属病院小児科
第36回	平成22年 5月28日	名古屋第二赤十字病院小児科 中日青葉学園
第37回	平成23年 6月10日	愛知医科大学病院小児科 藤田保健衛生大学病院小児科
第38回	平成24年 6月22日	名古屋第一赤十字病院小児科 社会福祉法人 相和福社会 風の色
第39回	平成25年 6月21日	愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院 小児科 社会福祉法人 聖清会 児童養護施設 なかよしこよし
第40回	平成26年 6月13日	東部地域療育センター ぼけっと 豊橋市民病院 小児科
第41回	平成27年 7月 3日	一宮市立市民病院 小児科 社会福祉法人 清修会 児童養護施設
第42回	平成28年 7月29日	岡崎市民病院 小児科 社会福祉法人 愛燦会 児童養護施設 あいさんテラス

家庭教育講演会

名古屋キワニスクラブでは、青少年育成事業の一環として名古屋市教育委員会が主催する家庭教育講演会を長年にわたり協賛しています。家庭教育講演会は、教育の現場に携わっておられる方のお話を市内の小中学校の先生や父母の皆さんに広く聞いていただき、学校や家庭における教育に役立ててもらふ趣旨で毎年開催されています。

講演会協賛実績

昭和56年	児童文学者 岸 武雄 氏	「いまの家庭教育の問題点」
昭和57年	篠ノ井旭高校校長 若林 繁太 氏	「現代っ子の行動と家庭教育」
昭和58年	児童文学者 椋 鳩十 氏	「感動と人生」
昭和59年	都留文科大学学長 上田 薫 氏	「親子の望ましいかわり」
昭和60年	兵庫教育大学教授 上寺 久雄 氏	「家庭における親の教育力 ～母親のにおい・父親のひかり～」
昭和61年	国立教育研究所所長 鈴木 勲 氏	「教育と文化について」
昭和62年	大阪教育大学助教授 服部 祥子 氏	「現代の親と子 ～子どもたちの豊かな未来のために～」
昭和63年	日本女子体育短期大学助教授 江幡 玲子 氏	「今、子どもたちは・・・ ～子どもの世界と親のかかわり～」
平成元年	六甲カウンセリング研究所所長 井上 敏明 氏	「子供のストレスと心の健康 ～カウンセリングから大人の取り組みを考える～」
平成 2年	作新学院女子短期大学教授 加藤 千佐子 氏	「望ましい家庭教育 ～やる気のある子を育てる～」
平成 3年	女優 稲垣 美穂子 氏	「Baby・Baby」
平成 4年	教育評論家 斎藤 次郎 氏	「お父さん出番ですよ」
平成 5年	明治学院大学教授 神保 信一 氏	「ほめる・叱るはカウンセリングマインドで」
平成 6年	筑波大学教授 門脇 厚司 氏	「変わる社会と父親の役割」

- 平成 7年 千葉大学名誉教授 坂本 昇一氏 「いじめ問題と対応 ～家庭教育を中心にして～」
- 平成 8年 愛知教育大学教授 渡辺 久雄氏 「小・中学生とその親のメンタルヘルス」
- 平成 9年 川村学園女子大学教授 岡本 包治氏 「親の生涯学習、子の生涯学習」
- 平成10年 目白学園女子短期大学副学長 真仁田 昭氏 「揺れ動く子どもの心の内面と家庭のあり方」
- 平成11年 千葉大学教授 明石要一氏 「地域ぐるみの子育て考」
- 平成12年 岡山市旭川荘厚生専門学院 有森 広子氏 「子どもと共に」
- 平成13年 青少年育成アドバイザー 青木 信夫氏 「挫折と期待の中で ～素人カウンセラーの26年～」
- 平成14年 心理相談員 山本 道子氏 「親も子ども自分らしく生きる」
- 平成15年 シンガーソングライター 平松 愛理氏 「子供は人生の教科書」
- 平成16年 声優 永井 一郎氏 「育てる ～波平、大いに語る～」
- 平成17年 キャスター 木場 弘子氏 「子育て中の皆さんへのメッセージ」
- 平成18年 作家 清水 義範氏 「家庭で育てたい子どもの力」
- 平成19年 作家 宗田 理氏 「手本は二宮金次郎」
- 平成20年 コラムニスト ジョン・ギヤスライト氏 「子育ては夢育て ドリームメーカーになろう！」
- 平成21年 教育評論家 尾木 直樹氏 「子育てを楽しむ～ケータイ・ネット時代の思春期～」
- 平成22年 真生会富山病院心療内科部長 明橋 大二氏
「子育てでハッピーアドバイス～自己肯定感を育む子育てを考える～」
- 平成23年 ピアニスト辻井信行さんの母 辻井いつ子氏
「この子らしく～子どもの可能性を信じ、どう引き出すか」
- 平成24年 東北大学加齢医学研究所教授 川島 隆太氏 「脳科学から見た子どもの望ましい生活習慣」
- 平成25年 元NHKアナウンス室長 山根 基世氏 「もう一度考えたい「ことばの力」」
- 平成26年 サイエンスナビゲーター 桜井 進氏 「親子で楽しむ数の世界～広がる親子のコミュニケーション～」
- 平成27年 作家・ジャーナリスト 石川 結貴氏
「生き生きと活躍する子どもを育てるために～子どもを取り巻く現状から考えて～」
- 平成28年 管理栄養士 後藤 恭子氏 「家族そろって楽しい食事 ～親子で考える食育～」

AKK・名古屋キワニス国際教育研究助成

愛知県高等学校国際教育研究協議会(AKK)と共同で、県内の高校の教員などを対象に重要性を増している国際教育に関する研究を助成しました。

第1回 平成14年度

愛知県立豊橋聾学校 教諭 岩倉 宏昌(グループ研究)

聴覚障害者の国際交流による異文化体験の拡充・深化 ～海外の聾学校訪問による国際交流を通して～

愛知県立御津高等学校 教諭 小柳津 佳久(グループ研究)

外国人留学生に対する効果的な日本語指導と、その発展としての日本文化体験学習

愛知県立名古屋西高等学校 教諭 筒井 正(個人研究)

多文化共生を目指した異文化理解教育カリキュラムの開発 ～グローバル化と外国人労働者をめぐって～

第2回 平成15年度

学校法人愛知学院愛知高等学校 教諭 伊佐治 浩（グループ研究）

国際理解選択コースの授業実践

愛知県立豊橋西高等学校 教諭 倉内 弓子（個人研究）

高校における外国人教育の実践と課題 ～選抜、授業、課外授業、外国人生徒語学支援員について～

愛知県立千種高等学校 教諭 山森 孝彦（グループ研究）

模擬国連会議を実施し、生徒が各国の代表として地球規模の問題を話し合う体系的な国際教育プログラムを構築することによって、国際問題に関心を持ち、将来、日本国内のみならず世界にその活躍の場を求める人材を育成する。

第3回 平成16年度

愛知県立平和高等学校 教諭 神谷 貴司（個人研究）

愛・地球博の一市町村一国フレンドシップ事業に基づく、地元意識に根づいた国際交流の推進について

愛知県立旭丘高等学校 教諭 服部 優子（グループ研究）

総合学習の時間における英語を使った国際理解教育

愛知県立加茂丘高等学校 教諭 鈴木 三和子（グループ研究）

姉妹校との交流を通じての国際理解 ～日米の高校生が文化障壁を越える時～

第4回 平成17年度

愛知県立豊橋聾学校 教諭 加藤 勝啓（グループ研究）

国際化に対応できる聴覚障害者（児）の育成を目指して ～カナダ・マニトバ聾学校との交流の推進～

愛知県立大府東高等学校 教諭 山本 孝次（グループ研究）

高校時代の国際教育の在り方について ～生徒の進路にどう影響を与えるか～

愛知県立中村高等学校 校長 三宅 正夫（グループ研究）

国際的視野を養うための教育実践 ～定期的な交換留学プログラムをめざして～

第5回 平成19年度

愛知県立日進高等学校 校長 林 功子 教諭 杉山 一郎 教諭 高須 由香 教諭 前上 雄崇

教諭 大島 綾 教諭 西尾 弘和 教諭 富田 みよ子（グループ研究）

異文化理解を深める体験活動 ～留学生との交流を通して～

愛知県立岡崎聾学校 教諭 鹿嶋 浩 教諭 藤井 毅 教諭 戸谷 恵子

教諭 曾田 雅子 教諭 古澤 茂全（グループ研究）

国際的視野をもった聴覚障害者の育成を目指して ～韓国大邱米話学校との交流の推進～

愛知県立刈谷高等学校 校長 加藤 泰男 教頭 岩淵 道久 教諭 酒井 杉也（グループ研究）

国際的視野を広げるための異文化交流の実践 ～英国イートン校との交流の充実～

第6回 平成20年度

愛知県立津島高等学校 校長 水谷 正照 教諭 諸戸 義己 教諭 小笠原 正士 教諭 金澤 学

教諭 杉浦 綾香 教諭 加藤 明 教諭 佐藤 昌功 教諭 神谷 貴司

教諭 田中 道德（グループ研究）

国際理解教育の取り組み ～国際理解コースにおける実践～

愛知県立加茂丘高等学校 校長 山崎 実興 教諭 杉本 敬 教諭 中山 明雄（グループ研究）

米国姉妹校への短期派遣プログラムの充実を目指して

愛知県立一宮商業高等学校 校長 内田 富夫 教諭 安藤 嘉澄（個人研究）

世界を身近に！ ～It's a Small World～

第7回 平成21年度

愛知県立木曽川高等学校 校長 大池 寿子 教頭 坪内 隆行 教諭 遠藤 和彦 教諭 中井 健司
教諭 川合 久美子 教諭 早川 和美 教諭 大谷 暁子 (グループ研究)

短期派遣のためのプログラム改善 ～継続的な国際交流を目指して～

愛知県立尾北高等学校 教頭 江口 誠二 教諭 新谷 誠司 教諭 イアキント 薫 教諭 岡田 清美
教諭 寺沢 宗丈 教諭 加藤 美智子 教諭 西尾 香織 (グループ研究)

より効果的な国際交流推進のためのプログラム研究

愛知県立南陽高等学校 教頭 佐藤 章 教諭 鳥居 久晃 教諭 高橋 ゆとり 教諭 渡邊 宏晴
教諭 今尾 あかね 教諭 吉野 仁美 教諭 渡辺 雄太 (グループ研究)

「WORLD STUDIES」～世界に発信できる若者の育成を目指して～

第8回 平成22年度

愛知県立中村高等学校 校長 中村 立実 教頭 黒部 憲嗣 教頭 黒田 哲生 教諭 吉田 雅子
教諭 武田 尚士 教諭 伊藤 太亮 教諭 伊藤 有美子 (グループ研究)

異文化に対する理解を深めるために ～中村地球市民教室の実施～

愛知県立阿久比高等学校 教諭 浅井 洋一郎 教諭 柳田 綾 教諭 村瀬 美樹 教諭 西村 正登
教諭 河原 雅恵 教諭 浅山 三津枝 教諭 藤井 稔久 (グループ研究)

国際コミュニケーションコースにおける国際交流の実践

愛知県立豊田東高等学校 校長 戸田 博基 教諭 朝倉 典子 教諭 小瀧 逸子 教諭 神谷 昇
教諭 徳武 賢一 期限付任用講師 道家 和也 (グループ研究)

グローバルな視野を持つ生徒の育成を目指して ～マレーシアへの海外修学旅行を軸にした取組～

里親フォーラムあいち

愛知県里親会連合会と名古屋市親和会の合同フォーラムに協賛し、里親の方や里親に関心のある方向けに、フォーラムを開催しています。

第1回 平成21年11月8日

「子どもの心に寄り添う」

社団法人 家庭養護促進協会神戸事務所 主任ケースワーカー 米沢 普子氏

第2回 平成22年6月20日

「子どもの個性に合った子育てスタイルを見つけよう」

中部大学現代教育学部 児童教育学科教授 吉田 直子氏

第3回 平成23年3月13日

「子どもとの出会い、そしていつか来る思春期」

社団法人 家庭養護促進協会理事 岩崎 美枝子氏

第5回 平成24年3月4日

「家庭に育つ、家庭を生きる～横堀ホーム30年の実践とともに歩んで」

青山学院女子短期大学准教授 横堀 昌子氏

第6回 平成24年6月17日

「人が人と関わること～一人ひとりの個性を大切にすること。里子と里親と児童福祉専門職の相互関係も～」

神奈川県立保健福祉大学 教授 新保 幸男氏

第7回 平成25年3月17日

「今こそ“里親力”を高めよう！」

ライター・全国里親だより編集委員 村田 和木氏

第8回 平成26年6月8日

「子どもたちの幸せのために里親は今～支え合う心、差し伸べる手、必要な支援～」

九州大学大学院 人間環境学研究院 教授 田嶋 誠一氏

千葉県里親会（養育・専門里親） 木ノ内 博道氏 NPO法人 千葉県里親家庭支援センター 理事長 公益財団法人 全国里親会 副会長

福岡県里親会（ファミリーホーム） 吉田 健児氏 多人数養育里親からファミリーホーム開設 代表

コメンテーター 九州大学大学院 人間環境学研究院 教授 田嶋 誠一氏

司会 愛知県西三河児童・障害者相談センター センター長 築山 高彦氏

第9回 平成27年7月11日

「子どもに愛情ある家庭を～SOS相談からの学び～」

一般社団法人 スタディライフ熊本特別顧問 田尻 由貴子氏

第10回 平成28年3月6日

「生きるちからを引き出す子育て～エンパワメントと子どもの人権～」

元立命館大学 客員教授 元カリフォルニア大学 主任研究員 森田 ゆり氏

なごや子育てフォーラム

核家族化・少子化の進行によって、近隣との人間関係が希薄になり、子育ての伝承が断たれ、子育てに戸惑う保護者が多くなっています。なごや子育てフォーラムは保護者が抱く子育てへの不安やストレスを自分自身で乗り越えていける機会を作ろうと名古屋市幼児教育研究協議会が企画し、開催しています。

第1回 平成10年9月25日

楽しさの広がる子育ての工夫～絵本とおはなしの魅力ある語りかけ～

昭和女子大学 教授 西本 鶏介先生 メルヘンハウス 三輪 哲先生

<キャッチフレーズ>子育てのためになるチョットいいお話とホッとするひとときを

第2回 平成11年9月21日

クラシックコンサート（子供同伴） 名古屋フィルハーモニー交響楽団

<キャッチフレーズ>子育て中のあなたに親子で楽しめる素敵な時間をプレゼント

第3回 平成12年9月18日

親子で楽しむうたとあそび ジャングル・ジャム

<キャッチフレーズ>子育て中のあなたに親子で楽しめる素敵な時間をプレゼント

第4回 平成13年9月26日

親子で楽しむうたとあそび ジャングル・ジャム

<キャッチフレーズ>子育て中のあなたに親子で楽しめる素敵な時間をプレゼント

第5回 平成14年9月9日

講演会「子育てがづらくなったとき」 恵泉女学園大学 教授 大日向 雅美先生

<キャッチフレーズ>子育て奮闘中のあなたへおくるメッセージ

第6回 平成15年9月29日

講演と対談「親も子どもともに育つもの」 大阪人間科学大学教授 服部 祥子先生 対談者 森本 曜子氏
<キャッチフレーズ>子育て奮闘中のあなたへおくるメッセージ

第7回 平成16年9月25日

講演会「おかあさんだって ほめられたい」 ルポライター 北村 年子先生
<キャッチフレーズ>子育て奮闘中のあなたへおくるメッセージ

第8回 平成17年9月11日

講演会「わくわくさんのつくってあそびショー」
NHK教育テレビ「つくってあそび」出演 わくわくさん 歌のおねえさん 岡野 綾氏

第9回 平成18年10月22日

講演会「おとうさんと一緒に自然の中で遊ぼう！」 環境省環境カウンセラー 篠田 陽作氏
<キャッチフレーズ>子育てにおとうさんの出番を

第10回 平成19年9月29日

講演会「うたおう あそぼう おとうさんと一緒に」 創作遊び作家 谷口 國博氏
<キャッチフレーズ>子育てにお父さんの出番を

第11回 平成20年7月12日

講演会「からだであそぼう おとうさんと一緒に」 レクリエーションコーディネーター 有本 征世氏
<キャッチフレーズ>子育てにお父さんの出番を

第12回 平成21年7月11日

講演会「おやこでたのしく うたってあそぼう」 ファミリーソングシンガー 山野 さと子氏

第13回 平成22年7月3日

講演会「おやこでたのしく からだを使って遊ぼう」 レクリエーションコーディネーター 有本 征世氏
<キャッチフレーズ>お父さんとのふれあいをしませんか

第14回 平成23年7月10日

講演会「おやこでたのしく うたおう あそぼう」 創作遊び作家 谷口 國博氏

第15回 平成24年7月14日

講演会「おやこでげんきに のびのび・わくわく」
NHK「おかあさんといっしょ」 8代目体操のお兄さん 大妻女子大学教授 瀬戸口 清文氏

第16回 平成25年7月6日

講演会「おやこでふれあい みんなにここに」
NHK「おかあさんといっしょ」 8代目体操のお兄さん 大妻女子大学教授 瀬戸口 清文氏

第17回 平成26年7月5日

講演会「おやこでふれあい みんなにここに」 大友 剛氏 鈴木 翼氏 NHK子ども向け番組出演

第18回 平成27年7月11日

講演会「おやこでふれあい みんなにここに」 大友 剛氏 鈴木 翼氏 NHK子ども向け番組出演

第19回 平成28年7月2日

講演会「おやこでふれあい ころぼかぼか」
山口 たかし氏 ロケットくれよん 高田 さとし氏 株式会社ソングブックカフェ

発明とくふう展 名古屋キワニスクラブ賞

創立40周年記念事業として、未来を担う子ども達が「ものづくり」を通じて科学する心を育む活動を支援するため、平成18年度から平成27年度の10年間に亘り、長い歴史を持つ「発明とくふう展」(発明協会愛知県支部主催)に特別協賛し、「名古屋キワニスクラブ賞」を創設し、毎年30万円を贈呈してきました。

第1回 平成18年度

受賞対象作品 『首のび防止ハンガー』 製作 豊田市立末野原中学校 2年 加納 慧士

第2回 平成19年度

受賞対象作品 『ひまわり発電機』 製作 刈谷市立刈谷南中学校 2年 間瀬 絵美

第3回 平成20年度

受賞対象作品 『多機能ページめくりロボット』 製作 碧南市立新川中学校 2年 鈴木 大和

第4回 平成21年度

受賞対象作品 『見る目の高さによって光の位置が変わるライト』 製作 碧南市立新川中学校 3年 永坂 光孝

第5回 平成22年度

受賞対象作品 『お風呂の水面ごみ取り機』 製作 一宮市立大和東小学校 6年 大丸 虎太郎

第6回 平成23年度

受賞対象作品 『スーパーベンきょうマシーン』 製作 豊田市立童子山小学校 1年 横地 真実

第7回 平成24年度

受賞対象作品 『牛乳パックらくらくオープナー』 製作 北名古屋市立西春小学校 6年 新谷 唯人

第8回 平成25年度

受賞対象作品 『ANSIN (安心お出かけシステム)』 製作 豊田市立朝日小学校 5年 大野 航明

第9回 平成26年度

受賞対象作品 『車いすで坂道を上ろう』 製作 刈谷市立朝日中学校 1年 太田 匠郎

第10回 平成27年度

受賞対象作品 『ママも安心、自動ブレーキ付きベビーカー』 製作 刈谷市立朝日中学校 2年 太田 匠郎

名古屋キワニスクラブの歩み

I. クラブの設立から創立40周年まで

1965年(昭和40年)	11月 8日	名古屋キワニスクラブ発起人会(名古屋国際ホテル)
1966年(昭和41年)	1月 24日	名古屋キワニスクラブ設立総会(名古屋国際ホテル)
	4月 8日	第1回例会(出席会員36名)
	9月 1日	名古屋キワニスクラブ憲章伝達式(チャーターナイト)
1967年(昭和42年)	1月 6日	第1回新年懇親会(現 新年会員懇談会)
	9月 16日	第1回ゴルフ会(名古屋ゴルフ倶楽部和合コース)
1968年(昭和43年)	1月 5日	第1回キワニス社会公益賞贈呈式
	1月 15日	会報「名古屋キワニスクラブ」創刊
	4月 13日	第1回囲碁会(名古屋国際ホテル)
	12月 15日	第1回中国文化研究会(タチソウ)
1969年(昭和44年)	8月 1日	週報「BULLETIN」創刊
1970年(昭和45年)	1月 15日	第1回ボーリング大会(トーヨーボーリングセンター)
1971年(昭和46年)	12月	「BULLETIN」KIコンテストで受賞
1972年(昭和47年)	11月 10日	第5回全日本キワニスクラブ合同大会(名古屋国際ホテル)
1973年(昭和48年)	6月 9日	第1回家族旅行会(美濃湖北の旅)
1974年(昭和49年)	1月 18日	名古屋クラブ用バナレット作成
1975年(昭和50年)	3月 27日	第1回キワニス文庫贈呈式
1976年(昭和51年)	8月 27日	第500回例会
	9月 3日	第10回チャーターナイト記念特別例会
1977年(昭和52年)	4月 23日	第1回「キワニスの森」贈呈式(創立10周年記念事業)
1978年(昭和53年)	12月 16日	第1回クリスマス家族会
1979年(昭和54年)	3月 24日	第100回特別囲碁会
1980年(昭和55年)	4月 3日～6日	第6回キワニスアジア太平洋総会(ASPAC) バンコク大会へ名古屋キワニスクラブから参加
1981年(昭和56年)	5月 27日	第1回家庭教育講演会へ協賛
1982年(昭和57年)	6月 18日	「キワニスの森」石碑除幕式
1983年(昭和58年)	7月 3日～6日	第68回年次総会(ウィーン大会)に名古屋キワニスクラブから参加
1984年(昭和59年)	3月 31日	第10回キワニスアジア太平洋総会(ASPAC) ソウル大会で名古屋キワニスクラブ会長がスピーチ
1985年(昭和60年)	1月 19日	第100回ゴルフ会(三好カントリークラブ)
1986年(昭和61年)	9月 5日	名古屋キワニスクラブ創立20周年記念式典
		(徳川美術館へ陶壁画を贈呈、文芸同人誌「作家」に名古屋キワニスクラブ創立20周年記念特別賞を贈呈)

1987年(昭和62年)	2月13日	第1000回例会
	2月16日	第1回雪見と懇親の会(蓬莱)
	8月11日	第200回囲碁会(東海囲碁センター)
1988年(昭和63年)	5月13日	名古屋フィルハーモニーが例会で演奏
1989年(平成元年)	9月7日	第13回日本地区年次総会(名古屋国際ホテル)
1990年(平成02年)	2月23日	「愛知留学生後援会」へ特別寄付
1991年(平成03年)	9月27日	創立25周年記念事業として「愛知留学生後援会」へ奨学金を贈呈
1992年(平成04年)	7月3日	第1回カメラ同好会
1993年(平成05年)	10月14日	第1回禅の会同好会
1994年(平成06年)	4月22日	第20回キワニス文庫贈呈式
1995年(平成07年)	2月17日	「阪神大地震」へ義援金を送る
1996年(平成08年)	5月14日	第300回囲碁会
	9月6日	名古屋キワニスクラブ創立30周年記念式典(ブロンズ像「祝福されし二人」)を寄贈
1997年(平成09年)	6月13日	家族例会 講師:祖父江 文宏氏(子どもの虐待防止ネットワーク・あいち代表) 「いのち見失うとき-そんなにがんばらないで-」
1998年(平成10年)	2月6日	第1500回例会
	9月21日	持出例会「キワニスの森」(第1531回例会)
1999年(平成11年)	4月16日	持出例会「産業技術記念館」(第1556回例会)
2000年(平成12年)	7月14日	持出例会「山梨リニア実験線視察」(第1613回例会)
2001年(平成13年)	11月9日	持出例会「NHK名古屋放送局」(第1671回例会)
2002年(平成14年)	1月15日	第1回AKK・名古屋キワニス国際教育研究助成贈呈式
	3月14日~16日	2004年ASPAC名古屋大会のPRの為、タヒチ大会を視察
2003年(平成15年)	10月10日	キワニスドール寄贈開始(あいち小児保健医療総合センター)
2004年(平成16年)	3月11日~13日	第29回ASPAC名古屋大会開催
2005年(平成17年)	4月1日	通常例会での夜間例会スタート
2006年(平成18年)	9月27日	名古屋キワニスクラブ創立40周年記念式典
		記念講演会
		講師:東京大学名誉教授 月尾 嘉男氏 「子どもたちの科学する心を育てるために」
		記念式典
		名古屋キワニスクラブ賞創設 発明とくふう展優秀作品展示 記念祝賀会(チャーターナイト記念特別例会を兼ねて)

Ⅱ.この10年の歩み

2007年(平成19年)



秋の家族旅行会



秋の家族旅行会



名古屋城本丸御殿の柿板(こけらいた)を名古屋市長に贈呈



発明とくふう展



クリスマス家族会

- 1/12 新年会員懇談会
- 1/26 カメラ同好会
- 2/ 9 総務委員会
- 2/16 事業企画委員会
メンバーシップ委員会
- 3/ 5 幹事会
- 3/ 9 カメラ同好会
リクリエーション委員会
- 3/17 第226回 ゴルフコンペ
(多治見カントリークラブ)
- 3/19 雪見と懇親の会
(オーベルジュ・ド・リル ナゴヤ)
- 4/ 7 キワニスワンデイ
- 4/13 中部ディビジョン会議中部ディビジョン
交流会
- 4/27 財務委員会
- 5/ 9 家庭教育講演会
講師:作家 宗田 理氏
「手本は二宮金次郎」
- 5/11 カメラ同好会
文化公益委員会
- 5/12 春の家族旅行会
(伊勢神宮正式参拝とお木曳行事)
- 5/15 幹事会
- 5/19 第227回 ゴルフコンペ
(花の木ゴルフクラブ)
- 5/25 青少年教育委員会
- 5/26 名古屋城本丸御殿の柿板(こけらいた)を
名古屋市長に贈呈
- 6/ 1 平成19年度臨時総会(第1914回例会)
- 6/15 幹事会
- 6/22 第38回社会公益賞
第33回キワニス文庫贈呈式
(第1917回例会)
- 7/ 6 持出例会「浜岡原子力発電所見学」
(1919回例会)
- 7/13 カメラ同好会
- 7/28 第228回 ゴルフコンペ
(ナガシマカントリークラブ)
- 7/31 納涼と懇親の会
(ラ・ターブル・ドゥ ジョエル ロブション)
- 8/ 3 青少年教育委員会
事業企画委員会
- 8/ 7 第2回納涼と懇親の会
(ラ・ターブル・ドゥ ジョエル ロブション)
- 8/31 第6回カメラ同好会
メンバーシップ委員会
- 9/10 幹事会
- 9/14 第41回チャーターナイト記念特別例会
- 9/15 第229回 ゴルフコンペ
(緑ヶ丘カンツリークラブ)
- 9/21 麻雀大会
青少年教育委員会
- 9/29 名古屋子育てフォーラム
講師:創作あそび作家 谷口 國博氏
「親子で楽しむあそび方」
- 10/ 5 新年度初例会
- 10/12 カメラ同好会
- 10/19 財務委員会
- 10/24 幹事会
- 10/26 平成20年度年次総会(第1933回例会)
事業企画委員会
- 10/20 「あいち青少年少女創意くふう展2007」
特別協賛 名古屋キワニスクラブ賞
- 11/ 3~4 秋の家族旅行会
(京都 冷泉家 金戒光明寺山門 相国寺 善峰寺 光明寺)
- 11/ 9 メンバーシップ委員会
リクリエーション委員会
- 11/16 青少年教育委員会
- 11/17 第230回 ゴルフコンペ
(多治見カントリークラブ)
- 11/30 事業企画委員会
交流委員会
- 12/ 1 「あいち青少年少女創意くふう展2007」
(旧「発明とくふう展」)表彰式
第2回名古屋キワニスクラブ賞贈呈
- 12/ 7 総務委員会
広報委員会
事業企画委員会
カメラ同好会
- 12/14 クリスマス家族会

2008年(平成20年)



雪見と懇親の会
(ラ・グランターブル ドゥ キタムラ)



キワニスゴルフ会
(中京ゴルフ倶楽部 石野コース)



家庭教育講演会



社会公益賞



持出例会「海陽学園と蒲郡プリンス」

- | | | | |
|-------|---|---------|--|
| 1/11 | 新年会員懇談会 | 10/31 | 財務委員会 |
| 2/ 1 | 麻雀大会
文化公益委員会
メンバーシップ委員会 | 11/ 7 | 平成21年度年次総会
幹事会
事業企画委員会 |
| 2/ 8 | カメラ同好会
事業企画委員会 | 11/ 8~9 | 秋の家族旅行会
(源氏物語千年紀探訪とMIHO MUSEUM
への旅)
「あいち少年少女創意くふう展2008」
第3回名古屋キワニスクラブ賞 |
| 2/19 | 雪見と懇親の会
(ラ・グランターブル ドゥ キタムラ) | 11/14 | 持出例会(1980回例会)
「海陽学園と蒲郡プリンス」 |
| 2/29 | 青少年教育委員会 | 11/21 | 事業企画委員会 |
| 3/ 7 | 中部ディビジョン会議 | 12/ 5 | 事業企画委員会 |
| 3/15 | 第231回 ゴルフコンペ
(中京ゴルフ倶楽部 石野コース) | 12/ 6 | 「あいち少年少女創意くふう展2008」
表彰式
第3回名古屋キワニスクラブ賞贈呈 |
| 4/ 5 | キワニスワンデイ | 12/10 | 第235回 ゴルフコンペ
(愛知カンツリー倶楽部) |
| 4/11 | カメラ同好会 | 12/12 | クリスマス家族会 |
| 4/18 | 文化公益委員会 | | |
| 4/25 | 財務委員会 | | |
| 5/14 | 家庭教育講演会
講師:コラムニスト
ジョン ギャスライト氏
「子育ては夢育て ドリームメーカーに
なろう!」 | | |
| 5/14 | 第232回 ゴルフコンペ
(ナガシマカントリークラブ) | | |
| 5/16 | 総務委員会 | | |
| 5/21 | 幹事会 | | |
| 5/30 | 平成20年度臨時総会
(第1958回例会) | | |
| 6/ 6 | 広報委員会 | | |
| 6/ 7 | 春の家族旅行会
(宝塚歌劇公演と宝塚ホテルでの昼食の旅) | | |
| 6/22 | 第39回社会公益賞
第34回キワニス文庫贈呈式
(第1960回例会) | | |
| 7/11 | 青少年教育委員会 | | |
| 7/12 | 名古屋子育てフォーラム
講師:レクリエーションコーディネーター
有本 征世氏
「からだであそぼうおとうさんと一緒」 | | |
| 7/18 | 事業企画委員会 | | |
| 7/25 | 中部ディビジョン交流会
青少年教育委員会 | | |
| 7/26 | 第233回 ゴルフコンペ
(多治見カントリークラブ) | | |
| 8/ 1 | カメラ同好会 | | |
| 8/ 5 | 納涼と懇親の会 於中目劇場
(ウイーンミュージカルエリザベト観劇) | | |
| 8/ 8 | メンバーシップ委員会 | | |
| 9/12 | 第42回チャーターナイト記念特別例会
幹事会 | | |
| 9/19 | 持出例会(1972回例会)
於:全日空ホテルグランコート名古屋
講師:名古屋ボストン美術館館長
馬場 駿吉氏
「名古屋ボストン美術館の現在と将来」 | | |
| 9/26 | 平成20年度臨時総会
(第1973回例会)
麻雀大会 | | |
| 10/ 3 | 新年度初例会 | | |
| 10/ 9 | 第234回 ゴルフコンペ
(中京ゴルフ倶楽部 石野コース) | | |
| 10/10 | カメラ同好会 | | |
| 10/17 | 事業企画委員会 | | |

2009年(平成21年)



麻雀大会



春の家族旅行(岐阜善光寺)



2000回記念例会(的川泰宣氏を囲んで)



AKK・名古屋キワニス国際教育研究助成式

- 1/16 新年会員懇談会
- 1/23 カメラ同好会
- 1/29 広報委員会
- 2/ 3 雪見と懇親の会(ザ・カワブン・ナゴヤ)
- 2/27 事業企画委員会
広報委員会
- 3/ 6 麻雀大会
- 3/13 カメラ同好会
- 3/24 新入会員と役員との懇談会
- 3/28 第236回ゴルフ会
(多治見カントリークラブ)
- 4/ 4 キワニスワンデー
「ドール作りを楽しむ会」
- 4/17 会員懇談会
中部デヴィジョン交流会(新潟)
文化公益委員会
- 5/11 財務委員会
- 5/12 家庭教育講演会
講師:教育評論家 尾木 直樹氏
「子育てを楽しむ
～ケータイ・ネット時代の思春期～」
- 5/16 春の家族旅行会
(伝統の関刀鍛冶と三善光寺めぐり)
- 5/18 幹事会
- 5/22 第2000回記念例会
講師:独立行政法人宇宙航空研究開
発機構 名誉教授
NPO 法人「子ども・宇宙・未来
の会」会長
的川 泰宣氏
記念講演:「宇宙と私たち」
- 5/23 第237回 ゴルフ会
(ナガシマカントリークラブ)
- 5/29 青少年教育委員会
カメラ同好会
- 6/ 5 平成21年度臨時総会(第2002回例会)
幹事会
- 6/19 第40回社会公益賞
第35回キワニス文庫贈呈式
(第2004回例会)
- 7/11 第238回 ゴルフ会
(ベルフラワーカントリー倶楽部)
- 7/11 第12回なごや子育てフォーラム
講師:ファミリーソングシンガー
山野 さと子氏
「おやこでたのしく うたってあそぼう」
- 7/31 メンバーシップ委員会
- 8/ 4 納涼と懇親の会(中国料理 梨杏茶樓)
- 8/ 7 事業企画委員会
カメラ同好会
- 8/21 青少年教育委員会
- 9/ 4 第43回チャーターナイト記念特別例会
総務委員会
- 9/ 8 第239回 ゴルフ会
(中京ゴルフ倶楽部 石野コース)
- 9/18 幹事会
- 9/25 平成21年度臨時総会(第2016回例会)
AKK・名古屋キワニス国際教育研究
助成式
- 10/ 2 新年度初例会
カメラ同好会
- 10/ 9 財務委員会
- 10/14 幹事会
- 10/16 リクリエーション委員会
- 10/23 平成22年度第1回通常総会
(第2020回例会)
事業企画委員会
青少年教育委員会
- 10/30 交流委員会
メンバーシップ委員会
- 10/31~11/ 1 秋の家族旅行会
(国宝姫路城と播磨路を訪ねる旅)
- 11/ 7~8 「あいち青少年少女創意くふう展2009」
特別協賛 名古屋キワニスクラブ賞
- 11/ 8 第1回里親フォーラムあいち
講師:社団法人家庭養護促進協会
神戸事務所 米沢 普子氏
「子どもの心に寄り添う」
- 11/20 事業企画委員会
- 11/25 第240回 ゴルフ会
(ナガシマカントリークラブ)
- 11/27 日本地区ガバナーとの懇談会
- 12/ 4 カメラ同好会
事業企画委員会
文化公益委員会
- 12/ 5 「あいち青少年少女創意くふう展2009」
表彰式
第4回名古屋キワニスクラブ賞贈呈
- 12/ 7 音楽と観劇の会(NAGOYA Blue Note)
渡辺貞夫 Sadao Plays Be Bop with
Kenny Garrett
- 12/11 クリスマス家族会

2010年(平成22年)

屋キワニスクラブ 新年会員懇談会



新年会員懇談会



雪見と懇親の会
(ザ・ベットラ・ダ・オチアイナゴヤ)



持出例会 井村屋製菓工場見学



納涼と懇親の会 (広東料理 茗圃)



秋の旅行会 (高山・飛騨古川)

- 1/15 新年会員懇談会
- 1/29 カメラ同好会
広報委員会
- 2/10 雪見と懇親の会
(ザ・ベットラ・ダ・オチアイナゴヤ)
- 2/19 青少年教育委員会
- 2/26 麻雀大会
文化公益委員会
- 3/19 持出例会 井村屋製菓本社工場見学
(第2036回例会)
- 3/24 音楽と観劇の会(中日劇場)
ミュージカル「レベッカ」
- 3/26 中部ディビジョン交流会
-新潟クラブ、静岡クラブを迎えて-
- 3/27 第241回 ゴルフ会
(多治見カントリークラブ)
- 4/ 1 文化公益委員会
- 4/ 2 カメラ同好会
- 4/ 9 幹事会
- 4/10 キワニスワンデー
「ドール作りを楽しむ会」
- 4/16 メンバースhip委員会
- 5/ 6 財務委員会
- 5/12 家庭教育講演会
講師:精神科医 明橋 大二氏
「子育てでハッピーアドバイス
~自己肯定感を育む子育てを考える~」
- 5/14 カメラ同好会
- 5/20 第242回 ゴルフ会
(三好カントリー倶楽部)
- 5/22 春の家族旅行会
(平成遷都1300年祭の奈良「當麻寺」の拝
観と奈良ホテルで楽しむフレンチの旅)
- 5/28 第41回社会公益賞
第36回キワニス文庫贈呈式
(第2045回例会)
幹事会
- 5/28 音楽と観劇の会(御園座)
歌舞伎「五月花形歌舞伎」
- 6/ 4 平成22年度第2回通常総会
(第2046回例会)
キワニスドールを作る会
- 6/20 第2回里親フォーラムあいち
講師:中部大学現代教育学部
児童教育学科教授 吉田 直子氏
「子どもの個性に合った子育てスタイル
を見つけよう」
- 7/ 3 第13回なごや子育てフォーラム
講師:レクリエーションコーディネーター
有本 征世氏
「おやこでたのしくからだを使って遊
ぼう」
- 7/ 9 事業企画委員会
- 7/16 カメラ同好会
- 7/23 幹事会
- 7/24 第243回 ゴルフ会
(バルフラワーカントリー倶楽部)
- 7/30 事業企画委員会
- 8/ 4 納涼と懇親の会(広東料理 茗圃)
- 8/ 6 事業企画委員会
- 8/ 8~22 なごや子ども City 2010
- 8/27 AKK・名古屋キワニス国際教育研究助成
贈呈式
麻雀大会
- 9/10 第44回チャーターナイト記念特別例会
幹事会
- 9/14 第244回 ゴルフ会
(中京ゴルフ倶楽部 石野コース)
- 9/17 カメラ同好会
メンバースhip委員会
- 9/24 平成22年度第3回通常総会
(第2060回例会)
- 9/25 AKK・名古屋キワニス国際教育研究助成
- 10/ 1 新年度初例会
青少年教育委員会
- 10/ 4 音楽と観劇の会(御園座)
歌舞伎「吉例顔見世」
- 10/ 8 リクリエーション委員会
- 10/15 事業企画委員会
総務委員会
- 10/18 音楽と観劇の会(御園座)
歌舞伎「吉例顔見世」夜の部
- 10/21 財務委員会
- 10/27 幹事会
- 10/28 事業企画委員会
- 10/30~31 秋の家族旅行会
(上高地 帝国ホテルのフレンチと高山・
飛騨古川を訪ねる旅)
- 11/ 5 平成23年度第1回通常総会
(第2066回例会)
交流委員会
- 11/ 6~7 「あいち少年少女創意くふう展2010」
特別協賛 名古屋キワニスクラブ賞
- 11/12 カメラ同好会
- 11/19 事業企画委員会
- 11/25 第245回 ゴルフ会
(ナガシマカントリークラブ)
- 11/26 事業企画委員会
日本地区ガバナーとの懇談会
- 12/ 3 事業企画委員会
- 12/ 4 「あいち少年少女創意くふう展2010」
表彰式
第5回名古屋キワニスクラブ賞贈呈
- 12/10 クリスマス家族会

2011年(平成23年)



キワニスワンデー



秋の家族旅行会(黒部峡谷)



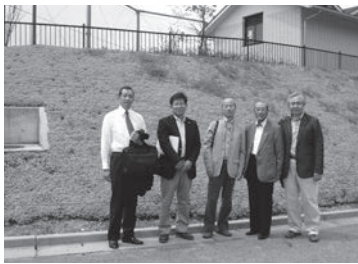
秋の家族旅行会(瑞龍寺)



クリスマス家族会

- 1/14 新年会員懇談会
- 1/21 カメラ同好会
青少年教育委員会
- 1/28 麻雀大会
- 2/ 9 雪見と懇親の会(料亭 か茂免)
- 2/23 音楽と観劇の会(中日劇場)
宝塚歌劇「星組公演」
- 2/25 中部デビジョン交流会
カメラ同好会
- 3/ 4 青少年教育委員会
- 3/13 第3回里親フォーラムあいち
講師:家庭養護促進協会 理事
岩崎 美枝子氏
「子どもとの出会い、そしていつか来る思春期」
- 3/18 東日本大震災義援金を寄贈
(ハッピーボックスより)
- 3/24 第246回ゴルフ会
(多治見カントリークラブ)
- 3/25 事業企画委員会
新設クラブに向けての会議
- 4/ 2 キワニスワンデー
- 4/ 8 幹事会
広報委員会
文化公益委員会
- 4/15 カメラ同好会
- 4/24 音楽と観劇の会(中日劇場)
落語「東西特選落語会」
- 4/26 持出例会
名古屋市科学館プラネタリウムドーム見学会
- 5/10 家庭教育講演会
講師:辻井 いつ子氏
(辻井 信行さんのお母様)
「この子らしく~子どもの可能性を信じ、どう引き出すか~」
- 5/10 第247回 ゴルフ会
(ベルフラワーカントリー倶楽部)
- 5/19 財務委員会
- 5/23 幹事会
- 5/27 平成23年度第2回通常総会
(第2087回例会)
メンバーシップ委員会
新設クラブ開設についての会議
- 5/28 春の家族旅行会
(京都歴史探訪としょうざん千寿閣・溪流床で楽しむ川床料理)
- 6/ 5 第4回里親フォーラムあいち
講師:日本ファミリーホーム協議会
事務局長 岩狭 一廣氏
「あなたと作るぬくもり家族-里親の心、里子の気持ち-」
- 6/10 第42回社会公益賞
第37回キワニス文庫贈呈式
(第2089回例会)
- 7/ 1 新設クラブ開設についての会議
- 7/10 第14回なごや子育てフォーラム
講師:創作あそび作家 谷口 國博氏
「おやこでたのしくうたおう・あそぼう!!」
- 7/16 第248回 ゴルフ会
(藤岡カントリークラブ)
- 7/22 AKK・名古屋キワニス国際教育研究
助成贈呈式
総務委員会
- 7/29 麻雀大会
事業企画委員会
新設クラブ開設についての会議
- 8/ 2 納涼と懇親の会
(フランス料理 ミクニナゴヤ)
- 8/ 5 財務委員会
- 8/26 新設クラブ開設についての会議
- 9/ 2 第45回チャーターナイト記念特別例会
- 9/14 第249回 ゴルフ会
(中京ゴルフ倶楽部 石野コース)
- 9/16 幹事会
青少年教育委員会
- 9/30 平成23年度第3回通常総会
(第2102回例会)
新設クラブ開設についての会議
- 10/ 7 新年度初例会
- 10/11 音楽と観劇の会(御園座)
歌舞伎「吉例顔見世」
- 10/14 財務委員会
- 10/17 音楽と観劇の会(御園座)
歌舞伎「吉例顔見世」夜の部
- 10/28 幹事会
事業企画委員会
- 10/29~30 秋の家族旅行会
(宇奈月温泉と秘境・黒部峡谷をトロッコ列車で観光する旅)
- 10/29~30 「あいち少年少女創意くふう展 2011」
特別協賛 名古屋キワニスクラブ賞
平成24年度第1回通常総会
(第2107回例会)
文化公益委員会
- 11/ 4 青少年教育委員会
事業企画委員会
- 11/18 第250回 ゴルフ会
(ナガシマカントリークラブ)
- 11/22 キワニスドールを作る会
新設クラブ開設についての会議
- 11/24 事業企画委員会
- 11/25 「あいち少年少女創意くふう展 2011」
表彰式
第6回名古屋キワニスクラブ賞贈呈
- 12/ 2 クリスマス家族会
- 12/ 4 文化公益委員会
- 12/ 9
- 12/16

2012年(平成24年)



キワニスワンター (キワニスの森)



春の旅行 スカイツリー



なごや子育てフォーラム



日本地区ガバナー公式訪問役員懇談会

- | | | |
|------|--|---|
| 1/13 | 新年会員懇談会 | 講師: NHK「おかあさんといっしょ」 |
| 1/17 | 音楽と観劇の会(名古屋ビッグトップ)
「シルクドソレイユ KOOZA(クーザ)」 | 8代目 体操のお兄さん
大妻女子大学教授 |
| 1/20 | 文化公益委員会 | 日本遊育研究所主宰 |
| 1/25 | 中部ディビジョン交流会(静岡) | 瀬戸口 清文氏 |
| 1/26 | キワニスドールを作る会 | 「おやこでげんきにのびのび・わくわく!!」 |
| 1/27 | 麻雀大会 | 7/20 事業企画委員会 |
| 2/10 | 文化公益委員会
事業企画委員会 | 7/21 第253回 ゴルフ会(藤岡カントリークラブ) |
| 2/10 | 音楽と観劇の会(御園座)
歌舞伎「二月花形歌舞伎」 | 7/26 音楽と観劇の会(愛知県芸術劇場)
ミュージカル「ミス・サイゴン」 |
| 2/15 | 雪見と懇親の会(河文) | 7/29 音楽と観劇の会(御園座)
「桂三枝改め六代桂文枝襲名披露公演」 |
| 2/17 | 幹事会
リクリエーション委員会
新設クラブ会議 | 8/ 2 納涼と懇親の会(暮雨港 別館) |
| 2/22 | 音楽と観劇の会(中日劇場)
宝塚歌劇「宙組公演」 | 8/10 事業企画委員会 |
| 2/29 | キワニスドールを作る会 | 8/24 「キワニスの森」石碑の移設 |
| 3/ 2 | 文化公益委員会 | 8/26 音楽と観劇の会(中日劇場)
ミュージカル「エリザベート」 |
| 3/ 4 | 第5回里親フォーラムあいち
講師: 青山学院女子短期大学子ども
学科准教授 横堀 昌子氏 | 8/29 キワニスドールを作る会 |
| | 「家庭に育つ、家族を生きる
～横堀ホーム三十年の実績とともに歩んで～」 | 9/11 キワニスドールを作る会 |
| 3/23 | 幹事会
文化公益委員会 | 9/14 第46回チャーターナイト記念特別例会 |
| 3/24 | 第251回 ゴルフ会(多治見カントリークラブ) | 9/20 第254回 ゴルフ会
(中京ゴルフ倶楽部 石野コース) |
| 4/13 | 文化公益委員会 | 9/21 麻雀大会 |
| 4/21 | キワニスワンター
「キワニスの森」で植樹と見学 | 幹事会 |
| 5/ 8 | 家庭教育講演会
講師: 東北大学加齢医学研究所教授
川島隆太氏(脳を鍛える大人のDS
トレーニング 監修) | 9/28 平成24年度第3回通常総会
(第2146回例会) |
| | 「脳科学から見た子どもの望ましい生
活習慣」 | 青少年教育委員会 |
| 5/18 | 財務委員会
メンバーシップ委員会 | 10/ 5 新年度初例会
リクリエーション委員会
メンバーシップ委員会 |
| 5/21 | 幹事会 | 10/11 音楽と観劇の会(御園座)
歌舞伎「吉例顔見世」昼の部 |
| 5/23 | 第252回 ゴルフ会(愛知カントリー倶楽部) | 10/12 文化公益委員会 |
| 5/25 | 平成24年度第2回通常総会
(第2130回例会) | 10/17 音楽と観劇の会(御園座)
歌舞伎「吉例顔見世」夜の部 |
| 5/29 | キワニスドールを作る会 | 10/19 財務委員会 |
| 6/ 1 | 総務委員会 | 10/23 幹事会 |
| 6/ 2 | 春の家族旅行会(水上バスで訪ねる東京
スカイツリータウンと浅草雷門・浅草寺の旅) | 10/24 キワニスドールを作る会 |
| 6/ 6 | 音楽と観劇の会(御園座)
歌舞伎「六月大歌舞伎」夜の部 | 10/26 事業企画委員会 |
| 6/15 | 音楽と観劇の会(NAGOYA Blue Note)
「大橋 純子ライブ」 | 11/ 2 平成25年度第1回通常総会
(第2151回例会) |
| 6/17 | 第6回里親フォーラムあいち
講師: 神奈川県立保健福祉大学教授
新保 幸男氏 | 11/ 3～4
「あいち青少年少女創意くふう展2012」
特別協賛 名古屋キワニスクラブ賞 |
| | 「人が人とかかわるということ
～一人ひとりの個性を大切にすること、里子
と里親と児童福祉専門職の相互関係も～」 | 11/ 4 秋の家族旅行会(京都歴史探訪第二弾・
京都ホテルオークラの中華料理を楽しむ旅) |
| 6/22 | 第43回社会公益賞
第38回キワニス文庫贈呈式
(第2134回例会) | 11/ 9 メンバーシップ委員会 |
| 6/28 | 中日ドラゴンズ観戦会(ナゴヤドーム) | 11/14 第255回 ゴルフ会(涼仙ゴルフ倶楽部) |
| 7/ 5 | キワニスドールを作る会 | 11/15 キワニスドールを作る会 |
| 7/14 | 第15回なごや子育てフォーラム | 11/16 日本地区ガバナー公式訪問役員懇談会
事業企画委員会 |
| | | 12/ 7 文化公益委員会
事業企画委員会
総務委員会 |
| | | 12/ 8 「あいち青少年少女創意くふう展2012」
表彰式
第7回名古屋キワニスクラブ賞贈呈 |
| | | 12/14 クリスマス家族会 |
| | | 12/16 音楽と観劇の会
(愛知県芸術劇場コンサートホール)
辻井伸行日本ツアー 2012/13 |

2013年(平成25年)



春の家族旅行会(出雲大社)



社会公益賞・キワニス文庫贈呈式



納涼と懇親の会
(ラ・フロレゾン・ドウ・タケウチ)



通常例会 講師 鈴木 明子氏



チャーターナイト記念特別例会

- | | | | |
|---------|--|---------|---|
| 1/11 | 新年会員懇談会 | | |
| 1/16 | キワニスドールを作る会 | 7/18 | 「親子で体を動かしたり歌ったりする」
音楽と観劇の会(愛知県体育館)
大相撲名古屋場所 |
| 1/18 | 総務委員会 | | |
| | 文化公益委員会 | 7/20 | 第258回 ゴルフ会
(中京ゴルフ倶楽部 石野コース) |
| 1/25 | 麻雀大会 | | |
| | メンバーシップ委員会 | 7/23 | キワニスドールを作る会 |
| 2/14 | 雪見と懇親の会(蓬萊軒本店) | 7/30 | 納涼と懇親の会
(ラ・フロレゾン・ドウ・タケウチ) |
| 2/15 | 事業企画委員会 | 8/ 1 | 納涼と懇親の会
(ラ・フロレゾン・ドウ・タケウチ) |
| 2/20 | キワニスドールを作る会 | 8/ 8 | 納涼と懇親の会
(ラ・フロレゾン・ドウ・タケウチ) |
| 2/22 | 文化公益委員会 | 8/ 9 | 事業企画委員会 |
| 3/ 8 | 中部ディビジョン交流会(広島) | 8/23 | 麻雀大会
幹事会 |
| 3/13 | 音楽と観劇の会(中日劇場)
「宝塚歌劇100周年記念プレ公演(星組)」 | 9/13 | 第47回チャーターナイト記念特別例会
事業企画委員会 |
| 3/13 | キワニスドールを作る会 | 9/18 | キワニスドールを作る会 |
| 3/15 | 文化公益委員会
幹事会 | 9/20 | 幹事会 |
| 3/17 | 第7回里親フォーラムあいち
講師:ライター・全国里親だより編集
委員 村田 和木氏
「今こそ“里親力”を高めよう」 | 9/26 | 第259回 ゴルフ会(藤岡カントリークラブ) |
| 3/18 | 音楽と観劇の会(御園座)
歌舞伎「三月大歌舞伎」昼の部 | 9/27 | 平成25年度第3回通常総会
(第2188回例会) |
| 3/23 | 第256回 ゴルフ会
(多治見カントリークラブ) | 9/29 | 音楽と観劇の会(NAGOYA Blue Note)
ライブ「トワ・エ・モワ」 |
| 3/25 | 音楽と観劇の会(御園座)
歌舞伎「三月大歌舞伎」夜の部 | 10/ 1 | 青少年教育委員会 |
| 4/ 5 | 青少年教育委員会 | 10/ 4 | 新年度初例会 |
| 4/10 | 文化公益委員会 | 10/11 | 事業企画委員会 |
| 4/18 | キワニスドールを作る会 | 10/13 | 音楽と観劇の会(中日劇場)
ミュージカル「レ・ミゼラブル」 |
| 5/ 8 | 家庭教育講演会
講師:LLPことばの社代表 元NHK
アナウンス室長 山根 基世氏
「もう一度考えたい『ことばの力』」 | 10/17 | キワニスドールを作る会 |
| 5/ 8 | 幹事会 | 10/18 | 財務委員会
青少年教育委員会 |
| 5/10 | 麻雀大会 | 10/20 | 秋の家族旅行会
(近鉄観光特急しまかぜに乗る!伊勢神宮
参拝と悠季の里) |
| | メンバーシップ委員会 | 10/21 | 幹事会 |
| 5/17 | 財務委員会
幹事会 | 10/25 | 文化公益委員会 |
| 5/18~19 | 春の家族旅行会
(平成の大遷宮出雲大社正式参拝と足立
美術館を訪ねる旅) | 11/ 1 | 平成26年度第1回通常総会
(第2193回例会)
事業企画委員会 |
| 5/21 | キワニスドールを作る会 | 11/ 2~3 | 「あいち青少年少女創意くふう展2013」
特別協賛 名古屋キワニスクラブ賞 |
| 5/23 | 第257回 ゴルフ会
(三好カントリー倶楽部) | 11/14 | 第260回 ゴルフ会(涼仙ゴルフ倶楽部) |
| 5/25 | キワニスワンデー
講師:名古屋掖済会病院主任看護師
小児救急看護認定看護師
小山田 恵氏
「キワニスドールがどのように活用され
ているか」 | 11/15 | メンバーシップ委員会 |
| | | 11/21 | キワニスドールを作る会 |
| 5/31 | 平成25年度第2回通常総会
(第2173回例会) | 11/22 | 持出例会 料亭松楓閣 |
| 6/ 1 | 音楽と観劇の会(中日劇場)
文楽「曾根崎心中」 | 11/29 | 事業企画委員会 |
| 6/ 7 | 会員懇談会(第2174回例会) | 12/ 6 | 総務委員会
文化公益委員会
事業企画委員会 |
| 6/21 | 第44回社会公益賞
第39回キワニス文庫贈呈式
(第2176回例会) | 12/ 7 | 「あいち青少年少女創意くふう展2013」
表彰式
第8回名古屋キワニスクラブ賞贈呈 |
| 6/26 | キワニスドールを作る会 | 12/11 | 事業企画委員会 |
| 7/ 6 | 第16回なごや子育てフォーラム
講師:体操指導者 瀬戸口 清文氏 | 12/13 | クリスマス家族会 |

2014年(平成26年)



新年会員懇談会



キワニスワンデー



春の家族旅行会(比叡山)



秋の家族旅行会(松本城)



クリスマス家族会

- 1/10 新年会員懇談会
- 1/17 幹事会
- 1/22 キワニスドールを作る会
- 2/ 6 雪見と懇親の会(荻舌両論)
- 2/ 7 麻雀大会
- 文化公益委員会
- メンバーシップ委員会
- 2/14 事業企画委員会
- 2/18 キワニスドールを作る会
- 2/21 中部ディビジョン交流会
- 2/28 会員懇談会(第2206回例会)
- 文化公益委員会
- 青少年教育委員会
- 3/ 7 広報委員会
- 3/11 キワニスドールを作る会
- 3/22 第261回 ゴルフ会
(多治見カントリークラブ)
- 3/28 幹事会
- 文化公益委員会
- 4/ 5 音楽と観劇の会(中日劇場)
ミュージカル「タディ・ロング・レッグス
～足ながおじさんより～」
- 4/ 5 キワニスワンデー
講師:津島市教育長 武藤 育雄氏
「いじめ問題への対応」
- 4/ 9 キワニスドールを作る会
- 4/13 音楽と観劇の会(中日劇場)
落語「中日特選落語会」
- 4/18 青少年教育委員会
- 5/ 7 家庭教育講演会
講師:サイエンスナビゲーター 桜井 進氏
「親子で楽しむ数の世界
～広がる親子のコミュニケーション」
- 5/ 7 財務委員会
- 5/ 9 麻雀大会
- メンバーシップ委員会
- 5/15 キワニスドールを作る会
- 5/20 第262回 ゴルフ会
(ナガシマカントリークラブ)
- 5/23 幹事会
- 5/30 平成26年度第2回通常総会
(第2217回例会)
- 6/ 1 春の家族旅行会
(比叡山延暦寺阿闍梨特別法話と特別拝観)
- 6/ 8 第8回里親フォーラムあいち
講師:九州大学大学院人間環境学研究院
教授 田嶋 誠一氏
「成長の基盤としての安心・安全
～希望を育むために～」
- 6/13 第45回社会公益賞
第40回キワニス文庫贈呈式
(第2219回例会)
- 6/17 キワニスドールを作る会
- 7/ 5 第17回なごや子育てフォーラム
講師:大友 剛氏、鈴木 翼氏
(NHK子ども向け番組ご出演)
「親子で楽しく歌ったり体を動かしたりして遊ぼう」
- 7/25 事業企画委員会
- 7/26 第263回 ゴルフ会
(中京ゴルフ倶楽部 石野コース)
- 7/30 納涼と懇親の会(日本料理 加瀬)
- 8/ 1 事業企画委員会
- 8/22 総務委員会
- 9/12 第48回チャーターナイト記念特別例会
- 9/17 第264回 ゴルフ会
(セントクリークゴルフクラブ)
- 9/18 音楽と観劇の会(中日劇場)
ミュージカル「レディ・ベス」
- 9/18 キワニスドールを作る会
- 9/19 幹事会
- 総務委員会
- 文化公益委員会
- 9/26 平成26年度第3回通常総会
(第2231回例会)
- 10/ 3 新年度初例会
- 10/ 9 音楽と観劇の会(日本特殊陶業市民会館)
歌舞伎「吉例顔見世」昼の部
- 10/10 青少年教育委員会
- 10/15 音楽と観劇の会(日本特殊陶業市民会館)
歌舞伎「吉例顔見世」夜の部
- 10/20 財務委員会
- 10/21 キワニスドールを作る会
- 10/23 幹事会
- 10/24 文化公益委員会
- 事業企画委員会
- リクリエーション委員会
- 11/1~2 「あいち少年少女創意くふう展2014」
特別協賛 名古屋キワニスクラブ賞
- 11/ 7 平成27年度第1回通常総会
(第2237回例会)
- 事業企画委員会
- メンバーシップ委員会
- 11/11 第265回 ゴルフ会(藤岡カントリークラブ)
- 11/15~16 秋の家族旅行会
(松本歴史探訪と諏訪巡りの旅)
- 11/21 総務委員会
- 11/27 キワニスドールを作る会
- 12/ 5 事業企画委員会
- 12/ 6 「あいち少年少女創意くふう展2014」
表彰式
第9回名古屋キワニスクラブ賞贈呈
- 12/12 クリスマス家族会
- 12/19 音楽と観劇の会(中日劇場)
ミュージカル「アリス・イン・ワンダーランド」

2015年(平成27年)



雪見と懇親の会(御懐石志ら玉)



春の家族旅行会(高野山)



キワニスワンデー



あいち少年少女創意くふう展



クリスマス会

- 1/ 9 新年会員懇談会
- 1/23 文化公益委員会
麻雀大会
事業企画委員会
- 1/28 幹事会
- 1/29 キワニスドールを作る会
- 1/30 文化公益委員会
- 2/ 4 雪見と懇親の会(御懐石 志ら玉)
- 2/16 音楽と観劇の会(中日劇場)
宝塚歌劇「風と共に去りぬ」
幹事会
- 2/20 中部ディビジョン会議
メンバーシップ委員会
- 3/13 平成27年度臨時総会
国際標準クラブ規約を採択
- 3/20 事業企画委員会
文化公益委員会
- 3/21 第266回ゴルフ会
(多治見カントリークラブ)
- 3/30 選挙管理委員会
- 4/ 3 事業企画委員会
選挙管理委員会
- 4/ 5 音楽と観劇の会(中日劇場)
歌舞伎「花形歌舞伎」昼の部
- 4/10 文化公益委員会
推薦委員会
- 4/15 キワニスドールを作る会
- 4/17 推薦委員会
- 4/20 財務委員会
- 4/22 音楽と観劇の会(中日劇場)
歌舞伎「花形歌舞伎」夜の部
- 4/24 50周年準備委員会
- 4/29 音楽と観劇の会(中日劇場)
落語「中日特選落語会」
- 5/ 8 幹事会
選挙管理委員会
- 5/12 家庭教育講演会
講師:石川 結貴氏(作家・ジャーナリスト)
「生き生きと活躍する子どもを育むために
～子どもを取り巻く現状から考えて～」
- 5/14 文化公益委員会
- 5/15 平成27年度第2回通常総会
(第2259回例会)
青少年教育委員会
- 5/21 幹事会
- 5/22 50周年記念事業準備委員会
- 5/24 キワニスワンデー
「子どもたちとキワニアンとのふれあいの一日」
- 5/26 キワニスドールを作る会
- 5/29 事業企画委員会
- 6/ 2 文化公益委員会
- 6/10 第267回 ゴルフ会
(ナガシマカントリークラブ)
- 6/19 メンバーシップ委員会
- 6/25 キワニスドールを作る会
- 6/26 幹事会
事業企画委員会
- 6/27~28 春の家族旅行会
(開創1200年の高野山巡拝)
- 7/ 3 第46回社会公益賞
第41回キワニス文庫贈呈式
(第2266回例会)
- 7/ 3 50周年準備委員会
- 7/11 第18回名古屋子育てフォーラム
講師:大友 剛氏、鈴木 翼氏
(NHK子ども向け番組ご出演)
「親子で楽しく歌ったり体を動かしたりして遊ぼう」
- 7/11 第9回里親フォーラムあいち
講師:医療法人聖粒会相談役
田尻 由貴子氏
「子どもに愛情ある家庭を
～SOS相談からの学び～」
- 7/25 第268回 ゴルフ会
(ベルフラワーカントリークラブ)
- 7/28 音楽と観劇の会(愛知県芸術劇場)
音楽劇「ライムライト」
- 8/ 4 納涼と懇親の会(中国料理 王朝)
- 8/21 50周年記念事業準備委員会
- 9/ 7 財務委員会
- 9/11 第49回チャーターナイト記念特別例会
幹事会
- 9/15 キワニスドールを作る会
- 9/18 事業企画委員会
- 9/25 平成27年度第3回通常総会
(第2276回例会)
麻雀大会
- 9/30 第269回 ゴルフ会
(中京ゴルフ倶楽部 石野コース)
- 10/ 2 新年度初例会
- 10/ 5 音楽と観劇の会
(日本特殊陶業市民会館)
歌舞伎「吉例顔見世」昼の部
- 10/14 キワニスドールを作る会
- 10/15 音楽と観劇の会
(日本特殊陶業市民会館)
歌舞伎「吉例顔見世」夜の部
- 10/16 財務委員会
文化公益委員会
- 10/23 メンバーシップ委員会
事業企画委員会
- 10/27 役員会
- 10/31~11/ 1 「あいち少年少女創意くふう展2015」
特別協賛 名古屋キワニスクラブ賞
- 11/ 6 平成28年度第1回通常総会
(第2282回例会)
- 11/17 第270回 ゴルフ会
(京和カントリー倶楽部)
- 11/19 キワニスドールを作る会
- 11/21 秋の家族旅行会
(気比神宮とタグ付越前ガニを堪能する旅)
- 11/27 事業企画委員会
- 12/ 4 総務委員会
文化公益委員会
- 12/ 5 「あいち少年少女創意くふう展2015」
表彰式
第10回名古屋キワニスクラブ賞贈呈
- 12/11 事業企画委員会
- 12/15 事業企画委員会
- 12/18 クリスマス会
- 12/22 音楽と観劇の会(中日劇場)
舞台「放浪記」

2016年(平成28年)



雪見と懇親の会(中国料理 梨花)



里親フォーラムあいち



春の旅行会(新緑の京の旅)



なごや子育てフォーラム



納涼と懇親の会(日本料理 つる家)

- | | | |
|------|--|---|
| 1/15 | 新年会員懇談会 | 前副理事長、国際宇宙航行連盟会長 |
| 1/21 | キワニスクールを作る会 | 樋口 清司氏「私たちは地球人」 |
| 1/22 | 麻雀大会 | 講師:宇宙飛行士、日本宇宙少年団 |
| 1/29 | 50周年記念事業実行委員会
文化公益委員会 | (YAC)アドバイザー 山崎 直子氏 |
| 2/12 | 中部ディビジョン会議
役員会 | 7/10 音楽と観劇の会(愛知県芸術劇場大ホール)
ミュージカル
「天使にラブソングを〜シスターアクト〜」 |
| 2/17 | キワニスクールを作る会 | 7/22 事業企画委員会 |
| 2/23 | 雪見と懇親の会(中国料理 梨花) | 7/29 第47回社会公益賞
第42回キワニス文庫贈呈式
(第2314回例会) |
| 2/26 | 文化公益委員会
ASPAC説明会 | 麻雀大会 |
| 3/ 1 | 音楽と観劇の会(中日劇場)
ミュージカル「Ernest in Love(アーネスト・インラブ)」 | 8/ 1 納涼と懇親の会(日本料理 つる家) |
| 3/ 4 | 事業企画委員会 | 8/ 5 役員会 |
| 3/ 6 | 青少年教育委員会 | 50周年記念事業実行委員会 |
| 3/ 6 | 第10回里親フォーラムあいち
講師:森田 ゆり氏
「生きるちからを引き出す子育て
〜エンパワメントと子どもの人権〜」 | 8/26 50周年記念事業実行委員会 |
| 3/17 | キワニスクールを作る会
役員会 | 9/ 2 創立50周年記念講演会・式典・祝賀会
(第2318回例会)
(名古屋マリオットアソシアホテル)
講師:マリ・クリスティーン氏
(異文化コミュニケーター、
元・愛知万博広報プロデューサー) |
| 3/25 | 50周年記念実行委員会 | 「今を生きる―世界の女性と子どもたち―」 |
| 3/26 | 第271回ゴルフ会
(多治見カントリークラブ) | 9/15 キワニスクールを作る会 |
| 4/ 8 | 選挙管理委員会 | 9/17 第273回ゴルフ会
(中京ゴルフ倶楽部 石野コース) |
| 4/ 9 | 音楽と観劇の会(愛知県芸術劇場)
ミュージカル「ジキルとハイド」 | 9/23 会員懇談会 精勤賞表彰式
(第2319回例会) |
| 4/15 | 事業企画委員会
メンバーシップ委員会
文化公益委員会 | メンバーシップ委員会
財務委員会 |
| 4/22 | 50周年記念事業実行委員会
役員会 | 9/27 役員会 |
| 4/26 | キワニスクールを作る会 | 9/30 平成28年度第3回通常総会
(第2321回例会) |
| 4/29 | 音楽と観劇の会(中日劇場)
落語「桂米朝追善 米朝一門会」 | 10/ 3 音楽と観劇の会(日本特殊陶業市民会館)
歌舞伎「吉例顔見世」 |
| 5/10 | 家庭教育講演会 講師:後藤 恭子氏
(タニタの社員食堂を立ち上げた管理栄養士)
「家族そろって楽しい食事
〜親子で考える食育〜」 | 10/ 7 新年度初例会 |
| 5/13 | 平成28年度第2回通常総会
(第2303回例会) | 10/11 音楽と観劇の会(愛知県芸術劇場大ホール)
「三輪宏朗ロマンティック音楽会」 |
| 5/17 | 第272回ゴルフ会
(藤岡カントリークラブ) | 10/14 音楽と観劇の会(日本特殊陶業市民会館)
歌舞伎「吉例顔見世」 |
| 5/19 | キワニスクールを作る会 | 10/19 キワニスクールを作る会 |
| 5/27 | 50周年記念事業実行委員会 | 10/21 総務委員会
事業企画委員会
青少年教育委員会 |
| 5/29 | 春の旅行会(新緑の京の旅〜美しい渓谷
が広がる大寺院 東福寺特別拝観〜) | 10/28 文化公益委員会 |
| 6/10 | 青少年教育委員会 | 11/ 2 財務委員会 |
| 6/17 | 文化公益委員会 | 11/ 4 役員会 |
| 6/22 | キワニスクールを作る会 | 音楽と観劇の会(名古屋四季劇場)
「劇団四季 リトルマーメイド」 |
| 6/24 | 役員会 | 11/11 平成29年度第1回通常総会
(第2327回例会) |
| 6/30 | 音楽と観劇の会(in NAGOYA Blue Note)
ライブ「渡辺真知子」 | 11/12~13 秋の旅行会(晴れの国 岡山倉敷満喫の旅) |
| 7/ 1 | 50周年記念事業実行委員会 | 11/17 第274回ゴルフ会
(京和カントリー倶楽部) |
| 7/ 2 | 第19回なごや子育てフォーラム
講師:ロケットくれよん
(山口 たかし氏・高田 さとし氏)
「おやこでふれあい こころ ほかほか」 | 11/18 事業企画委員会 |
| 7/ 9 | キワニスワンデー
(名古屋科学館サイエンスホール)
創立50周年記念事業特別講演会
講師:宇宙航空研究開発機構(JAXA) | 11/24 キワニスクールを作る会 |
| | | 12/ 2 中部ディビジョン会議 |
| | | 12/ 9 役員会
事業企画委員会 |
| | | 12/16 クリスマス会 |

例会の記録

2007年度(平成19年度)

回数	日付	講師	演題
第1886回例会	10月6日	新年度初例会	
第1887回例会	10月13日	東海旅客鉄道株式会社 顧問 高木 弘(会員)	大腸ガンの話
第1888回例会	10月20日	金城学院高等学校 元教諭 佐々 頌	仕事より命
第1889回例会	10月27日	年次総会	
第1890回例会	11月10日	子どもの虐待防止ネットワーク・あいち (CAPNA) 理事長 弁護士 岩城 正光	家族の間にのみこまれた子どもたち
第1891回例会	11月17日	株式会社小堀酒造 社長 小堀 幸穂	原産地呼称取得日本初の白山菊酒
第1892回例会	11月24日	国際キワニス日本地区ガバナー 菅野 明	ガバナー公式訪問
第1893回例会	12月1日	名古屋市民経済局文化観光部 参事 平岡 研二	本丸御殿について
第1894回例会	12月8日	キワニス日本地区 YCPO委員会 堀井 紀壬子	児童虐待防止問題について
第1895回例会	1月12日	新年会員懇談会	
第1896回例会	1月19日	医療法人回精会北津島病院 理事長 野島 精二(会員)	睡眠の話
第1897回例会	1月26日	サイテック株式会社 吉田 康彦(会員)	実在した神々の歴史-古事記に記述された超古代文明-
第1898回例会	2月2日	豊田工業高等専門学校 校長 工学博士 末松 良一	からくりに見る国際交流
第1899回例会	2月9日	学校法人安城学園政策室 事務局長(元愛知学泉大学 副学長) 伊藤 寿洪	生涯現役
第1900回例会	2月16日	財団法人2005年日本国際博覧会協会 事務総長 中村 利雄	愛・地球博を振り返って
第1901回例会	2月23日	名古屋大学法学部 教授 浜田 道代	会社制度の今昔
第1902回例会	3月2日	易経研究家 竹村 亞希子	中国古典『易経』より、潜龍～飛龍～亢龍まで
第1903回例会	3月9日	会員懇談会	
第1904回例会	3月16日	中部経済産業局 局長 佐藤 樹一郎	中部の産業政策の展望と課題
第1905回例会	3月23日	「ブチ紳士をさがせ!」運動 代表 志賀内 康弘	ギブ&ギブで上手くゆく -「ブチ紳士をさがせ!」運動-
第1906回例会	3月30日	株式会社中日ドラゴンズ 代表取締役社長 西川 順之助(会員)	今年のプロ野球
第1907回例会	4月6日	弁護士 北村 明美	経営を制するのは…
第1908回例会	4月13日	中部ディビジョン交流会 (アトラクション:ソプラノ歌手 水谷 映美氏)	
第1909回例会	4月20日	大場鈴木堀口合同法律事務所 弁護士 大場 民男(会員)	経済人のための区画整理
第1910回例会	4月27日	NPO法人平和のための戦争メモリアルセンター 設立準備会 事務局長 弁護士 野間 美喜子	戦争体験の伝承をめざして
第1911回例会	5月11日	和泉流狂言師 井上 菊次郎	狂言のおはなし
第1912回例会	5月18日	ギャラリー三寶 代表 青野 弘之	東南アジア文化事情-ベトナム陶磁器を中心として
第1913回例会	5月25日	名古屋子ども青少年局 佐合 広利	少子化の進行と名古屋市の取組み
第1914回例会	6月1日	臨時総会	
第1915回例会	6月8日	-夜間例会- ヴォーカル 石原 愛子(東京キューバンボーイズ) ギター 大村 賀津雄	ときめきのミュージックタイム
第1916回例会	6月15日	名古屋税関長 岡崎 匠	最近の税関行政について
第1917回例会	6月22日	社会公益賞・キワニス文庫授賞式	
第1918回例会	6月29日	日本郵政公社 執行役員東海支社長 清水 初己(会員)	日本郵政公社東海支社における業務改善の取組み
第1919回例会	7月6日	持ち出し例会 中部電力浜岡原子力発電所見学	
第1920回例会	7月13日	愛知日野自動車株式会社 社長 川村 保憲(会員)	PTAからみた、開校2年目の海陽学園
第1921回例会	7月20日	中日本高速株式会社 社長 高橋 文雄	中部地域の高速道路ネットワーク整備について
第1922回例会	7月27日	大場鈴木堀口合同法律事務所 弁護士 大場 民男(会員)	ADR法(民間裁判所認証法)の施行と各業界 -あるADRの体験を踏まえて-
第1923回例会	8月3日	特定非営利法人子どもセンターパオ 理事 吹野 憲征	子どものシェルター
第1924回例会	8月17日	五尺坊 申志(中電興業 谷 伸司)	落語「動物園、松山鏡」
第1925回例会	8月24日	東邦ガス株式会社 人事部 安全・健康グループ診療所 診療所長 林 博史	生命を刻む体内時計~健康と長寿の秘訣~
第1926回例会	8月31日	株式会社日建設計 執行役員名古屋代表 林 和久	都市の成長-名古屋の「昔」と「今」そして「これから」-
第1927回例会	9月14日	チャーターナイト記念特別例会	
第1928回例会	9月21日	愛知県健康福祉部児童家庭課 主幹 幸田 政次	愛知県における児童福祉の取組みについて
第1929回例会	9月28日	愛知県立芸術大学美術部 教授 小林 英樹	震災で焼失した「芦屋のひまわり」

2008年度(平成20年度)

回数	日付	講師	演題
第1930回例会	10月5日	新年度初例会	
第1931回例会	10月12日	弁護士 中村 伸子	土地取引と土壤汚染 -身近にもある土壤汚染のリスク、瑕疵担保責任-
第1932回例会	10月19日	香道御家流 師範 石川 阿希子	春秋鑑賞香
第1933回例会	10月26日	年次総会	
第1934回例会	11月2日	国際キワニス日本地区ガバナー 清重 尚弘	ガバナー公式訪問 「キワニスのミッション-幼い命・人類の未来」
第1935回例会	11月9日	NPO法人日本室内楽アカデミー 理事長 佐々木 仔利子(会員)	「環境立国への交響曲」のTV番組キャスターを 務め、そこから生まれたもの
第1936回例会	11月16日	名古屋市長 岡田 大	親学について
第1937回例会	11月30日	株式会社トーエネック 元相談役 井上 丈太郎(会員)	回文のはなし
第1938回例会	12月7日	皇学館大学 理事 圓藤 恭久	伊勢神宮の遷宮について
第1939回例会	1月11日	新年会員懇談会-夜間-	
第1940回例会	1月18日	中日病院 顧問 立松 輝(会員)	人類の夢-不老長寿
第1941回例会	1月25日	占術研究家 マギー	今年の一年を占う
第1942回例会	2月1日	名古屋医療センター チャイルドライフスペシャリスト 山本 悠子	チャイルド・ライフ・スペシャリストってなに?
第1943回例会	2月8日	画家 城戸 わこ(会員)	著名画家の知られざる人生
第1944回例会	2月15日	ヴァイオリニスト 石田 なをみ	ヴァイオリン演奏
第1945回例会	2月22日	名古屋第二赤十字病院 院長 石川 清	最近の救急医療の現状
第1946回例会	2月29日	東海ゴム工業株式会社 顧問 宮田 亮(会員)	太平洋海底ケーブル(TPC-1)の経験
第1947回例会	3月7日	中華人民共和国駐名古屋総領事館 領事 梁 晋	中日科学技術の交流の現状と今後の課題
第1948回例会	3月14日	株式会社中日ドラゴンズ 代表取締役社長 西川 順之助(会員)	今年のプロ野球
第1949回例会	3月21日	人形作家 夢童 由里子	本丸御殿復元をめざして
第1950回例会	3月28日	川上法律事務所 弁護士 川上 敦子	裁判員制度と環境整備
第1951回例会	4月4日	名古屋大学大学院法学研究科 教授 中東 正文	敵対的買収と買収防衛策の動向
第1952回例会	4月11日	株式会社国際都市政策研究所 代表取締役 所長 林 清隆	アジアの街づくりの現状と課題
第1953回例会	4月18日	華房流 華の会 家元 華房 真子・副家元 華房 小真	春はうれしや、邦楽たのしや -楽しい正調名古屋甚句-
第1954回例会	4月25日	丸石醸造株式会社 代表取締役社長 深田 達彦	お酒のおいしい飲みかた
第1955回例会	5月9日	名古屋港管理組合 専任副管理者 山田 孝嗣(会員)	開港101周年を迎えた名古屋港
第1956回例会	5月16日	書家・史記研究家 吉岡 泰山	司馬遷の史記に学ぶ
第1957回例会	5月23日	日本土地家屋調査士会連合会 名誉会長 愛知県土地家屋調査士会 最高顧問 西本 孔昭	境界紛争の動向-筆界特定登記官制度の発足と ADRは機能し得るか-
第1958回例会	5月30日	臨時総会	
第1959回例会	6月6日	中部電力株式会社 顧問 野嶋 孝(会長)	私の山登り-日本百名山を登り終えて-
第1960回例会	6月13日	社会公益賞・キワニス文庫授賞式	
第1961回例会	6月20日	名古屋大学南半球宇宙観測研究センター センター長 福井 康雄	大宇宙の誕生
第1962回例会	6月27日	会員懇談会	
第1963回例会	7月4日	ドラマ演出家 伊豫田 静弘	大河ドラマのヒロイン像
第1964回例会	7月11日	愛知県里親会連合会 会長 柴田 寿子	子どもたちと里親-里親制度の現状と問題点-
第1965回例会	7月18日	弁護士 西脇 明典	労働審判手続について
第1966回例会	7月25日	-夜間例会-愛知淑徳大学文学部 教授 久保 朝孝	紫式部の生涯-源氏物語千年紀によせて-
第1967回例会	8月1日	動物写真家・映像作家 寺社下 裕史	ネイチャーフィルム撮影記~沖縄県・西表島~
第1968回例会	8月8日	愛知学院大学歯学部 教授 日本歯周病学会 前理事長 野口 俊英(会員)	歯周病とメタボとの関連性は?
第1969回例会	8月22日	現代美術作家 山田 強一	シバの女王を求めて-エチオピアの旅-
第1970回例会	8月29日	AKK・名古屋キワニス国際教育研究助成贈呈式	
第1971回例会	9月12日	第42回チャーターナイト	
第1972回例会	9月19日	-持出し例会 於 全日空ホテルグランコート名古屋- 名古屋ポストン美術館 館長 馬場 駿吉	名古屋ポストン美術館の現在と将来
第1973回例会	9月26日	臨時総会(新旧役員挨拶)	

2009年度(平成21年度)

回数	日付	講師	演題
第1974回例会	10月3日	株式会社インディペンデンス 代表取締役社長 日本車椅子バスケットボール連盟 普及部 全国ジュニア選抜車椅子バスケットボール大会 In愛知 組織委員会 事務局長 近藤 洋介	車椅子バスケットボールからもらった勇気と 私の決意
第1975回例会	10月10日	千種高校 教諭 大宮 秀樹	千種高校のMUN(模擬国連)
第1976回例会	10月17日	名古屋大学 名誉教授 名古屋大学医学部 特任教授 伊藤 勝基	ヤングリーダーズプログラム (医療行政修士大学院コース)について
第1977回例会	10月24日	愛知教育大学 理科教育講座 地学領域 特別教授 大和田 道雄	地球温暖化に伴う地域気象への影響
第1978回例会	10月31日	親和会(名古屋市の里親会) 理事 住田 かおり	名古屋市における里親の現状と課題
第1979回例会	11月7日	年次総会	
第1980回例会	11月14日	持ち出し例会 海陽学園と蒲郡プリンス	
第1981回例会	11月21日	星光ビル管理株式会社 星光ビルサービス株式会社 常務取締役 金原 寿雄(会員)	私とホノルルマラソン
第1982回例会	11月28日	国際キワニス日本地区ガバナー 大堀 太千男	日本地区ガバナー公式訪問「キワニスの明日のために」
第1983回例会	12月5日	株式会社テクノトレイン 代表取締役 中山 恵介	新型インフルエンザの襲来について
第1984回例会	1月16日	新年会員懇談会-夜間-	
第1985回例会	1月23日	社会福祉法人日本介助犬協会 常任理事 事務局長 医学博士 高柳 友子	介助犬とは
第1986回例会	1月30日	愛知県立大学法人 理事長 清水 哲太	芸術文化を育てる
第1987回例会	2月6日	名古屋高速道路公社 副理事長 馬場 直俊	道づくりと引っ越し人生
第1988回例会	2月13日	旧国鉄トンネル群保存再生委員会 事務局長 村上 真善	埋もれた産業遺産のトンネル復活にかける
第1989回例会	2月20日	東海旅客鉄道株式会社 取締役東海道新幹線21世紀対策本部長 増田 幸宏	リニアによる中央新幹線の推進について
第1990回例会	2月27日	名古屋大学医学部付属病院 小児科 チャイルドライフスペシャリスト 佐々木 美和	キワニスドールとCLS -子供の視点にたった医療とは-
第1991回例会	3月6日	株式会社中日ドラゴンズ 代表取締役社長 西川 順之助(会員)	今年の中日ドラゴンズ
第1992回例会	3月13日	マリンバ演奏家 川崎 あき子	おもちゃの兵隊の行進 イエッセル 曲/ハンガリー舞曲集より1番 ブラームス 曲/日本の歌を集めて 鈴木 幸太郎編 早春賦 浜辺の歌 水色のワルツ 通りゃんせ
第1993回例会	3月27日	陶芸家 加藤 幸兵衛	盃と酒道
第1994回例会	4月3日	漫画家 八幡 太郎	漫画人生あれこれ
第1995回例会	4月10日	愛知県警察本部長 神山 憲一	愛知県の交通事故の現状と対策
第1996回例会	4月17日	会員懇談会	
第1997回例会	4月24日	名古屋セントラル病院 齋藤 英彦(会員)	再生医療について
第1998回例会	5月8日	NHK名古屋放送局 技術部長 小林 和正	地上波テレビ放送のデジタル化
第1999回例会	5月15日	名古屋ボストン美術館 学芸課長 井口 智子	ゴーギャン展の世界
第2000回例会	5月22日	第2000回記念例会 独立行政法人 宇宙航空研究 開発機構 名誉教授 特定非営利活動法人 「子ども・宇宙・未来の会」会長 的川 泰宣氏	宇宙と私たち
第2001回例会	5月29日	声楽家 水谷 映美	「バラ色の人生」曲目:てんとう虫(シャンソン)、 この道(日本歌曲)、オペラフィガロの結婚より 「恋とはどんなものかしら」(オペラ)他
第2002回例会	6月5日	臨時総会	
第2003回例会	6月12日	名古屋市長 堀場 和夫	名古屋開府400年と名古屋のまちづくり
第2004回例会	6月19日	社会公益賞・キワニス文庫授賞式	
第2005回例会	6月26日	中部経済産業局 局長 長尾 尚人	最近の経済情勢
第2006回例会	7月3日	名古屋大学農学部 教授 前島 正義	細胞の境界膜ではたらく分子たち
第2007回例会	7月10日	公認会計士 伊藤 宗太郎(会員)	ダヴィンチコードと貸借対照表
第2008回例会	7月17日	空手家 若井 敦子	スポーツから学ぶもの
第2009回例会	7月24日	-夜間例会-大鼓奏者 大倉 正之助	日本の調べ、鼓に触れよう
第2010回例会	7月31日	(株)エヌアイエス 代表取締役 丸山 茂樹	当地域の国際化の光と影
第2011回例会	8月7日	生物多様性条約第10回締約国会議 支援実行委員会 事務局長 小林 寛司	生物多様性条約第10回締約国会議(COP10) あいち・なごや開催計画
第2012回例会	8月21日	五尺坊 申志(中電興業 谷 伸司)	「笑いは心の薬-落語「寿命」-
第2013回例会	8月28日	三重テレビ放送名古屋支社 営業部長 伴 剛一	「私が歌う理由(わけ)」
第2014回例会	9月4日	第43回チャーターナイト記念特別例会	
第2015回例会	9月18日	日本銀行 名古屋支店長 前田 純一	最近の金融経済情勢について
第2016回例会	9月25日	臨時総会(新旧役員挨拶)	

2010年度(平成22年度)

回数	日付	講師	演題
第2017回例会	10月2日	東海旅客鉄道株式会社総合企画本部 企画開発部長 松野 篤二	JR東海博物館(仮称)について
第2018回例会	10月9日	名古屋大学 名誉教授 名古屋大学医学部 特任教授 伊藤 勝基	医療崩壊の建直し
第2019回例会	10月16日	愛知県警察本部長 神山 憲一	振り込め詐欺の現状と対策
第2020回例会	10月23日	平成22年度第1回通常総会	
第2021回例会	10月30日	サイテック株式会社 代表取締役会長 吉田 康彦(会員)	神々の地政学-世界経済システム破綻後の至福社会-
第2022回例会	11月6日	名工建設株式会社 社友 工学博士 藤井 浩	切手に見るオリेंट急行126年の軌跡
第2023回例会	11月13日	(南)カエラ研究所 代表取締役 工学博士 中村 光一	雷から身を守る知恵
第2024回例会	11月20日	松原 武久(会員)	COP10と名古屋の役割
第2025回例会	11月27日	国際キワニス日本地区ガバナー 小池 和子	日本地区ガバナー公式訪問 「みんなで三つの「E」を達成しよう」
第2026回例会	12月4日	名古屋産業大学 名誉学長・特任教授 愛知県地球温暖化防止活動推進センター センター長 伊藤 達雄	温暖化と生物多様性
第2027回例会	1月15日	新年会員懇談会-夜間-	
第2028回例会	1月22日	大洋薬品フットサルクラブ株式会社 代表取締役 GM 櫻井 嘉人	フットサルと社会貢献
第2029回例会	1月29日	占術研究家 鈴木 杏優	この一年を占う-2010年は変化の年・山が動く-
第2030回例会	2月5日	あいち小児保健医療総合センター 名誉センター長 長嶋 正實	子どもの理想的な療養環境を求めて -NPO子ども健康フォーラム
第2031回例会	2月12日	中部経済産業局 局長 宮川 正	中部地域の産業の展望と課題
第2032回例会	2月19日	親和会(名古屋市の里親会) 副会長 堀田 利行	『強いつながり』から『深いつながり』へ -第1回里親フォーラムあいちを実現して-
第2033回例会	2月26日	株式会社豊田中央研究所 代表取締役CEO 瀧本 正民	サステナブルモビリティ実現に向けたトヨタの 取組み
第2034回例会	3月5日	株式会社中日ドラゴンズ 代表取締役社長 西川 順之助(会員)	今年のプロ野球
第2035回例会	3月12日	愛知製鋼株式会社 相談役 柴田 雄次(会員)	満月奉納越年祈願式について
第2036回例会	3月19日	-持出例会-井村屋製菓本社工場見学	
第2037回例会	3月26日	中部ディビジョン交流会 -新潟クラブ、静岡クラブを迎えて-	
第2038回例会	4月2日	PHP総合研究所 客員 谷口 全平	松下幸之助とPHP
第2039回例会	4月9日	中部電力株式会社 顧問 野嶋 孝(会員)	スマートグリッドについて
第2040回例会	4月16日	医療法人福智会 理事長 すずかけクリニック 院長 福智 寿彦(会員)	精神科の仕事とは
第2041回例会	4月23日	-夜間例会-ヴァイオリニスト 石田 なをみ	ヴァイオリン演奏
第2042回例会	5月7日	NHK名古屋放送局 局長 木田 幸紀	大河ドラマの舞台裏
第2043回例会	5月14日	株式会社御園座 代表取締役社長 長谷川 栄胤	演劇よもやま話
第2044回例会	5月21日	Man to Man 株式会社 代表取締役 田中 正次	西郷隆盛が現在を語る
第2045回例会	5月28日	社会公益賞・キワニス文庫授賞式	
第2046回例会	6月4日	平成22年度第2回通常総会	
第2047回例会	6月11日	五尺坊 申志(谷 伸司)	笑いは心の薬-お血脈・持参金-
第2048回例会	6月18日	観世流能楽師 久田 勘鳩	KNOW 能 BETTER
第2049回例会	6月25日	ビジネス航空ジャーナリスト 石原 達也	県営名古屋空港が秘める中部経済圏再生の可能性
第2050回例会	7月2日	-夜間例会- 麒麟麦酒株式会社 名古屋工場長 竹内 敏彦	ビールにまつわる話
第2051回例会	7月9日	財団法人犬山城白帝文庫 理事長 成瀬 淳子	最後のとのさまと私
第2052回例会	7月16日	株式会社デンソー 総務部 部長 岩田 泰志	地域社会・国際社会とともに -デンソーの社会貢献活動-
第2053回例会	7月23日	愛知県安全運転管理協議会 専務理事/コメンテーター 玉越 清美	最近のニュースから見た地域の安全
第2054回例会	7月30日	茗圃 理事長 森 康裕	中国大陸のお茶
第2055回例会	8月6日	理研産業株式会社 代表取締役社長 長谷川 順洋(会員)	聞こえのお話-特に加齢による聞き難さについて
第2056回例会	8月20日	白壁アカデミア 世話人 池田 誠一	城下町・名古屋-家康の町づくり-
第2057回例会	8月27日	A K K・名古屋キワニス国際教育研究助成贈呈式	
第2058回例会	9月10日	第44回チャーターナイト記念特別例会	
第2059回例会	9月17日	邦和スケートクラブ コーチ 長久保 裕 邦和スポーツランド 鈴木 明子	オリンピックのエピソード
第2060回例会	9月24日	平成22年度第3回通常総会	

2011年度(平成23年度)

回数	日付	講師	演題
第2061回例会	10月1日	柳生新陰流兵法第二十二世宗家 柳生 耕一	尾張柳生家の兵法-真実の人-
第2062回例会	10月8日	映画監督 松井 久子	月よりも遠くへ〜日米往復52万キロの挑戦
第2063回例会	10月15日	大日本印刷株式会社 取締役 横溝 彰	窯縁つれづれ草-通い徳利文化考-
第2064回例会	10月22日	弁護士法人あおば法律事務所 弁護士 山田 幸彦	裁判員制度実施一年を振り返る
第2065回例会	10月29日	易经研究家 竹村 亜希子	吉と凶の分かれ目
第2066回例会	11月5日	平成23年度第1回通常総会	
第2067回例会	11月12日	株式会社和薬・漢方の本草閣 代表取締役社長 林 譽史朗	漢方の考え方について
第2068回例会	11月19日	日本ワシタカ研究センター 所長 中島 京也	ワシタカ類の保護活動
第2069回例会	11月26日	日本地区ガバナー公式訪問 国際キワニス日本地区ガバナー 川崎 弘	キワニスのこれから
第2070回例会	12月3日	東海旅客鉄道株式会社 相談役 須田 寛	観光から見た今後の名古屋のまちづくり
第2071回例会	1月14日	新年会員懇談会-夜間-	
第2072回例会	1月21日	池田総合特許法律事務所 弁護士 池田 桂子(会員)	キャリア教育について
第2073回例会	1月28日	J.フロントリテイリング株式会社 相談役 岡田 邦彦	観光とおもてなしと歌
第2074回例会	2月4日	公認会計士伊藤宗太郎事務所 公認会計士 伊藤 宗太郎(会員)	名古屋基盤割り こぼれ話し
第2075回例会	2月18日	名古屋セントラル病院 院長 齋藤 英彦(会員)	日本の医療-現状と課題-
第2076回例会	2月25日	中部ディビジョン交流会	
第2077回例会	3月4日	刈谷児童相談センター センター長 萬屋 育子	児童相談所・現場からの報告
第2078回例会	3月11日	染色作家 鳥羽 美花	型染めで紡ぐ黎明の旅
第2079回例会	3月18日	株式会社中日ドラゴンズ 代表取締役社長 西川 順之助(会員)	ドラゴンズ V2に向けて
第2080回例会	3月25日	中部国際空港株式会社 取締役会長 平野 幸久	セントレアの現状と課題
第2081回例会	4月1日	株式会社正文館書店 代表取締役会長 谷口 正明(会員)	紙の本と本屋の行方
第2082回例会	4月8日	本川産業株式会社 代表取締役 本川 淳一	京都歴史散策-平安京造営に秘められた方位線・京の町を取り囲んだ『城壁御土居(おどい)』-アラブ・イスラム文化の基礎知識
第2083回例会	4月15日	京都ノートルダム女子大学 教授 放送大学 客員教授 鷺見 朗子	
第2084回例会	4月22日	株式会社ミツカングループ本社 常務執行役員・中央研究所所長 山上 圭吾	食酢と納豆のお話
第2085回例会	5月13日	三恵有限公司 社長 西口 元三	私の幸せ-中国の子供たちの笑顔に接して-
第2086回例会	5月20日	大場鈴木堀口合同法律事務所 弁護士 大場 民男(会員)	東日本大震災被災地復興の手法
第2087回例会	5月27日	平成23年度第2回通常総会	
第2088回例会	6月3日	五尺坊 申志(谷 伸司)	笑いは心の薬-後生鰻・しじみ売り
第2089回例会	6月10日	社会公益賞・キワニス文庫授賞式	
第2090回例会	6月17日	名古屋高等検察庁 検事長 藤田 昇三	人権の国際的保障について
第2091回例会	6月24日	医療法人福智会 理事長 すずかけクリニック 院長 福智 寿彦(会員)	東日本大震災の医療支援を行って
第2092回例会	7月1日	玄玄書作院 理事長 名古屋芸術大学 非常勤講師 大平 玲華	それぞれの書
第2093回例会	7月8日	株式会社ターゲットパートナー 代表取締役 大西 久光	ゴルフの将来
第2094回例会	7月15日	京都ノートルダム女子大学 教授 放送大学 客員教授 鷺見 朗子	シンクロナイズドスイミングの魅力
第2095回例会	7月22日	AKK・名古屋キワニス国際教育研究助成贈呈式	
第2096回例会	7月29日	名古屋大学大学院 環境学研究所 教授 鈴木 康弘	東日本大震災から学ぶ東海地方の地震への備え
第2097回例会	8月5日	浦野合資会社 社氏 新井 康裕	社氏の仕事
第2098回例会	8月19日	華房流 華の会 家元 華房 真子・副家元 華房 小真	名古屋生まれの唄 二題
第2099回例会	8月26日	国土交通省 中部運輸局長 森重 俊也	東日本大震災後の観光振興について
第2100回例会	9月2日	チャーターナイト記念特別例会	
第2101回例会	9月16日	大同大学 学長 澤岡 昭	はやぶさ奇跡の生還
第2102回例会	9月30日	平成23年度第3回通常総会	

2012年度(平成24年度)

回数	日付	講師	演題
第2103回例会	10月7日	名古屋テレビ塔株式会社 代表取締役社長 大沢 和宏	アナログテレビジョン放送の残したもの
第2104回例会	10月14日	愛知学院大学 教授 日本口唇口蓋裂協会 常務理事 夏目 長門	Serving the children with Cleft Lip and/or Plate-口唇口蓋裂症の子どものために-
第2105回例会	10月21日	公認会計士伊藤宗太郎事務所 公認会計士 伊藤 宗太郎(会員)	名古屋基盤割り こぼれ話し(その二)
第2106回例会	10月28日	新神戸電機株式会社営業本部 電池機器営業統括部 副統括部長 神谷 孝信	この指とまれ -昆虫達との触れ合い写真の世界-
第2107回例会	11月4日	平成24年度第1回通常総会	
第2108回例会	11月11日	特定非営利活動法人子どもセンターパオ 理事 弁護士 高橋 直紹	子どもセンターパオ...その後...
第2109回例会	11月18日	経済産業省 中部経済産業局長 紀村 英俊	中部地域八ヶ岳構造創出戦略の推進
第2110回例会	11月25日	古川美術館 主任学芸員 鈴木 綾子	名古屋ゆかりの洋画家 -鬼頭綱三郎・杉本健吉・田村能里子
第2111回例会	12月2日	株式会社北見式賃金研究所 所長 北見 昌朗	古地図を手に明治の名古屋を語る
第2112回例会	12月16日	特定非営利活動法人あいち骨髄バンクを支援する会 理事兼事務局長 水谷 久美	笑顔と出会えることを願って...
第2113回例会	1月13日	新年会員懇談会-夜間-	
第2114回例会	1月20日	NHK名古屋放送局 チーフアナウンサー 内多 勝康	伝わる瞬間
第2115回例会	1月27日	公益財団法人バナソニック教育財団 常務理事 下田 昌嗣	こころを育む総合フォーラムについて -今、子どもたちの心を育むとは-
第2116回例会	2月3日	総務省 東海総合通信局 局長 安藤 友裕	地上放送デジタル化の意義と政策展開
第2117回例会	2月10日	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 エコノミスト 内田 俊宏	2012年の経済展望
第2118回例会	2月17日	公認会計士伊藤宗太郎事務所 公認会計士 伊藤 宗太郎(会員)	名古屋基盤割り こぼれ話し(その三)
第2119回例会	2月24日	名城大学人間学部 教授 水尾 衣里	フィルムコミッションと地域活性化
第2120回例会	3月2日	国土交通省 中部運輸局長 甲斐 正彰	中部圏の観光の推進について -昇龍道プロジェクトによる中華圏からの誘客促進-
第2121回例会	3月9日	株式会社中日ドラゴンズ 取締役 球団代表兼連盟担当 佐藤 良平	今年のドラゴンズ
第2122回例会	3月16日	奈良国立博物館 学芸部長 西山 厚	大仏さまと子どもたち
第2123回例会	3月23日	国際キワニス日本地区 ガバナー 齋藤 蒞(会員)	キワニスの絆
第2124回例会	3月30日	大同大学 学長 澤岡 昭	宇宙飛行士裏ばなし
第2125回例会	4月6日	愛知淑徳大学ビジネス学部 教授 真田 幸光	混沌の世界の中で如何に生きるか
第2126回例会	4月13日	村田 茉莉花さん、足立 真由さん	「未来を担う天才ジュニアのコンサート」 村田 茉莉花(ヴァイオリン、ピアノ) 足立 真由(ピアノ)
第2127回例会	4月20日	愛知県 前農林水産部長 小出 茂樹	愛知県における農林水産業の現状と課題
第2128回例会	5月11日	特定非営利活動法人子育て支援のNPOまめっこ 代表理事 丸山 政子	子どもの笑顔でまちが変わる
第2129回例会	5月18日	中川運河チャンネルアート 実行委員会 委員長代行 松林 正之	JAPICと中川運河チャンネルアート
第2130回例会	5月25日	平成24年度第2回通常総会	
第2131回例会	6月1日	写真家 今尾 映子	海からのメッセージ
第2132回例会	6月8日	社会福祉法人相和福祉会 風の色 施設長 都築 昭彦	新たな養護を目指して
第2133回例会	6月15日	京都橘大学 名誉教授 猪熊 兼勝	祇園祭のころ
第2134回例会	6月22日	社会公益賞・キワニス文庫授賞式	
第2135回例会	6月29日	名古屋第二赤十字病院 総合内科 副部長 横江 正道	破傷風 -MNTの撲滅を目指すキワニスクラブの活動の上で-
第2136回例会	7月6日	株式会社東海メディカルプロダクツ 代表取締役社長 筒井 宣政	先端医療機器開発に翔ける情熱 ~一人でも多くの生命を救いたい~
第2137回例会	7月13日	占術研究家 マギー	手相でわかる病気のサイン
第2138回例会	7月20日	東海旅客鉄道株式会社 リニア・鉄道館 館長 金子 利治	五感で楽しむリニア・鉄道館
第2139回例会	7月27日	前知事 神田 真秋	麗水万博を訪れて
第2140回例会	8月3日	岐阜大学大学院医学系研究科 救急・災害医学分野 教授 小倉 真治	ドクターヘリの現在そして未来
第2141回例会	8月10日	名古屋工業大学大学院工学研究科 教授 鷺見 克典	日常生活の意外な心理学
第2142回例会	8月24日	国際キワニス日本地区 ガバナー 齋藤 蒞(会員)	ニューオリンズ大会の話題
第2143回例会	8月31日	五尺坊 申志(谷 伸司)	笑いは心の薬 落語「看板の一(びん)」、「天狗裁き」
第2144回例会	9月14日	チャーターナイト記念特別例会	
第2145回例会	9月21日	国立長寿医療研究センター 内科総合診療部長 遠藤 英俊	健康長寿について
第2146回例会	9月28日	平成24年度第3回通常総会	

2013年度(平成25年度)

回数	日付	講師	演題
第2147回例会	10月5日	特定非営利活動法人あっとわん 代表理事 河野 弓子	「子育て支援はまちづくり」
第2148回例会	10月12日	獣医師 三ッ木 修	蓄音機の世界
第2149回例会	10月19日	金属造形家 鬼頭 正信	「もの」づくりは「こころ」づくり
第2150回例会	10月26日	愛知教育大学 名誉教授 大和田 道雄	最近の異常降雨
第2151回例会	11月2日	第1回通常総会	
第2152回例会	11月9日	公認会計士伊藤宗太郎事務所 公認会計士 伊藤 宗太郎(会員)	名古屋基盤割り こぼれ話し(その四)
第2153回例会	11月16日	国際キワニス日本地区ガバナー 北里 光司郎	日本地区ガバナー公式訪問 楽しく、感動を共有できるキワニスを目指して -これからの成長戦略、事業戦略、社会戦略を語る- かかりつけ薬局への歩みと挑戦
第2154回例会	11月30日	スギホールディングス株式会社 代表取締役副社長 杉浦 昭子	ファッションを通じて
第2155回例会	12月7日	ナゴヤファッション協会 事務局 馬場 巖	クリスマス家族会-夜間-
第2156回例会	12月14日	新年会員懇談会-夜間-(会長出席)	新年会員懇談会-夜間-(会長出席)
第2157回例会	1月11日	航空自衛隊 小牧基地 第1輸送航空隊司令部 援護業務室長 一等空佐 森末 浩史	素顔の自衛官
第2158回例会	1月18日	独立行政法人都市再生機構 中部支社長 岡本 広明	UR都市機構による都市再生
第2159回例会	2月1日	東海東京証券株式会社 代表取締役会長 最高経営責任者 石田 建昭(会員)	ユーロ危機の深層
第2160回例会	2月8日	三重県書道連盟 参与 谷 泉石	筆文字看板ものがたり
第2161回例会	2月15日	自衛隊 愛知地方協力本部長 一等陸佐 田淵 忠史	南西の第一線部隊 第6高射特科群の概要
第2162回例会	2月22日	華道石田流 家元 石田 秀翠	花あれこれ
第2163回例会	2月29日	NPO法人かものはしプロジェクト 共同代表 村田 早耶香	カンボジアの子ども達の笑顔のために
第2164回例会	3月1日	中日本興業株式会社 代表取締役社長 服部 徹	映画の過去・現在・未来
第2165回例会	3月15日	名古屋城総合事務所 所長 佐藤 正幸	本丸御殿・これまでの歩みとめざすもの
第2166回例会	3月22日	株式会社名古屋画廊 代表取締役 中山 真一	杉本 健吉先生のこと
第2167回例会	3月29日	あいち・子どもNPOセンター 代表理事 日本福祉大学 名誉教授 小木 美代子	あいち・子どもNPOセンターのあゆみと 次期への課題
第2168回例会	4月5日	トヨタホーム株式会社 代表取締役社長 森岡 仙太	日本の住まいを考える-なぜ今スマートハウスを目指すのか-
第2169回例会	4月12日	写真家・日本写真家協会会員 名古屋ビジュアルアーツ写真学科 講師 木村 一成 図書出版 歴遊舎 代表 岩月 正直	レンズが見た名古屋の叙情
第2170回例会	4月19日	公益財団法人名古屋みなと振興財団 名古屋港水族館 常務理事 館長 祖一 誠	名古屋初! シャチの赤ちゃん誕生
第2171回例会	5月10日	有限会社春香堂 代表取締役 小川 薫	香道の薫り
第2172回例会	5月17日	公益財団法人名古屋観光コンベンションビューロー 観光部事業戦略グループ長 北折 真人	名古屋の観光事情
第2173回例会	5月24日	第2回通常総会	
第2174回例会	5月31日	会員懇談会	
第2175回例会	6月7日	ラデッキ株式会社 代表取締役社長 佐藤 徳昭	ゆるキャラ「やなな」が駆け抜けた5年間
第2176回例会	6月14日	社会公益賞・キワニス文庫贈呈式	
第2177回例会	6月21日	名古屋市幼児教育研究協議会 会長 学校法人名古屋旭学園 理事長 國府谷 俊盛	現代の幼児教育の課題
第2178回例会	6月28日	ヴァイオリニスト 石田 なをみ	ヴァイオリン演奏
第2179回例会	7月5日	元札幌高等裁判所長官・前公害等調整委員長 弁護士 大内 捷司(会員)	裁判官の仕事と生活
第2180回例会	7月12日	邦和スポーツランド 鈴木 明子	スケーターとして
第2181回例会	7月19日	元アフガニスタン日本大使館一等書記官・医師 田淵 俊次	アフガニスタンにおける日本の軍民協力の試み
第2182回例会	7月26日	タカラバイオ株式会社 代表取締役社長 仲尾 功一	タカラバイオの事業戦略
第2183回例会	8月2日	インテリアデザイナー・コーディネーター 松本 佳津	名古屋の女子力-エイジングインテリアについて-
第2184回例会	8月9日	特定非営利活動法人日本室内楽アカデミー 理事長 佐々木 仔利子(会員)	音楽の楽しみ方
第2185回例会	8月23日	株式会社阿竹研究所 代表取締役 大学講師 阿竹 克人	飛行船のこと
第2186回例会	8月30日	第46回チャーターナイト記念特別例会(会長出席)	
第2187回例会	9月6日	東邦ガス株式会社 常務執行役員 宮崎 修二(会員)	身近なリスク管理について
第2188回例会	9月13日	第3回通常総会(役員人事承認)	

2014年度(平成26年度)

回数	日付	講師	演題
第2189回例会	10月4日	あいちトリエンナーレ実行委員会 事務局長 愛知芸術文化センター長 横山 謙	あいちトリエンナーレ2013について
第2190回例会	10月11日	東海東京証券株式会社 名古屋戦略部長 永森 利彦	-2020東京五輪開催決定- JOCアスリートナビゲーション活用事例
第2191回例会	10月18日	株式会社三菱東京UFJ銀行 名古屋営業部長 古畑 佳幸	NISAについて
第2192回例会	10月25日	マーケティングアイズ株式会社 代表取締役 理央 周	テレビショッピングはなぜ値段を最後に言うのか?
第2193回例会	11月1日	第1回通常総会	
第2194回例会	11月8日	中部電力株式会社 原子力本部 原子力部長 増田 博武	放射線と人体への影響について
第2195回例会	11月15日	狂言方泉流 能楽師 井上 松次郎	狂言ってなんぞや!?
第2196回例会	11月22日	NPO法人揚輝荘の会 理事 揚輝荘 副館長 田中 進氏-持出例会揚輝荘見学会-	伊藤 祐民「聴松閣」への思い
第2197回例会	11月29日	株式会社御園座 代表取締役社長 長谷川 栄胤	名古屋と歌舞伎
第2198回例会	12月6日	経済産業省 中部経済産業局 局長 山本 雅史	中部経済の現状と日本再興戦略
第2199回例会	1月10日	新年会員懇談会-夜間-	
第2200回例会	1月17日	税理士 安井 秀樹	ゴルゴ13の課税問題
第2201回例会	1月24日	熱田神宮 文化研究員 辻村 全弘	熱田神宮の伝説
第2202回例会	1月31日	特定非営利活動法人ドゥチュウブ 小穴 久仁	どこまでが地産地消?
第2203回例会	2月7日	日本ガイシ株式会社 執行役員 電力事業本部NAS事業部長 美馬 敏之	電力貯蔵用NAS電池システムのご紹介
第2204回例会	2月14日	杉本食肉産業株式会社 代表取締役社長 杉本 達哉	美味しいお肉の知識
第2205回例会	2月21日	中部ディビジョン交流会 株式会社名古屋グランパスエイト ゼネラルマネージャー 久米 一正	新生名古屋グランパス-改 Re: Vision-
第2206回例会	2月28日	会員懇談会予定	
第2207回例会	3月7日	陶芸家 幸兵衛窯主催 加藤 幸兵衛	今日のイランと焼物交流
第2208回例会	3月14日	朋和設備工業株式会社 代表取締役社長 名古屋堀川ライオンズクラブ堀川1000人調査隊 事務局長 服部 宏	ご紹介します!堀川再生に大活躍する、 たくさんのお客さんたち
第2209回例会	3月28日	株式会社コボ 代表取締役社長 山村 真一	経営資源としてのデザイン~夢をカタチに~
第2210回例会	4月4日	名古屋子ども青少年局 子ども福祉課長 忠平 守	地域療育センターについて
第2211回例会	4月11日	株式会社エム&プラス 代表取締役 森 令子	ブランド業界の上手な女性起用
第2212回例会	4月18日	名古屋児童養護連絡協議会会長 社会福祉法人昭徳会 自立援助ホーム 慈泉寮 寮長 平井 誠敏	自立援助ホームの実践と課題
第2213回例会	4月25日	NPO法人名古屋おやこセンター 理事長 竹内 洋江	子どもたちの笑顔のために
第2214回例会	5月9日	愛知県 産業労働部長 小山 和久	愛知県の産業振興施策について ~あいちビジョン2020より~
第2215回例会	5月16日	株式会社マティーナ 代表取締役社長 東 純代	障害児の現状と未来
第2216回例会	5月23日	日本経済新聞社 専務執行役員 名古屋支社代表 泉 宣道	2020年にらむ中国にどう向き合うか
第2217回例会	5月30日	第2回通常総会	
第2218回例会	6月6日	公認会計士伊藤宗太郎事務所 公認会計士 伊藤 宗太郎(会員)	名古屋基盤割り こぼれ話し(その五)
第2219回例会	6月13日	社会公益賞・キワニス文庫贈呈式	
第2220回例会	6月20日	名古屋大学 減災連携研究センター 教授 武村 雅之	科学技術と地震防災
第2221回例会	6月27日	東海旅客鉄道 元専務取締役 街道文化研究者 志田 威	東海道57次と中山道67次
第2222回例会	7月4日	有限会社ヘルプ 代表取締役 シニアソムリエール 島 幸子	上手なワインの選び方~世界のwine事情から~
第2223回例会	7月11日	公認会計士伊藤宗太郎事務所 公認会計士 伊藤 宗太郎(会員)	聖ラザロ村の奇跡
第2224回例会	7月25日	名古屋中央児童相談所長 渡邊 佐知子	里親制度について
第2225回例会	8月1日	公益財団法人名古屋観光コンベンションビューロー コンベンショングループ長 花澤 弥生美	MICEとは? ~名古屋が選ばれた都市になるために~
第2226回例会	8月8日	特定非営利活動法人こどもハートクラブ 代表理事(曹洞宗僧侶) 小林 恵明	虐待に苦しむこどもを救いたい ~虐待を乗り越え尼僧として生きる~
第2227回例会	8月22日	特定非営利活動法人 日本室内楽アカデミー 理事長 佐々木 仔利子(会員)	大人のための音楽史
第2228回例会	8月29日	株式会社池田商店 取締役副社長 JJA公認ジュエリーコーディネーター 池田 達哉	指輪のちょっとした話
第2229回例会	9月12日	チャーターナイト記念特別例会-夜間-	
第2230回例会	9月19日	獣医師 三ッ木 修	蓄音機の世界II
第2231回例会	9月26日	第3回通常総会	

2015年度(平成27年度)

回数	日付	講師	演題
第2232回例会	10月3日	一般社団法人チャンス・チャレンジ代表理事 小児科医師 江崎 路子	人生哲学を語り合おう -子ども・若者に最善の利益を-
第2233回例会	10月10日	特許業務法人コスモス特許事務所 弁理士 富澤 正	本当に簡単!新商品・サービスの作り方
第2234回例会	10月17日	東邦ガス株式会社 環境部長 服部 雅夫	環境調和型社会の実現に向けた取り組み
第2235回例会	10月24日	社会福祉法人デンマーク牧場福祉会 児童養護施設まきばの家 施設長 松田 正幸	児童虐待最前線からの報告
第2236回例会	10月31日	東海俳句懇話会主宰・月間「笹」主宰 俳人 俳人協会 愛知県支部長 芭蕉顕彰名古屋俳句祭会長 伊藤 敬子	芭蕉の奥の細道
第2237回例会	11月7日	第1回通常総会	
第2238回例会	11月14日	東大寺福祉療育病院 院長 奈良親子レスバイトハウス代表 富和 清隆	深く生きる ~難病児と家族への支援で考えたこと~
第2239回例会	11月21日	名古屋大学大学院経済学研究科教授 (中部からクールジャパン発信委員会座長) 佐藤 宣之	私が「クールジャパンとしての國酒」にこだわる理由
第2240回例会	11月28日	NPO法人ジャポニカアグリ 代表理事 広瀬 紀子	ベトナムと私
第2241回例会	12月5日	名古屋地方裁判所 判事 景山 太郎	裁判員制度の概要について~満足度〇〇%のわけ~
第2242回例会	1月9日	新年会員懇談会-夜間-	
第2243回例会	1月16日	ローレンシャン・インターナショナルスクール 校長 中村 和世	諸外国の初等教育事情と日本の現状、今後の課題
第2244回例会	1月23日	名古屋大学大学院法学研究科 教授 宇田川 幸則	中国に法治社会は到来するのか?
第2245回例会	1月30日	名城大学人間学部 教授 水尾 衣里	映像と街~視点をかえれば地域は宝の山~
第2246回例会	2月6日	東海旅客鉄道株式会社 常務執行役員 中央新幹線推進本部長 宇野 護	超電導リニアによる中央新幹線計画
第2247回例会	2月13日	公益財団法人名古屋観光コンベンションビューロー MICE専門員 小宅 一夫	ロボカップ世界大会の開催に向けて
第2248回例会	2月20日	総務委員会主催	新規約等の臨時総会上提案の事前勉強会
第2249回例会	2月27日	駐日タンザニア大使館 中部地区商業文化交流 名誉代表 タンザニアフィリア(有)代表 清水 邦子	タンザニアと日本のかけ橋として
第2250回例会	3月6日	株式会社大須ういろ 代表取締役社長 村山 賢祐 (会員)	すっかり「春」ですが、「スキー」のお話
第2251回例会	3月13日	臨時総会 (国際標準新規約の承認について)	
第2252回例会	3月20日	特定非営利活動法人社会的養護の当事者推進団体 なごやかサポートみらい 理事長 蛭沢 光	今度は私が見守る~施設で育ち、そして大学へ
第2253回例会	3月27日	東邦ガス株式会社 常務執行役員 宮崎 修二 (会員)	金沢そして名古屋の物語
第2254回例会	4月3日	医療法人福智会 理事長 福智 寿彦 (会員)	てんかんについて -パープルデイとは?-
第2255回例会	4月10日	NPO法人おやこでのびっこ安城理事長 神谷 由美子	子どもの育ちを支えて
第2256回例会	4月17日	金沢大学大学院 人間社会環境研究科 地域創造学専攻 准教授 香坂 玲	生物多様性保全をめぐる課題と企業への期待 ~日本各地の現場を歩いて~
第2257回例会	4月24日	染色画家 鳥羽 美花	禪を染める
第2258回例会	5月8日	公益社団法人スペシャルオリンピックス日本・愛知 理事 財務副委員長 中村 公彦	スペシャルオリンピックスについて
第2259回例会	5月15日	第2回通常総会	
第2260回例会	5月22日	特定非営利活動法人ゆずりは学園 学園長 沓名 和子	本音の言えない子どもたちに寄り添って ~不登校、発達障害、ひきこもりの子どもたち、若者の傍で~
第2261回例会	5月29日	社会福祉法人あさみどりの会 前理事長・顧問 鳥崎 春樹	あさみどりの会とボランティア
第2262回例会	6月5日	名古屋大学特任教授 足立 守	大昔、木曾川は名古屋中心部を流れていた
第2263回例会	6月12日	声楽家 飯田 みち代	声の秘密
第2264回例会	6月19日	公益財団法人中部圏社会経済研究所 代表理事 小林 宏之	きのこと私
第2265回例会	6月26日	名古屋市博物館 学芸課長 鳥居 和之	秀吉が上司だったら
第2266回例会	7月3日	社会公益賞・キワニス文庫贈呈式	
第2267回例会	7月10日	医療法人SRA たかおかクリニック 理事 医師 齊藤 八千代	いびきと睡眠時無呼吸症候群
第2268回例会	7月17日	株式会社地域計画建築研究所 取締役 中部担当 尾関 利勝 (会員)	歴史を活かした名古屋の都市再生
第2269回例会	7月24日	愛知県警交通部交通総務課 交通事故対策室長・警視 飯田 悟	県内の交通死亡事故の特徴と信号機等による 交通事故抑制対策
第2270回例会	7月31日	三菱東京UFJ銀行 貨幣資料館 元館長 工藤 洋久	お金アラカルト
第2271回例会	8月7日	愛知県 環境部長 杉浦 健二	愛知万博から10年の歩み~自然の叡智とともに~
第2272回例会	8月21日	名古屋音楽大学講師 三味線 杵屋 六春	江戸の華~長唄の魅力~
第2273回例会	8月28日	一般社団法人ハニーファーム 代表理事 船橋 康貴	ミツバチの代弁者
第2274回例会	9月11日	チャーターナイト記念特別例会-夜間-	
第2275回例会	9月18日	NPO法人愛知視覚障害者援護促進協議会 理事長 高柳 泰世	中途視覚障害者への支援活動
第2276回例会	9月25日	第3回通常総会	

2016年度(平成28年度)

回数	日付	講師	演題
第2277回例会	10月2日	愛知県立芸術大学 教授 井上 さつき	名古屋の生んだヴァイオリン王、鈴木政吉
第2278回例会	10月9日	株式会社ボンタイン珈琲本社 代表取締役社長 加藤 慶人	おいしいコーヒーを探して
第2279回例会	10月16日	藤田保健衛生大学 名誉教授 野村 隆英	教養人のための薬理学
第2280回例会	10月23日	俳優 天野 鎮雄	私が強く願うこと-演劇人を育てる-
第2281回例会	10月30日	大同大学 学長 澤岡 昭	2030年 火星の旅
第2282回例会	11月6日	第1回通常総会	
第2283回例会	11月13日	愛知県 警生活安全部総務課地域安全対策係 警部 平山 昇	県内における特殊詐欺の現状と対策について
第2284回例会	11月20日	徳川美術館 学芸部長 四辻 秀紀	源氏物語絵巻 千年の時空を超えて
第2285回例会	11月27日	愛知大学文学部 教授 武田 圭太	外れ値の影響力-海外・帰国子女の潜在性への期待-
第2286回例会	12月4日	五尺坊 申志(谷 伸司)	落語「ふく鍋」「鹿政談」
第2287回例会	12月11日	名古屋市教育委員会 生涯学習課 社会教育主事 猿渡晴祥	なごや学マイスター制度による地域の活性化
第2288回例会	1月15日	新年会員懇談会-夜間-	
第2289回例会	1月22日	株式会社日建設計 執行役員 名古屋代表 西村 浩	狛犬ウォッチ
第2290回例会	1月29日	東海ラジオ放送株式会社 アナウンサー 青山 紀子	ラジオの裏側~伝える工夫~
第2291回例会	2月5日	ウイ! エルダーマン 代表 コピーライター・プランナー 上鶴瀬 孝志	伝えても、伝わらないコミュニケーション。なぜ?
第2292回例会	2月12日	名古屋大学大学院 環境学 研究科 特任准教授 杉山 範子	地球温暖化にどう挑むか
第2293回例会	2月19日	元全日本剣道選手権者 教士八段 東 一良 名古屋市剣道連盟 理事長 尾野 博之	我、この道を生かす
第2294回例会	2月26日	特定非営利法人 日本ホスピタル・クラウン協会 理事長 大棟 耕介	ホスピタル・クラウンの現場から
第2295回例会	3月4日	三五コーポレーション株式会社 森づくり事務局長 後藤 幸雄	企業緑地としての森づくり
第2296回例会	3月11日	日本陶磁器産業振興協会 会長 山田 陽一	「日本の器 日本の食卓」 ~ミラノ万博出展成果について~
第2297回例会	3月18日	カトリック南山教会 助任司祭 デュマスマーティン アクエター	驚愕のアフリカ
第2298回例会	3月25日	芦屋キワニスクラブ元会長 日本地区青少年教育 委員長 多田 玲子(会員) 関西大学2年(サークルK会員) 南 ふうこ 関西大学2年(サークルK会員) 北山 詩織	サークルK芦屋のグローバルな歩み
第2299回例会	4月1日	公認会計士伊藤宗太郎事務所 公認会計士 伊藤 宗太郎(会員)	名古屋基盤割り (その六)
第2300回例会	4月8日	特定非営利活動法人愛実の会 理事長 日本キリスト教団牧師 島 しづ子	価値観の違う人と共に生きる知恵
第2301回例会	4月15日	有限会社アーキテクト・スタイル 代表取締役 柴田 達志	建築で楽しくなる
第2302回例会	4月22日	名古屋市 住宅都市局長 黒田 昌義	リニア時代の名古屋のまちづくり
第2303回例会	5月13日	第2回通常総会	
第2304回例会	5月20日	株式会社アイエスシー 代表取締役 森 富雄	地震とため池-愛知県の現状-
第2305回例会	5月27日	マーケティングアイズ株式会社 代表取締役 理央 周	マーケティングと私
第2306回例会	6月3日	愛知県環境部 部長 菅沼 綾子	愛知県環境基本計画等について
第2307回例会	6月10日	日本高速道路インターナショナル株式会社 代表取締役社長 黒田 孝次	世界一キレイなトイレを目指して ~トイレ清掃から経営が見える~
第2308回例会	6月17日	名古屋大学 名誉教授 小島 勢二	名古屋小児がん基金がめざすところ
第2309回例会	6月24日	東邦ガス株式会社 専務執行役員 宮崎 修二(会員)	知ったかぶりのシンガポール
第2310回例会	7月1日	猪村工業株式会社 6代目代表取締役社長 猪村 淡	自分の宿命を再確認 成功の黄金律
第2311回例会	7月8日	中日本高速道路株式会社 代表取締役社長CEO 宮池 克人	高速道路のリニューアル
第2312回例会	7月15日	名古屋音楽大学 学長 佐藤 恵子	演奏家として、教育者として
第2313回例会	7月22日	H&Pコンサルタンツ代表 平井 充	不況はなぜ起るのか?どう脱出するか?(商業施設状況を元に)
第2314回例会	7月29日	社会公益賞授賞式	
第2315回例会	8月5日	愛知県副知事 堀井 奈津子	愛知の未来へ
第2316回例会	8月19日	特定非営利活動法人パートナーシップサポート センター 代表理事 岸田 真代	企業がNPOと協働する?
第2317回例会	8月26日	愛知大学 経営学部 准教授 本多 毅	経営学の学び
第2318回例会	9月2日	創立50周年記念式典 会場:名古屋マリオットアソシアホテル	
第2319回例会	9月16日	会員懇談会(精勤賞表彰式)	
第2320回例会	9月23日	認定NPO法人かものはしプロジェクト 広報・ファンドレイジング担当 草薙 直基	子どもが売られない世界をつくる
第2321回例会	9月30日	第3回通常総会	

思い出のアルバム

2007年(平成19年)



2007年(平成19年)10月 発明とくふう展



2007年(平成19年)10月 発明とくふう展

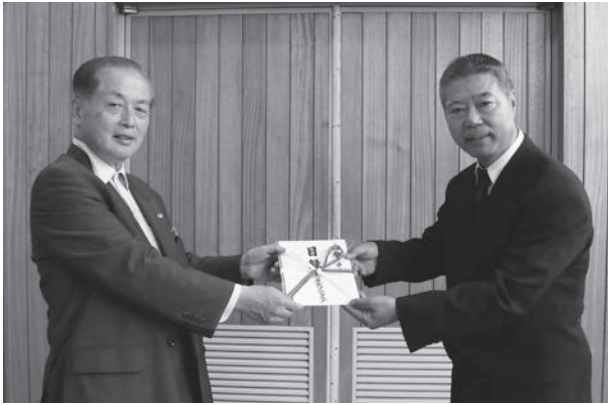


2007年(平成19年)5月
名古屋城本丸御殿PRイベントで柿板(こけらいた)に記名



2007年(平成19年)11月 秋の旅(京都)

2008年(平成20年)



2008年(平成20年)7月 名古屋子育てフォーラム



2008年(平成20年)8月
AKK名古屋キワニス国際教育助成



2008年(平成20年)9月 日本地区年次総会高松大会



2008年(平成20年)5月 家庭教育講演会



2008年(平成20年)9月
チャーターナイト記念特別例会

2009年(平成21年)



2009年(平成21年)4月
キワニスワンデー(キワニスドールをつくる会)



2009年(平成21年)10月 秋の家族旅行会



2009年(平成21年)12月 名古屋キワニスクラブ賞



2009年(平成21年)11月 里親フォーラムあいち



2009年(平成21年)5月 第2000回例会記念講演会



2009年(平成21年)5月
第2000回例会チャーターメンバー豊田会員のごあいさつ

2010年(平成22年)



2010年(平成22年)4月 キワニスワンデー



2010年(平成22年)3月
持出例会 井村屋製菓工場見学



2010年(平成22年)8月
AKK名古屋キワニス国際教育助成



2010年(平成22年)8月
なごや子どもCity2010 キワニスドールの綿づめ体験



2010年(平成22年)9月
日本地区年次総会 京都大会



2010年(平成22年)9月
第44回チャーターナイト記念特別例会

2011年(平成23年)



2011年(平成23年)1月 新年会員懇談会



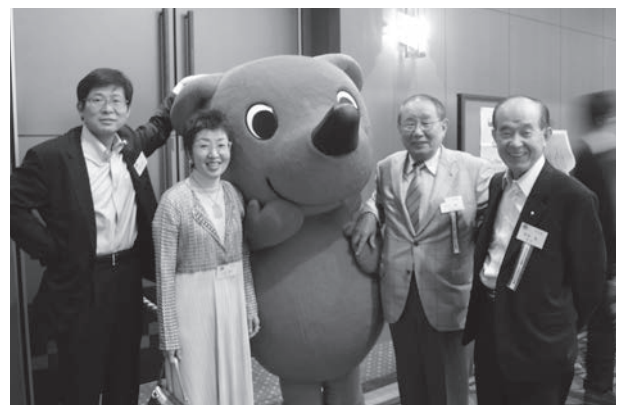
2011年(平成23年)8月 納涼と懇親の会



2011年(平成23年)7月 なごや子育てフォーラム



2011年(平成23年)9月 チャーターナイト



2011年(平成23年)9月 日本地区千葉大会

2012年(平成24年)



2012年(平成24年)4月
キワニスワンデー



2012年(平成24年)6月 社会公益賞・キワニス文庫



2012年(平成24年)9月
日本地区年次総会 和歌山大会



2012年(平成24年)8月 キワニスの森石碑移設



2012年(平成24年)3月 ASPAC(コロンボ)

2013年(平成25年)



2013年(平成25年)2月 雪見の会



2013年(平成25年)3月 ASPAC広島大会



2013年(平成25年)7月
通常例会 講師 鈴木明子氏と



2013年(平成25年)5月 春の家族旅行会



2013年(平成25年)9月
チャーターナイト記念特別例会

2014年(平成26年)



2014年(平成26年)4月 キワニスワンデー



2014年(平成26年)1月 新年会員懇談会



2014年(平成26年)4月 キワニスドールを作る会



2014年(平成26年)7月
第99回国際キワニス・ASPAC合同年次総会 東京・千葉大会



2014年(平成26年)6月 春の家族旅行会(比叡山)

2015年(平成27年)



2015年(平成27年)1月 新年会員懇親会



2015年(平成27年)9月
第49回チャーターナイト記念特別例会



2015年(平成27年)5月 キワニスワンデー「子どもたちとキワニアンふれあいの1日」



2015年(平成27年)7月 大垣キワニスクラブチャーターナイト

2016年(平成28年)



2016年(平成28年)1月 新年会員懇談会



2016年(平成28年)2月 雪見と懇親の会



2016年(平成28年)3月 ASPAC台湾



2016年(平成28年)1月 喜寿百寿のお祝い



2016年(平成28年)5月 春の旅学会(京都)

2016年(平成28年)



2016年(平成28年)7月 社会公益賞・キワニス文庫贈呈式



2016年(平成28年)7月
なごや子育てフォーラム



2016年(平成28年)8月 納涼と懇親の会



2016年(平成28年)8月 納涼と懇親の会



2016年(平成28年)9月 日本地区年次総会 西宮大会

キワニスクラブの基礎知識

キワニスとは



キワニスクラブはアメリカ・ミシガン州デトロイトで、1915年1月21日に設立された民間の奉仕団体です。

この「キワニス」という名称の語源はデトロイト周辺に住んでいたネイティブアメリカンの言葉、“Nun-Kee-Wan-is”から出たもので、この言葉の含む「みんな一緒に集まる」「交歓する」といったニュアンスは、クラブの創立当初からの精神である「We build」にも通じています。

キワニスクラブはこの語源のもつ意味のように、善良な社会人として地域社会に奉仕することを目的としています。

また2005年7月、90周年を機会にキワニスのモットーを「Serving the Children of the World」として子どもたちのための奉仕団体という活動目的を更に明確にしました。

キワニスの6つの目的 (1924年国際年次総会で採択)

- ・人生の物質的な価値より、むしろ人道的、精神的価値を重く見ること。
- ・全ての人間関係において、黄金律に従う日常生活を奨励すること。
(黄金律:人々からして欲しいと望むことを、人々にもその通りにせよ。)
- ・社会生活、実業界、専門職域に、より高度な水準を採択し、適用するように推進すること。
- ・規範・模範によって、より一層知的、進取的、奉仕的な市民性を開発すること。
- ・キワニスクラブを通じて、恒久的な友情を形成し、愛他的奉仕を執行し、より良き社会を建設するための実際的な手段を提供すること。
- ・公正、正義、愛国心、善意などを増進させることができる健全な世論と、高い理想主義を創造し、維持するように協力すること。

キワニスクラブの広がり

1962年キワニスインターナショナルの年次総会で、「世界各地に支部を設立する」という決議案が採択され、グローバルな活動が認可されました。

2017年3月末現在では、世界の主要都市に約7,400のクラブが設立され、会員総数は約21万人となり、世界中のあらゆる地域に活動の場を広げています。

国際キワニスの活動は多岐にわたりますが、1991年よりユニセフとパートナーシップを組み、ヨード欠乏症撲滅運動に取り組みました。このプロジェクトでは世界中のヨード欠乏症のために様々な障害に苦しむ子供たちに食塩にヨードを添加して配布する目的で工場を各地に建設、この目標は達成されました。

現在は、妊産婦・新生児破傷風の撲滅を目指してエリミネイト・プロジェクトに取り組んでいます。

日本地区においては、1964年1月24日東京に第一番目のクラブが誕生、次いで名古屋、大阪、広島、神戸、仙台、札幌、横浜、高松、福岡、京都、千葉、和歌山、新潟、泉州、埼玉、西宮、福山、熊本、静岡、金沢、松江、鹿児島、芦屋、福島、大分、千代田、長崎、宮崎、佐賀、秋田、大垣、福井、沖縄、徳島の順に現在のクラブ数は35を数え、会員数は約1,900名です。

キワニスクラブ会員と運営について

1. クラブが単なる社交クラブになることを避け、キワニス本来の目的である社会奉仕事業の遂行についてできるだけ努力を行う。
2. 会員は、社会奉仕団体にふさわしい人格と会の事業を推進する意欲と能力を持った人を選ぶ。年齢・性別は問わず、少壮気鋭の人を多く入れるよう努力する。
3. 会員の職業別については、官民各界から広く会員を求め、一定の分野や職業に偏することのないよう留意する。
4. 会員の選考ならびにクラブ運営に当たっては、クラブの活動が特殊な政治的、宗教的、思想的意図によって不当な影響を受けたり、不当に利用されることを避けるために慎重に配慮する。
5. 入会には、2名の会員の推薦により、メンバーシップ委員会の議を経て、幹事会の承認を要する。ただし、後任者の場合は前任者の推薦による。
6. 例会の出席率は各人60パーセント以上を目標とするが、出席の促進を過度に行うことは避ける。

他クラブの活動状況

一般社団法人 東京キワニスクラブ

東京都千代田区霞が関 1-1-1
法曹会館 2 F 高砂
☎ (03) 3581-2146
第1・第3・第5金曜日 12:30 ~ 13:30

名古屋キワニスクラブ

名古屋市中村区名駅 1-1-4
名古屋マリオットアソシアホテル
☎ (052) 584-1111
毎週金曜日 12:30 ~ 13:30

大阪キワニスクラブ

大阪市北区中之島 5-3-68
リーガロイヤルホテル
☎ (06) 6448-1121
毎週火曜日 12:30 ~ 13:30

広島キワニスクラブ

広島市中区基町 6-78
リーガロイヤルホテル広島
☎ (082) 502-1121
第2・第4木曜日 12:30 ~ 13:30

神戸キワニスクラブ

神戸市中央区波止場町 2-1
ホテルオークラ神戸
☎ (078) 333-0111
第2・第4水曜日 18:00 ~ 19:00

仙台キワニスクラブ

仙台市青葉区中央 4丁目 6番 1号
仙台国際ホテル
☎ (022) 268-1111
第2・第4木曜日 12:00 ~ 13:00

札幌キワニスクラブ

札幌市中央区北 5条西 7-2-1
京王プラザホテル札幌
☎ (011) 271-0111
第2・第4火曜日 12:30 ~ 13:30

横浜キワニスクラブ

横浜市西区北幸 1-11-3
ホテルキャメロットジャパン
☎ (045) 312-2111
第1木曜日 12:20 ~ 13:30
第3木曜日 18:00 ~ 19:30

高松キワニスクラブ

高松市浜ノ町 1-1
JR ホテルクレメント高松
☎ (087) 811-1111
第1・第3木曜日 12:30 ~ 13:30

福岡キワニスクラブ

福岡市中央区天神 2-2-43
ソラリア西鉄ホテル
☎ (092) 752-5555
第1・第3水曜日 12:00 ~ 13:10

京都キワニスクラブ

京都市中京区河原町御池
京都ホテルオークラ
☎ (075) 211-5111
第2・第4木曜日 12:30 ~ 13:30

千葉キワニスクラブ

千葉市中央区本千葉町 15-1
京成ホテルミラマーレ
☎ (043) 222-2111
昼例会 第1・第3金曜日 12:15 ~ 13:30
夜例会 不定期に第1乃至第3木曜日
18:00 ~ 20:00

和歌山キワニスクラブ

和歌山市湊通丁北 2丁目 1-2
ホテルアバローム紀の国
☎ (073) 436-1200
第2・第4火曜日 12:00 ~ 13:30

新潟キワニスクラブ

新潟市中央区万代 5-11-20
ANA クラウンプラザホテル新潟
☎ (025) 245-3334
第1・第3水曜日 12:00 ~ 13:00

泉州キワニスクラブ

大阪市中央区難波 5-1-60
スイスホテル南海大阪 7階 花桐の間
☎ (06) 6646-1111
第1・第3金曜日 12:30 ~ 13:30

埼玉キワニスクラブ

さいたま市大宮区東町 2-204
清水園
☎ (048) 643-1234
第2・第4水曜日 12:00 ~ 13:30

西宮キワニスクラブ

西宮市雲井町 2-24
小池和子宅
☎ (0798) 72-1365
第1・第3土曜日 14:00 ~ 16:00

福山キワニスクラブ

福山ニューキャッスル
福山市三之丸町 8-16
☎ (084) 922-2121
第2金曜日 12:00 ~ 13:30 第4金曜日 18:30 ~ 20:30

熊本キワニスクラブ

熊本市中央区東阿弥陀寺町 2
ANA クラウンプラザホテル熊本ニュースカイ
☎ (096) 354-2111
第 1・第 3 火曜日 12:00 ~ 13:10

静岡キワニスクラブ

静岡市葵区紺屋町 17-1
グランディエール ブケトーカイ
☎ (054) 273-5225
第 1 水曜日 18:00 ~ 20:00
第 3 水曜日 12:30 ~ 13:30

金沢キワニスクラブ

金沢市南町 4 番 1 号
金沢ニューグランドホテル
☎ (076) 233-1311
第 2・第 4 木曜日 12:30 ~ 13:30

松江キワニスクラブ

松江市学園 1-8-8
レインボープラザ
☎ (0852) 27-6900
第 1 火曜日 12:00 ~ 13:00
第 3 火曜日 18:00 ~ 19:00

鹿児島キワニスクラブ

鹿児島市新昭院町 41-1
城山観光ホテル
☎ (099) 224-2211
第 1・第 3 木曜日 12:30 ~ 13:30

芦屋キワニスクラブ

兵庫県芦屋市大原町 10-1
ホテル竹園 1 階 La Rue
☎ (0797) 23-3260
第 1・第 3 金曜日 19:00 ~ 20:30

福島キワニスクラブ

福島市太田町 13-73
ザ・セレクトン福島
☎ (024) 531-1111 (代)
第 1・第 3 水曜日 12:00 ~ 13:00

大分キワニスクラブ

大分市府内町 1-4-28
大分センチュリーホテル
☎ (097) 536-2777
第 1・第 3 火曜日 12:30 ~ 13:30

千代田キワニスクラブ

(第 1 金曜日) アジア会館 ☎ (03) 3402-6111
(第 3 火曜日) ふたば同窓会館 ☎ (03) 3262-4001
第 1 金・第 3 火曜日 14:00 ~ 16:00

長崎キワニスクラブ

長崎市南山手町 1-18
ANA クラウンプラザホテル長崎グラバービル
☎ (095) 818-6601
第 1・第 3 火曜日 12:30 ~ 13:30

宮崎キワニスクラブ

宮崎市橋通西 3 丁目 10-19
エアラインホテル
☎ (0985) 29-7070
第 1・第 3 水曜日 18:30 ~ 19:30

佐賀キワニスクラブ

佐賀市天神 2-1-36
グランデはがくれ
☎ (0952) 25-2212
第 2・第 4 火曜日 12:30 ~ 13:30

秋田キワニスクラブ

秋田県大仙市大曲白金町 8-17
大曲エンバイヤホテル
☎ (0187) 63-1131
第 1・第 3 火曜日 12:30 ~

大垣キワニスクラブ

岐阜県大垣市万石 2-31
大垣フォーラムホテル
☎ (0584) 81-4171
第 3 木曜日 12:30 ~

福井キワニスクラブ

福井市西木田 2-8-1
福井商工会議所ビル 8F レストラン「SORAOTO」
☎ (0776) 33-8270
第 2 水曜日 13:30 ~

沖縄キワニスクラブ

那覇市安里 1-2-21
ホテルロイヤルオリオン
☎ (098) 866-5533
第 1 水曜日 11:30 ~ 13:00

徳島キワニスクラブ

徳島市万代町 3-5-1
徳島グランヴィリオホテル
☎ (088) 624-1111
第 3 木曜日 19:00 ~ 20:30

K ファミリー

キワニスクラブがスポンサーとして支援する団体（キワニスクラブを含め K ファミリーと呼ぶ）

日本にはまだ残念ながらありません。



サークル K インターナショナル

大学生を対象とする奉仕団体で、会員数は 13,000 人、13 カ国、500 校に及んでいます。1947 年に奉仕団体として設立し、会員は活動を通じ、統率力、奉仕、友愛の精神を学んでいます。

アジア太平洋地域ではフィリピン、台湾、マレーシアにあります。



キー クラブ インターナショナル

青少年を対象とするキワニス支援する団体の中でもっとも古く、1925 年に高校生の奉仕団体として設立されました。現在では 20 カ国に約 5,000 のクラブがあり、23 万人の会員を擁しています。キークラブに所属した青少年の多くは、現在、政府や企業のリーダーとして活躍しています。

アジア太平洋地域ではオーストラリア、フィリピン、ニュージーランド、南太平洋、台湾にあります。



ビルダーズ クラブ

中学生を対象にした学生主導の奉仕団体です。世界 13 カ国に 1,500 のクラブがあり、44,000 人の会員が活動しています。各ビルダーズクラブはキワニスクラブ、キークラブ、サークル K の支援を受けています。

アジア太平洋地域ではオーストラリア、韓国、フィリピンにあります。



K-キッズ

小学生を対象とする奉仕団体で、1990 年に発足し、1998 年に正式にキワニスの支援団体になりました。11 カ国に約 500 のクラブがあり、約 16,000 人の小学生が地域への奉仕活動を行っています。

アジア太平洋地域ではフィリピンにあります。



アクションクラブ

発達障害を持つ成人を対象とした団体で、2000 年に設立されました。会員は奉仕活動を通じて自主性と統率力を身につけ、社会参加をしています。89 のクラブがあり、2,000 人以上の会員がいます。

アジア太平洋地域ではオーストラリア、フィリピン、マレーシアにあります。



キワニス ジュニア

ヨーロッパで組織された団体で、18-35 歳までの青少年がキワニスと一緒に奉仕活動を行っています。1992 年に正式に支援団体となり、現在では 50 以上のクラブがあります。

キー リーダー

キワニスは 1925 年以來、キークラブやサークル K を通じて、青少年に影響を与えて来ました。そして、今、現代の青少年に奉仕活動を通じて統率力を身につけようと呼びかけています。



－国際キワニス財団英雄賞－ ロバート・P. コネリーメダル

メダルにまつわる物語

1966年9月23日金曜日ロバート・P. コネリーキワニス会員(34歳)は体に障害のある女性が線路に落ちたのを見て、折しも列車が接近していたので救出しようとして線路に降りた。しかし、ロバートがその女性を線路から引き上げる間もなく、列車に轢かれ二人は亡くなりました。そのコネリーの英雄的行為の直後、国際キワニス理事会は「個人の心からの行為」という言葉に彼の残した素晴らしい劇的な行為を讃え、ロバート・P. コネリーメダルを制定し、1967年第52回国際キワニス年次総会ヒューストン大会で発表した。この「個人の心からの行為」こそまさにキワニスの精神です。メダルは死や危険を顧みず、奉仕をする人々を讃えるもので、メダル授賞者の推薦はキワニスクラブが行い、メダルはキワニス会員または会員以外にも贈られます。

メダルの授与について

メダル被推薦者名は国際キワニス財団理事会に提出、審査され、最終決定となります。受賞の場合クラブに連絡が入り、受賞者はそのクラブや地区総会等の特別な場で榮譽を讃えられます。今日までおよそ500個のロバート・P. コネリーメダルが英雄に贈られました。賞金は250ドル贈呈。

ロバート・P. コネリーメダル受賞者推薦条件

1. 死や怪我の危険を顧みず、わが身を挺して人の命を救った人。被推薦者はキワニアンに限りません。
2. その救助行為が職務でないこと。
3. 家族の生命や健康のために危険をおかす行為はコネリー賞の選考範囲には含まれません。
4. 救命行為発生後、5年間の中にキワニスクラブから推薦を受けることとします。

編集後記

待望の創立50周年記念誌がやっと完成の運びとなりました。事務局長としてとても感慨深いものがあります。記念誌の制作にご尽力・ご協力をいただいた会員とご関係者の皆様には深く御礼を申し上げます。

この記念誌は、創立50周年記念事業の集大成であり、50年の歴史、その中でも特にこの10年のクラブの活動にフォーカスして記録・紹介しています。50年前のクラブ創設以来のチャーターメンバーは、現在では豊田章一郎会員おひとりであり、歴史の重みを感じざるを得ません。会員は時代と共に入れ替わって行くものですが、創設時からの理念や思いは私たちが確実に後世に伝えていかねばならないと痛感しています。そしてこの記念誌がその一助となれば幸いです。

記念事業のキャッチコピー「育もう 子どもたちの夢と確かな未来を!」の実現に向けて私たちは新たな一歩を踏み出しました。ハードルは途轍もなく高いですが、やりがいのあるミッションだと思います。未来の子どもたちが笑顔で過ごせるような社会の実現に向けてチャレンジすることを宣言して、編集後記に代えたいと思います。

2015-2016 事務局長 相羽 博文

創立 50 周年記念事業実行委員会

委員長 竹内 和男

副委員長 藤岡 旭

委員 相羽 博文

入谷 正章

宮崎 修二

山本 眞一

後藤 晴男

池田 桂子

川村 保憲

村山 賢祐

和田 政司

鈴木 信好

石塚 慎吾

自見 厚則

山内 一昭

伊藤 哲

中島 健一郎

山中 強司

創立 50 周年記念誌編集委員会

委員長 山本 眞一

委員 岩本 孝一

戸川 健史

事務局 高櫻 ゆき

大西 幸雄

藤 真知子

片桐 清志

山本 光子

加藤 佳彦

畑田 整吾

倉橋 治彦

名古屋キワニスクラブ創立50周年記念誌

発行 平成29年3月

発行者 名古屋キワニスクラブ

〒450-6002 名古屋市中村区名駅1-1-4 名古屋マリオットアソシアホテル

印刷 竹田印刷株式会社

